

目次

三田キャンパスガイド

1 主な事務室と事務取扱時間	2
2 振鈴表	2
3 掲示板	2
4 校舎と教室番号	2
5 三田キャンパスマップ	3
6 その他	3

第1 学事関連スケジュール (三田)

第2 学籍 (休学・留学・退学)

1 休学	8
2 留学	8
3 退学	8
4 留学と休学の違い	9
5 留学・休学の申請の流れ	9

第3 学生証・諸届・証明書

1 学生証	10
2 住所変更 (本人・保証人)	10
3 保証人変更	10
4 改姓・改名	10
5 国籍変更	11
6 通学区間の変更	11
7 証明書 (成績証明書・学割証等)	11

第4 Web システム

1 塾生向けサイト「塾生の皆様へ」	12
2 keio.jp	12
3 学事 Web システム	12
4 Web エントリーシステム	13
5 操作上の注意	13
6 パスワード再発行	13
7 教育支援システム	14

第5 授業・成績

1 教室使用申請 (三田)	15
2 教室設置 AV 機器の鍵・機材の貸出	16
3 緊急時における授業の取扱い	16
4 早慶野球戦時における授業の取扱い	16
5 裁判員候補者に選定された場合の取扱い	16
6 成績	16
7 追加試験の評語	17
8 採点結果問い合わせ制度	17
9 取得可能学位	17

第6 試験

1 試験の種類	18
2 レポート	20
3 不正行為	20

第7 学生生活

1 窓口案内	21
2 学生生活支援	21
3 奨学金	22
4 就職・進路	22
5 学生相談室	22
6 学生健康保険互助組合	23
7 学生教育研究災害傷害保険	23

8 任意加入の補償制度	23
9 健康管理	24

第8 学習指導要項 (法律学科)

1 2019 年度開講科目一覧	25
2 卒業に必要な単位	28
3 進級に必要な単位	30
4 復活制度	30
5 在学期間延長制度	30
6 9月卒業	30
7 クラス担任・学習指導	30
8 【履修その1】履修申告の流れ	31
9 【履修その2】履修上限	33
10 【履修その3】外国語を学ぶ(必修外国語の再履修除く)	34
11 【履修その4】必修外国語の再履修	35
12 【履修その5】インテンシブ修了証	35
13 【履修その6】展開科目(他学科・他学部)で政治学科・他学部科目を履修	35
14 【履修その7】他地区設置授業を履修する場合の注意事項	39
15 【履修その8】諸研究所設置科目の履修の注意事項	39
16 【履修その9】同一科目名でも履修できる科目	39
17 【履修その10】副専攻認定証	39
18 【履修その11】セット履修科目	39
19 【履修その12】一部の科目の注意事項	39

第9 学習指導要項 (政治学科)

1 2019 年度開講科目一覧	40
2 卒業に必要な単位	44
3 進級に必要な単位	48
4 復活制度	48
5 在学期間延長制度	48
6 9月卒業	48
7 クラス担任・学習指導	48
8 【履修その1】履修申告の流れ	49
9 【履修その2】履修上限	51
10 【履修その3】外国語を学ぶ(必修外国語の再履修除く)	52
11 【履修その4】必修外国語の再履修	53
12 【履修その5】インテンシブ修了証	53
13 【履修その6】自主選択科目で法律学科・他学部科目を履修	53
14 【履修その7】他地区設置授業を履修する場合の注意事項	57
15 【履修その8】諸研究所設置科目の履修の注意事項	57
16 【履修その9】同一科目名でも履修できる科目	57
17 【履修その10】副専攻認定証	57
18 【履修その11】セット履修科目	57
19 【履修その12】一部の科目の注意事項	57

秋学期入学者への注意

秋学期入学者への注意	59
------------	----

三田キャンパスガイド

主な事務室と事務取扱時間

	事務室	主な業務	事務取扱時間	場 所
学生部	総務・総合窓口グループ	諸届・申請・遺失物取扱	平日 8:45~16:45※	南校舎地下1階 *学事グループ法務 研究科担当窓口は 南館1階
	学事グループ	履修・授業・成績・教室貸出・大学院入試		
	学生生活支援グループ	学生生活	平日 9:30~17:30	
		学生相談		
	福利厚生支援グループ	奨学金・学生健保	平日 8:45~16:45※ ただし、奨学金申請受付時間は上記と異なる	
	国際交流支援グループ	留学	平日 8:45~16:45※	
就職・進路・ 就職課程支援グループ	就職・進路	南館地下1階		
	教職課程			
	就職資料室	平日 10:15~13:00, 14:00~16:45	南校舎1階	
保健管理センター	健康診断・ヘルスケア	平日 8:45~17:00	北館1階	
三田 ITC	keio.jp, ITCアカウント, PC 関連	平日 8:45~18:15※ 休校期間中は 8:45~17:00	大学院校舎地下1階	

※土曜、日曜、授業のない祝日、夏季・冬季三田キャンパス一斉休業期間および1月10日（福澤先生誕生記念日）は閉室します。

・変更等は適時塾生向けサイト「塾生の皆様へ」でお知らせします。

振鈴表

時限	授業期間／学期前半科目追加試験	定期試験		学期末・学期後半科目追加試験	
	三田・日吉	三田	日吉	三田	日吉
第1時限	9:00~10:30	9:00~10:30	9:30~10:30	9:00~10:20	9:30~10:30
第2時限	10:45~12:15	10:45~12:15	10:50~11:50	10:30~11:50	10:50~11:50
第3時限	13:00~14:30	13:00~14:30	12:50~13:50	12:30~13:50	12:50~13:50
第4時限	14:45~16:15	14:45~16:15	14:10~15:10	14:00~15:20	14:10~15:10
第5時限	16:30~18:00	16:30~18:00	15:30~16:30	15:30~16:50	15:30~16:30
第6時限	18:10~19:40※	18:15~19:45	16:50~17:50	17:00~18:20	16:50~17:50

※日吉は第5時限までです。

掲示板

掲示板は西校舎正面入口と西校舎地下1階にあります。他学部設置科目を履修した場合は、その科目を設置している学部の掲示板を確認してください。他キャンパス設置科目を履修した場合はその科目を設置しているキャンパスの掲示板を確認してください。諸研究所・各センターの設置科目・講座等については、「共通」掲示板を確認してください。研究会に関する掲示は、西校舎地下2階501番教室後方入口前の掲示板を利用してください。掲示内容の一部については学事 Web システム、塾生向けサイトでも確認できます。

学生部学事グループ（法学部担当）からのお知らせ：

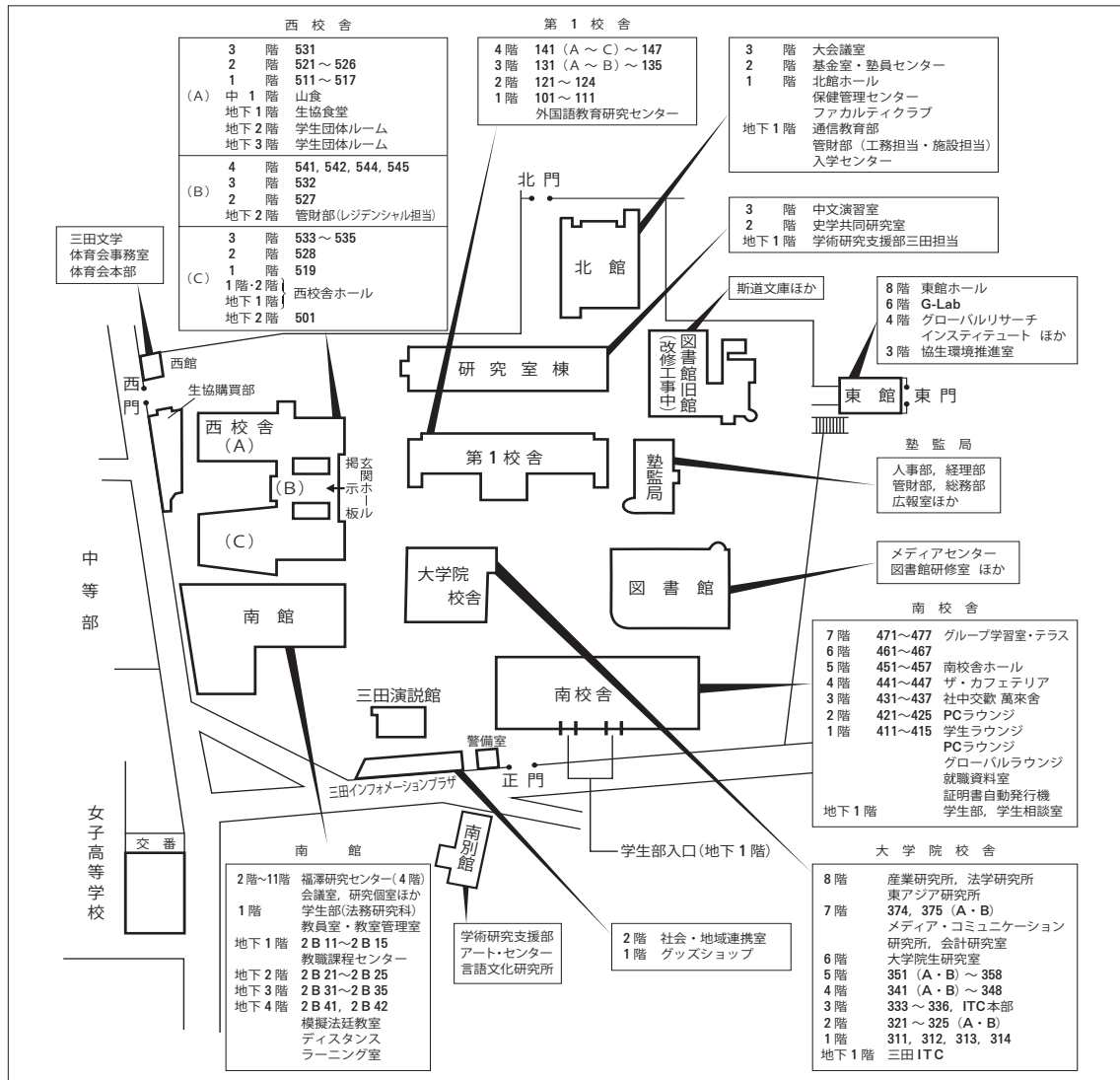
「慶應義塾トップページ」→「在学生」→「塾生向けサイト」→「三田」→「法学部」

※休講・補講については紙媒体での掲示は行っていません。学事 Web システムにて確認してください。なお構内の情報ディスプレイにはその当日にある休講・補講が表示されます。

校舎と教室番号

第1校舎	大学院校舎	西校舎	南館	南校舎
101~147	311~375-B	501~545 西校舎ホール	2B11~2B42	411~477 南校舎ホール

三田キャンパスマップ (2019年4月現在)



その他

(1) PC・プリンタ・ネットワークの利用

- ・アカウント(ユーザー名/パスワード)について
三田キャンパス設置のPCとプリンタ(別途プリント料金発生, 料金の精算にはSuica, PASMOなどの交通系ICカードが必要(モバイルSuica, PiTaPaは除く))とネットワークを利用するには, ITCアカウント(三田・日吉・信濃町・矢上・芝共立キャンパス共通で, ユーザー名が“ua”または“ub”で始まるアカウント)が必要です。ITCアカウントを取得していない方は, 大学院校舎地下1階三田ITCにて, 「ITCアカウント通知書」を受け取ってください(学生証必須)。無線LANは, keio.jpのアカウントでも利用可能です。
- ・設置場所と利用時間(授業期間中)

設置場所			利用時間		
			月～金	土曜	日曜・祝日
大学院校舎	地下1階	共用パソコン室	8:45～21:00	利用不可	利用不可
	1・2・3階	311/314/321/322/333/335/336の各教室※			
南校舎	1・2階	PCラウンジ	8:45～21:00		

・システム整備のため, パソコン室を緊急閉室する場合があります
※授業使用時は利用不可

- ・設置場所と利用時間(授業期間外)
三田ITCのWebページで確認してください。
<http://www.mita.itc.keio.ac.jp/>

(2) 証明書自動発行機(第3～7証明書(成績証明書・学割証等)参照)

証明書自動発行機は南校舎1階に4台設置されています。稼働期間・時間などは, 掲示板やWebサイト(「慶應義塾トップページ」→「在学生」→「塾生向けサイト」→「証明書」→「キャンパス・所属別情報」)で確認してください。

(3) コピー

コピー機は生協購買部, 生協食堂等にあります。

(4) 遺失物

届出のあった遺失物は, 三田学生部総合窓口にて保管しています。

(5) 食堂

南校舎に「ザ・カフェテリア」, 西校舎に「山食(やましょく)」と「生協食堂」の3つの食堂があります。

第1

学事関連スケジュール (三田)

2019年 4月

①-⑭: 2学期制科目の春・秋学期の回数
 ①-⑭: 4学期制科目の春前半・秋前半の回数
 ①-⑭: 4学期制科目の春後半・秋後半の回数

授業期間 休校期間 休日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	入学式 成績証明書発行開始(12:30)					①①② 春学期授業開始
7	①①②	8	9	10	11	12
			①①② ※法律学科 p.32 政治学科 p.50 参照			②③④ 履修確認画面公開(15:00 予定) 履修調整結果は未反映
			Web 履修申告期間(10日 13:00~13日 13:00)			
14	②③④	15	16	17	18	19
					②③④ 履修調整結果発表 (14:00 予定)	③⑤⑥ 履修確認画面に履修調整結果 反映(8:30 予定)
21	③⑤⑥	22	23	24	25	26
		開校記念日(授業を行います)		履修確認画面に履修エラー表示 (9:00 予定)	③⑤⑥ 授業料等納入期限 (全納または春学期分納)	④⑦⑧
28	昭和の日	29	30	※諸研究所のガイダンス日程は下段にあり 下旬 定期健康診断		

5月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
	上旬 定期健康診断 中旬 春学期前半定期試験時間割発表				憲法記念日	みどりの日
5	④⑦⑧	6	7	8	9	10
こどもの日	振替休日(授業を行います) 4年生用卒業見込証明書発行開始	履修登録修正期間(7日 10:00~8日 16:45)	④⑦⑧	④⑦⑧	④⑦⑧	⑤⑨⑩
12	⑤⑨⑩	13	14	15	16	17
			履修登録取消期間(15日 10:00~16日 16:45) ※対象:通年(セット)・春学期・春学期前半科目	⑤⑨⑩	⑤⑨⑩	⑥⑪⑫
19	⑥⑪⑫	20	21	22	23	24
			⑥⑪⑫	⑥⑪⑫	⑥⑪⑫	⑦⑬⑭
26	⑦⑬⑭	27	28	29	30	31
				⑦⑬⑭	⑦⑬⑭ 春学期前半科目授業終了 休学願提出期限(春学期分)	

6月

※「試験日」には1・2限に4学期制前半科目の試験が行われる場合があります。早慶野球戦より優先して実施します。
 ※「補講日」には補講の設定がなされた授業のみが行われます。早慶野球戦より優先して実施します。

日	月	火	水	木	金	土
						1
						試験日/補講日 早慶野球戦(予定)
2	3	4	5	6	7	8
	試験日/補講日 履修科目証明書発行開始	⑧①② 春学期後半科目授業開始	⑧①②	⑧①②	⑧①② 健康診断証明書発行開始	⑧①②
9	10	11	12	13	14	15
	⑧①②	⑨③④	⑨③④	⑨③④	⑨③④	⑨③④
16	17	18	19	20	21	22
	⑨③④	⑩⑤⑥	⑩⑤⑥	⑩⑤⑥ 春学期前半科目成績公開	⑩⑤⑥ 採点結果問合せ締切 (春学期前半)	⑩⑤⑥
23	24	25	26	27	28	29
	履修登録取消期間(24日 10:00~25日 16:45) ※対象:春学期後半科目	⑪⑦⑧	⑪⑦⑧	⑪⑦⑧	⑪⑦⑧	⑪⑦⑧
30						

諸研究所ガイダンス日程

体育研究所	4月1日(月) 13時00分~528番教室
言語文化研究所	4月2日(火) 12時20分~513番教室
外国語教育研究センター	4月3日(水) 11時00分~519番教室
福澤研究センター	4月4日(木) 14時45分~515番教室
斯道文庫	4月5日(金) 10時45分~472番教室
国際センター短期海外研修プログラム	4月5日(金) 13時00分~476番教室
教職課程センター ※	旧法用 4月1日(月) 14時45分~519番教室
	旧法用 4月2日(火) 18時10分~517番教室
	新法用 4月2日(火) 18時10分~527番教室
	旧法用 4月2日(火) 18時10分~日吉J11番教室
	新法用 4月2日(火) 16時00分~矢上12-205番教室
学芸員ガイダンス(博物館学実習エントリー) ※※	4月3日(水) 10時00分~517番教室

※ 教職課程登録期間(予定: 4/1 12:30~4/4 12:00)
 ※ 新法・旧法適用についての詳細は、西校舎1階の教職課程センター掲示板で確認してください。

※※資格取得希望者は必ず出席してください。

7月

※「補講日」には補講の設定がなされた授業のみが行われます。

日	月	火	水	木	金	土						
	11⑦⑧	1	12⑨⑩	2	12⑨⑩	3	12⑨⑩	4	12⑨⑩	5	12⑨⑩	6
7	12⑨⑩	8	13⑪⑫	9	13⑪⑫	10	13⑪⑫	11	13⑪⑫	12	13⑪⑫	13
14	13⑬⑭ 海の日 (授業を行います)	15	14⑮⑯	16	14⑮⑯ 学習指導面談※(春学期最終)	17	14⑮⑯	18	14⑮⑯	19	14⑮⑯	20
21	14⑰⑱ 春学期授業終了	22	補講日	23		24		25		26		27
春学期末定期試験(24日～8月1日予定)(この期間に授業は行われません)												
28		29		30		31	上旬 春学期末定期試験時間割発表 上旬 春学期末追加試験申込受付 ※留学・休学希望者は必ず授業期間内に学習指導面談を受けてください。(p.9参照)					

8月

日	月	火	水	木	金	土
※夏季休校期間は学習指導面談は行われないので注意してください。				1	2	3
				夏期休校(～9月21日)		
4	5	6	7	8	9	10
				春学期末追加試験(7日～8日) ※春学期末定期試験を行う科目のみ対象		
				三田キャンパス一斉休業(9日～16日)		
11	12	13	14	15	16	17
山の日	振替休日					
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

9月

日	月	火	水	木	金	土						
1	2	3	4	5	6	7						
				9月卒業・進級発表※ 春学期学業成績表(keio.jp)公開 春学期学業成績表送付(保証人宛)								
8	9	10	11	12	13	14						
				採点結果問合せ締切 (春学期・春学期後半)								
15	16	17	18	19	20	21						
				敬老の日 卒業式(9月卒対象)								
22	11①② 秋分の日(授業を行います) 秋学期授業開始	23	11①②	24	11①②	25	11①②	26	11①②	27	11①②	28
				※法律学科 p.33 政治学科 p.51 参照 秋学期履修申告期間(26日13:00～10月1日11:00)								
29	2③④	30	※対象者には成績表の「判定欄」に「卒業」「進級」などの判定結果が記載されます。									

10月

授業期間

休校期間

休日

日	月	火	水	木	金	土	
		2③④	1 2③④	2 2③④	3 2③④	4 2③④	5
6	3⑤⑥	7 3⑤⑥	8 3⑤⑥	9 3⑤⑥	10 3⑤⑥	11 3⑤⑥	12
13	体育の日	14 4⑦⑧	15 4⑦⑧	16 4⑦⑧	17 4⑦⑧	18 4⑦⑧	19
20	4⑦⑧	21	22 5⑨⑩	23 5⑨⑩	24 5⑨⑩	25 5⑨⑩	26
27	5⑨⑩	28 5⑨⑩	29 6⑪⑫	30 6⑪⑫	31		

秋学期履修登録取消期間(24日 10:00 ~ 25日 16:45)
※対象: 秋学期・秋学期前半科目

授業料等納入期限
(秋学期分納)

11月

※「試験日」には1・2限に4学期制前半科目の試験が行われる場合があります。
※「補講日」には補講の設定がなされた授業のみが行われます。

日	月	火	水	木	金	土	
上旬	秋学期前半定期試験時間割発表				6⑪⑫	1 6⑪⑫ 早慶野球戦(予定)	2
文化の日	3 6⑪⑫ 振替休日 (授業を行います)	4 6⑪⑫	5 7⑬⑭	6 7⑬⑭	7 7⑬⑭	8 7⑬⑭	9
	10 7⑬⑭	11 7⑬⑭	12 秋学期前半科目授業終了	13 試験日/補講日	14 試験日/補講日	15 8①② 秋学期後半科目授業開始	16 8①②
	17 8①②	18 試験日/補講日(午前) 三田祭準備(午後)	19 三田祭準備	20 三田祭	21 三田祭	22 三田祭	23 三田祭 勤労感謝の日
三田祭	24 三田祭片付け	25 8①②	26 8①②	27 8①②	28 9③④ 休学願提出期限(秋学期分)	29 9③④	30

12月

日	月	火	水	木	金	土	
1	9③④	2 9③④	3 9③④	4 9③④	5 10⑤⑥ 秋学期前半科目成績公開	6 10⑤⑥	7
8	10⑤⑥ 採点結果問合せ締切 (秋学期前半)	9 10⑤⑥	10 10⑤⑥	11 10⑤⑥	12 11⑦⑧	13 11⑦⑧	14
15	11⑦⑧	16 11⑦⑧	17 11⑦⑧	18 11⑦⑧	19 12⑨⑩	20 12⑨⑩	21
22	12⑨⑩	23 12⑨⑩	24 12⑨⑩	25 12⑨⑩	26 13⑪⑫	27	28
29		30	31				

秋学期履修登録取消期間(12日 10:00 ~ 13日 16:45)
※対象: 秋学期後半科目

冬季休校・三田キャンパス一斉休業(30日~1月4日)

2020年

1月

※「補講日」には補講の設定がなされた授業のみが行われます。

日	月	火	水	木	金	土	
上旬 秋学期末定期試験時間割発表 上旬 秋学期末追加試験申込受付 ※留学・休学希望者は必ず授業期間内に学習指導面談を受けてください。(p.9参照)			元日	1	2	3	4
5	13	13	13	13	9	10	11
12	成人の日	13	14	14	14	14	18
19	14	14	20	21	22	23	25
26	27	28	29	30	31		

2月

日	月	火	水	木	金	土
上旬～3月下旬 春季休校 下旬 秋学期末追加試験 ※春季休校期間は学習指導面談は行われないので注意してください。						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	※成績表の「判定欄」に「卒業・進級」などの判定結果が記載されます。			

【補講日／試験日】春学期：6/1(土)，3(月)，秋学期：11/13(水)，14(木)，19(火)午前

【補講日】春学期：7/23(火)，秋学期：1/21(火)

【休日の授業】こどもの日(振替休日)：5/6(月)，海の日：7/15(月)，秋分の日：9/23(月)，文化の日(振替休日)：11/4(月)

【代替日】春学期：なし，秋学期：なし

第2

学籍（休学・留学・退学）

※授業期間中、長期間にわたり海外等に行く場合は必ず学生部法学部窓口申し出て下さい。

1 休学 ※学習指導面談が必要です

病気その他やむを得ない理由により休学を希望する学生は、休学願に事由を証する書類（病気・怪我が理由の場合は医師の診断書、語学研修等の場合は入学許可書の写し等、それ以外の場合は本人・保証人の連署の理由書（書式は自由）及び第三者機関による証明書等）を添えて、学習指導と面談（法律学科 p. 30, 政治学科 p. 48）を受け、承認を受ける必要があります。面談は授業期間内しか行われませんので、早めに申し込みを済ませてください。面談の申し込み予約は必要書類を揃えたうえで前週の金曜日までに学生部法学部窓口で行ってください。休学が次の学期におよぶ場合は、改めて許可を得なければなりません。休学期間は卒業に必要な在学年数には算入されません。休学期間中の授業料等は入学年度によって取扱いが異なります。詳細は学生部法学部窓口で確認してください。

(1) 休学期間 ※休学は学期ごとの申請になります。

春学期 2019年4月1日～9月21日

秋学期 2019年9月22日～2020年3月31日

(2) 休学願提出締切

春学期分 2019年5月31日（※5月24日までに学生部法学部窓口で面談予約を済ませる必要があります）

秋学期分 2019年11月29日（※11月15日までに学生部法学部窓口で面談予約を済ませる必要があります）

(3) 就学届

休学期間が終了後、速やかに所定の「就学届」（塾生 HP からダウンロードできます）を学生部法学部窓口提出してください。病気・怪我を理由に休学をしていた場合は、医師の診断書の提出が必要です。

2 留学 ※学習指導面談が必要です

外国の大学に留学を予定している学生は、教育上有益と認められる場合に留学が許可されることがあります。語学研修は留学に該当せず、休学の対象になります。

(1) 国外留学申請

留学を希望する学生は、事前に学習指導面談を受け、承認を受ける必要があります。留学を予定している学生は、出発時期に余裕をもって学生部法学部窓口で相談のうえ必要書類を用意し、所定の「国外留学申請書」を学生部法学部窓口提出してください。学習指導面談は授業期間中しか行われません。（法律学科 p. 30, 政治学科 p. 48「7-(3) 学習指導」参照）必ず出発の1ヶ月前までに面談を済ませてください。

留学に関する詳細については「4 留学と休学の違い」を参照してください。

(2) 就学届

留学期間が終了後、速やかに所定の「就学届」（塾生 HP からダウンロードできます）を学生部法学部窓口提出してください。

(3) 留学に伴う単位認定

30単位を超えない範囲で慶應義塾大学での履修単位として認定することがあります。認定を希望する場合は、①学生部所定の単位認定申請書②学生部所定の単位認定についての説明書③留学先の成績証明書（原本）④授業時間数を証明する書類（※単位数換算の目安は675分以上の授業で1単位、1350分以上の授業で2単位、2700分以上の授業で4単位です。）⑤認定を希望する科目のシラバス（写）を用意して学生部法学部窓口で学習指導面談を申し込んでください。認定を受けた科目の評語は「G」（認定）になります。

留学先の大学が成績証明書を発行してから、1ヶ月以内に申請してください。

(4) 就学時の学年

就学時の学年は出発前の学年と同じです。留学中に進級・卒業することはありません。帰国後に遡及進級（4月に遡って進級）を考えている学生、9月卒業や11月以降帰国で3月卒業を考えている学生は、帰国前、早めに三田学生部法学部担当（mita-hou@adst.keio.ac.jp）にその旨を必ずメールで相談してください。

3 退学

(1) 自主退学

病気その他の事由により退学したい者は「退学届」を記入し、学生証を添えて学生部法学部窓口提出してください。授業料等未納の場合、授業料等の納入年度（学期）までさかのぼって退学とします（学則第171条）。退学年月日は授業料等納入済の学期末日となります。これに伴い、退学年月日より後の在籍および取得した成績は無効となります。

(2) 退学処分

① 4年間で第3学年に進級し得ない者および第3・4学年併せて4年間在学し卒業し得ない者は学則第156条により退学処分となります。

② 大学の学則もしくは諸規律に違反したと認められたとき、履修申告を期日までに提出せず休学・退学の願いもなく修学の意志が確認できないときなどには学則第188条により退学処分となります。

4 留学と休学の違い

	留 学	休 学
種 類	教授会において適正と認められた海外の大学で正式な手続きを経て正規生と同じ授業を受ける場合です。留学は「交換留学」・「私費留学」の2つに区別しています。	・語学研修(その他左記の留学と認定されない海外研修など) ・病気・怪我による休学(医師の診断書を添付してください) ・一身上の都合による休学(本人・保証人の連署の理由書(書式は自由)および第三者機関による証明書等を添付してください)
期 間	申請期間 「留学」の開始日から最長1年までです。 (留学先から許可された在籍期間に沿った期間を許可します。在籍期間の前後1週間程度を準備期間として含めることができますが、インターンシップ等を付随させることは認めません。)	休学開始日にかかわらず、当該学期は休学扱いとなります。
	延長 1回可能(最長で留学開始日から2年間までです)それ以降は「休学」となります。 *「留学」を延長する場合は、「国外留学申請書(延長)」を提出してください。	学期をまたいで休学する場合、新学期に「休学願」の再提出が必要です。
学 費	【交換留学】 原則として減免制度はありません。ただし、学費の相互免除が含まれないものについては、研究会費・自治会費等・学生健康保険互助組合費の代理徴収費用を除き、学費の全額を減免します。 【私費留学(延長を含む)】 授業料・施設設備費・実験実習費の全額を減免。 ただし、入学1年目の私費留学については、学費は減免されません。	【入学1年目※】 兵役と正課・課外活動中の事故による傷害、地震・台風等の大規模な自然災害(激甚災害)の影響の場合は授業料・施設設備費・実験実習費が減免されることがあります。 【入学2年目以降】 各学期において授業料・施設設備費・実験実習費の全額を減免。
単 位 取 得 ・ 認 定	留学期間をはさむ履修 研究会の扱いについては、事前に学生部法学部窓口にご相談・確認してください。なお、体育実技は、履修登録が学期開始日前で、履修定員に余裕があり、健康診断証明書を持参した場合のみ継続履修可能です。	休学開始日にかかわらず、当該学期はすべて休学扱いとなるため、学期途中から休学する場合、当該学期の履修申告した科目はすべて削除となります。
	留学先で取得した単位 30単位を超えない範囲で、慶應義塾大学の単位として認定される場合があります。認定希望の場合は、帰国後速やかに学生部法学部窓口へ申し出てください。認定対象科目については学生部法学部窓口にお問い合わせください。	単位認定はありません。
在 学 年 数 へ の 算 入	本人の希望により、1年間に限り留学期間を慶應義塾大学の在学年数に算入することができ、進級・卒業できる場合があります。詳細は学生部法学部担当窓口までお問い合わせください。	在学年数への算入はできません。休学終了後は原級にとどまります。

※学費減免措置は、適用される学費体系によって必要な手続・書類が異なります(第2学年編入学・学士入学・再入学の学生は在籍学年にかかわらず、入学年度は入学1年目として扱われます)。手続き等の詳細については、学生部法学部窓口で確認してください。

5 留学・休学の申請の流れ

※留学・休学には学習指導面談が必要です。

※面談は授業期間にしか行われません。2019年度の最終面談は春学期は7月17日(水)、秋学期は2020年1月15日(水)です。特に海外渡航の場合は必ず出発前に面談を終えるよう、余裕を持った日程で面談予約をしてください。申請が遅れたことによる特別な対応は行いませんので十分注意してください。難しい場合はお早めに学生部へ相談してください。



- ・国外留学申請書は学生部法学部窓口、または塾生ホームページで入手してください。
- ・必要書類は留学の種類によって異なります。
交換留学：留学先大学の入学許可書、講義内容(写)、
私費留学：入学願書(写)、留学先大学の入学許可書、講義内容(写)

- ・休学願は学生部法学部窓口で入手してください。
- ・必要書類については学生部法学部担当にお問い合わせください。
- ・提出締切日は、p. 8をご覧ください。

第3

学生証・諸届・証明書

以下すべての手続や届出は原則として、窓口のみで受け付けます。

1 学生証

学生証は本大学学生であることを証明する身分証明書です。様々な場面で必要になるので常に携帯してください。学生証を他人に貸与または譲渡することはできません。

(1) 再交付

学生証または学生証裏面シールを紛失、汚損した場合は、速やかに三田学生部総合窓口で再交付を受けてください。

一必要書類

学生証再交付願〈所定用紙〉、証明書用写真（縦4cm 横3cm、カラー光沢仕上げ、脱帽、上半身正面、背景なし、3ヶ月以内に撮影されたもの）、2,000円（証紙※証紙は三田学生部総合窓口の券売機で販売しています）

再交付理由	手数料
カードの紛失または破損 在籍確認シールの紛失	2,000円
改姓名 磁気ストライプの破損	無料

(2) 学生証裏面シール（在籍確認シール）

年度学年ごとに必ず更新してください。更新しない場合、証明書等発行ができません。

(3) 学生証の返却

再交付を受けた後に前の学生証が見つかった場合、また、退学等で離籍した場合はただちに三田学生部総合窓口へ返却してください。

(4) 国際学生証

生協プレイガイドに問い合わせてください。（TEL：03-3456-4555）

2 住所変更（本人・保証人）

(1) 本人の住所変更の場合

速やかに学事 Web システムにて、住所変更の申請を行ってください（URL およびログイン方法は p. 12 参照）。不備がなければ、申請は通常、数日で承認されます。

通学定期の区間が変更となる場合は、学生証裏面シールの記載事項の訂正および証明印が必要となりますので、住所変更の申請が承認された後に、三田学生部総合窓口へ届け出てください。

(2) 保証人の住所変更の場合

速やかに三田学生部総合窓口へ届け出てください。

一必要書類

学生証、住所変更届〈所定用紙〉、保証人の住民票（3ヶ月以内に発行されたもので、マイナンバー（個人番号）の記載のないものに限る）

本人・保証人の住居表示・地番・電話番号変更の場合も手続を行ってください。

これらの手続が行われない場合は、履修その他の重要な連絡に重大な支障をきたすことがありますので、十分注意してください。

3 保証人変更

保証人を変更する場合は、速やかに三田学生部総合窓口へ届け出てください。保証人は原則として日本国内に居住し一家計を立てている成年者で、本人の学費と一身上に関する一切の責任を負うことのできる者とし、父または母としてください。父母が保証人となり得ない場合は、兄、姉、伯父、伯母等後見人またはこれに準ずる方としてください。なお、国内に居住する者が保証人となり得ない場合は、国外に居住する者を保証人とすることができます。ただし、この場合は、本人に緊急事態が発生した場合の連絡先として、日本国内の住所を必ず「緊急連絡先」として届け出てください。「緊急連絡先」は、緊急時に速やかに連絡がつくことをその要件とします。

一必要書類

学生証、保証人変更届〈所定用紙〉、新保証人の住民票（3ヶ月以内に発行されたもので、マイナンバー（個人番号）の記載のないものに限る）

4 改姓・改名（本人・保証人）

改姓・改名した場合は、速やかに三田学生部総合窓口へ届け出てください。届出後、履修中の科目担当者に必ずその旨を申し出てください。

一必要書類

学生証、改姓(名)届〈所定用紙〉、学生証再交付願〈所定用紙〉※本人の改姓・改名時のみ（写真貼付〈縦4cm 横3cm、カラー光沢仕上げ、脱帽、上半身正面、背景なし、3ヶ月以内に撮影されたもの〉、手数料不要）、新姓名の戸籍抄本（原本：3ヶ月以内に発行されたもの）

5 国籍変更

国籍を変更した場合は、速やかに所属学部窓口へ届け出てください。

一必要書類

学生証、戸籍抄本（コピーでも可）や住民票等の国籍変更が確認できる公的な証明書（必要な情報が記載されていることをあらかじめ発行元に確認してください）

6 通学証明書（通学定期）

学生証裏面が三田キャンパスまでの通学証明書を兼ねます。住所欄・通学区間を記入すると通学定期券が購入できます。通学区間は、「自宅最寄駅」から「学校最寄駅（田町・三田・白金高輪・赤羽橋のいずれか1駅）」の最も経済的な経路に限ります。

授業科目履修のために所属以外のキャンパスに通学するための手続きは、塾生向けサイトでお知らせします。

住所変更に伴い通学区間を変更する場合は、学事 Web システムでの住所変更が承認されてから三田学生部総合窓口へ届け出てください。

なお、通学区間が適正でない場合は、通学定期券の発売が停止されます。

一必要書類

学生証

7 証明書（成績証明書・学割証等）

(1) 証明書自動発行機

設置場所	稼働時間
南校舎 1 階	月～土 8:45～20:00 (授業・定期試験のない土曜日、また祝日・一斉休業期間・システムメンテナンス中は利用できません)

※他キャンパス（日吉・矢上・藤沢・芝共立）に設置されている発行機も利用できます（稼働時間は Web サイトで確認してください）。

※メンテナンス・故障等による利用停止情報等は、適時 Web サイト（「慶應義塾トップページ」→「在学生」→「塾生向けサイト」→「証明書」）等でお知らせします。

※発行には学生証の他に 4 桁の「学生証暗証番号」が必要です。（暗証番号は学事 Web システムで確認可能）

(2) 証明書の厳封

厳封を希望する場合は、三田学生部総合窓口で申し込んでください。「証明書自動発行機」で発行された証明書を後から厳封することはできません。

(3) 代理人による申請

代理人による証明書の申請は、学生本人が大学に来ることが困難な場合（留学中、入院中等）に限り受け付けます。所属学部窓口にて申し込んでください。

一必要書類

本人の学生証の写し、委任状、代理人の身分証明書

※委任状には特に所定の書式はありませんが、例を参照のうえ、学生本人の意思が確認できるように作成してください。

[例] 委任状

私「(本人氏名)」は、「(代理人氏名)」に、証明書の申込みと受け取りを一任します。

20XX年〇月△日・本人署名・捺印

※身分証明書とは、慶應義塾大学学生証、運転免許証、パスポート、健康保険証、在留カード、住民基本台帳カード（写真付のもの）を原則とします。社員証、他大学学生証等は受け付けません。

(4) 証明書一覧

証明書	言語	手数料	発行場所	発行日数	発行開始日	備考
在学証明書	和文 英文	200 円	自動発行機	即日	4 月 1 日	
成績証明書	和文 英文	200 円	自動発行機	即日	4 月 1 日	春学期に取得した科目は 9 月 23 日に反映されます。
卒業見込証明書	和文 英文	200 円	自動発行機	即日	5 月 6 日	4 年生のみ発行されます。 休学中・留学中の場合は、学部窓口で申請してください。
履修科目証明書	和文	200 円	自動発行機	即日	6 月 3 日	休学中・留学中の場合は、学部窓口で申請してください。
	英文	200 円	学部窓口	即日		
健康診断証明書	和文	200 円	自動発行機	即日	6 月 7 日	受診した年度の年度末まで発行されます。
	英文		保健管理センターにお問い合わせください。(TEL: 03-5427-1607)			
学割証	和文	無料	自動発行機	即日	4 月 1 日	定期健康診断を未受診の場合は発行できません。
通学証明書	和文	無料	総合窓口	即日	4 月 26 日	学生証で購入できない区間を利用する際に必要な証明書です。
各種資格試験等受験用単位取得証明書	和文	200 円	学部窓口	数日 ^(注)	—	
提出先所定の用紙(リクエストフォーム)に証明・記入を要するもの、その他	和文 英文	200 円	学部窓口	数日 ^(注)	—	

※発行までに時間がかかる場合がありますので、余裕をもって申請してください。

※証明書発行には学生証が必要です。

※学割証の有効期限は発行日から 3 ヶ月以内です(有効期間内でも学籍を失った場合は無効)。必要な枚数だけ発行するようにしてください。

※団体旅行申込書(団体割引)を発行する場合は、学生生活支援担当に申し出てください。

※学費未納の場合は、すべての証明書が発行できません。納入後、所属学部窓口にて経理部発行「授業料納入確認書」を持参のうえ、申し出ることによって発行が可能ですが、発行まで数日を要する場合があります。

第4 Web システム

1 塾生向けサイト「塾生の皆様へ」

http://www.gakuji.keio.ac.jp/ ログイン ID・パスワードは不要です。	塾生の皆様に向けて各種情報を提供するポータルサイトです。最新のお知らせや各種 Web サイトへのリンク等を提供しています。
主な提供サービス： ■授業／履修／試験 履修案内／講義要綱／時間割の公開等 ■学生生活／進路 窓口利用案内／イベントや奨学金についての情報等	

2 keio.jp

http://keio.jp/ ログイン方法：慶應 ID とパスワード ※	keio.jp は「慶應義塾共通認証システム」の通称です。
主な提供サービス：() 内は主管部署 ■教育支援システム(学生部) 学生時間割, 講義要綱・シラバス, 休講・補講情報, 試験時間割(閲覧可能期間のみ)等(詳細は p.14) ■授業支援(ITC) お知らせ(授業担当者から), 教材ダウンロード, レポート提出・返却等 ■学事 Web システム(学生部) 後述 ■Web エントリーシステム(学生部) 後述 ■履修希望科目事前登録(学生部) 商学部設置大規模授業科目・経済学部設置専門教育科目の抽選申し込み, および日吉キャンパス設置「体育実技」の追加申告科目の事前登録で使います。 ※通常の履修申告は「学事 Web システム」を利用します。また, 語学の抽選等のエントリーは「Web エントリーシステム」を使用しますので, 間違えないように注意してください。 ■学業成績表(学生部) 保証人へ郵送した学業成績表の閲覧が可能です。利用可能期間は, 学部・研究科, 学年等で異なります。詳細は「塾生の皆様へ」Web サイトで告知します。 ■健診結果のお知らせ(保健管理センター) 当該年度に受診した学生のみ健康診断の結果の閲覧ができます。閲覧開始時期は健診受診時にお知らせします。結果についての質問等は保健管理センターに問い合わせてください。 ■就職・進路支援システム(学生部) 進路希望登録, 進路届, 就職体験記, 求人票等のコンテンツを公開しています。 ■G Suite(ITC) Google 社が提供する Web アプリで, メール(慶應メール), ドライブ, カレンダー, グループ, 連絡先などのサービスが利用できます。 ■Box(ITC) クラウド型のオンラインストレージサービスで, ファイルのバックアップやアーカイブといった用途に加え, 教職員や学生間, 外部の方とファイルを共有する目的でも利用できます。 ■webEx(ITC) Cisco 社が提供するビデオ会議サービスです。PC やモバイル端末(iOS, Android) からインターネット回線を利用して Web 会議を行います。 ■ソフトウェアライセンス取得(ITC) 義塾が契約を結んでいるソフトウェアのライセンス配布システムです。 ■keiomobile2/eduroam(ITC) 個人のパソコンやスマートフォンなどをキャンパス内無線 LAN(Wi-Fi) に接続することでインターネットを利用できます。 ■IT 活用 Web 講座(ITC) 各種ソフトウェアの使い方や情報セキュリティなど, 様々な動画コンテンツで IT 活用をサポートします。	
※ITC アカウントまたは SFC-CNS アカウントでログインすることも可能です(ただし, keio.jp の利用登録は必須)。	

3 学事 Web システム

keio.jp からアクセスしてください。	
主な提供サービス： ■履修申告 時間割や登録番号から科目を選択し履修申告を行うシステムです。履修申告期間に何度でも申告内容の修正が行えます。履修申告のルールは各学部で異なるので不明な点は学事担当に確認してください。 ■登録済科目確認 一定の期間に履修中科目の一覧を表示します。4月13日(土)15:00に公開予定です。履修調整等の結果は4月20日(土)8:30に反映される予定ですので, 科目が正しく登録できているか必ず確認してください。 ■休講・補講情報 休講・補講のある授業の一覧が表示されます。休講・補講情報は変更されることがありますので, 当該授業の直前にも確認するようにしてください。 ■住所確認・変更 本人および保証人の連絡先を確認できます。変更がある場合は直ちに手続を行ってください(詳細は p.10)。 ■連絡・呼出 事務室からのお知らせやキャンパスの掲示板に掲示される呼出がある場合は, 学事 Web システムにログインした直後にメッセージが表示されます。 ■証明書発行機の暗証番号確認 証明書発行機で証明書を発行する際に必要な「学生証暗証番号(4桁)」を確認することができます。	

4 Web エントリーシステム

keio.jp からアクセスしてください。

主な提供サービス：

■抽選エントリー 事前抽選が必要な科目の抽選申込み（エントリー）を行うシステムです。ただし、科目によっては Web を使わずにエントリーシートを窓口提出する場合があります。また、受付期間が科目ごとに異なります。

5 操作上の注意

- (1) 複数のブラウザを起動して同時にログインしないでください。
- (2) Web システムにログインした後は、ブラウザの [戻る] および [進む] ボタンは使用しないでください。誤ってクリックしてしまい画面が正しく表示されなくなった場合には、一旦ブラウザを終了し、10 秒程度待ってから再度ブラウザを起動し直してください。
- (3) Web システムへログインしたまま長時間画面の前から離れた際に他人に悪用されないようにする等のセキュリティ上の目的で、長時間同じ画面が表示された場合は、次の画面には進めないようになっています。そのような場合は、一旦ブラウザを終了し、10 秒程度待ってから再度ブラウザを起動し直してください。
- (4) 氏名等に環境依存文字が使われている場合、画面上にうまく表示できない場合がありますが、システム上問題はありません。
- (5) Web システムは、推奨された環境ではない場合や各種設定（Cookie, SSL, Proxy 等）を正しく行わない場合は、ログインできないことがあります。推奨環境、設定方法、操作方法については、各 Web システムのマニュアルを参照してください。

6 パスワード再発行

パスワード再発行窓口は以下のとおりです。

ログイン ID	ログインパスワード	再発行窓口	必要書類
慶應 ID	keio.jp パスワード	各キャンパス ITC 窓口	学 生 証
ITC アカウント	ITC アカウントパスワード		
SFC-CNS アカウント	CNS ログインパスワード	湘南藤沢 ITC 窓口	

7 教育支援システム

教育支援システムでは学生時間割、講義要綱・シラバス、休講・補講情報、試験時間割（閲覧可能期間のみ）等が確認できます。

1 メニュー

keio.jp（詳細はp.12）から教育支援システムにアクセスするとメニューが最初に表示されます（試験時間割は閲覧可能期間のみ）。お知らせ欄には学生部からのお知らせや呼出し情報が表示されますので必ず確認してください。



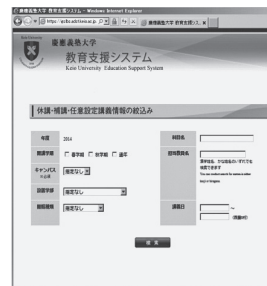
PC サイト



スマートフォン向けサイト

4 休講・補講・任意設定講義日閲覧

授業の休講・補講情報が確認できます。学生時間割では履修している科目の休講・補講情報のみが表示されますが、この機能ではキャンパス、学部等の単位で休講・補講情報が検索できます。



PC サイト



スマートフォン向けサイト

2 学生時間割

履修している科目が時間割として表示されます。画面上部では休講・補講等の情報が確認できます。学部毎の時間割を確認したい場合は、塾生向けサイト内の「履修案内・講義要綱・時間割」ページから確認してください。



PC サイト



スマートフォン向けサイト

5 授業支援

授業担当者からの連絡が表示される授業掲示板、教材ダウンロード、レポート提出・返却等が利用できる授業支援に移動します。授業支援の詳細については次の URL から確認してください。
http://www.itc.keio.ac.jp/ja/keiojp_edu2.html

6 試験時間割(閲覧可能期間のみ)

履修している科目の試験時間割、レポート有無等の試験情報が確認できます。



PC サイト



スマートフォン向けサイト

3 講義要綱・シラバス検索

キャンパス、曜日・時限や担当教員名等から講義要綱・シラバスを検索することが可能です。PC サイトとスマートフォン向けサイトでは検索可能項目が異なります。PC サイトではより詳細な検索条件を設定できます。



PC サイト



スマートフォン向けサイト

1 教室使用申請（三田）

(1) 研究会の教室使用申請

- 対 象 …… 研究会
 使用可能期間 …… 授業期間中の月～土，休校期間中の月～金。日曜・祝日・大学が定めた休校日，定期試験期間中は使用不可。（日曜・祝日，大学が定めた休日については，教員の同席があれば使用可能な場合もあります。三田学生部教室担当窓口で相談してください。）
 使用可能時間 …… 9:00～20:00
 手 続 …… 「学内集会届」を三田学生部教室担当窓口へ提出
 翌日以降，使用日までの窓口開室日に「申請者控」を窓口で受け取ってください。
 申 込 期 日 …… 使用予定日の2週間前から2日前まで（窓口開室日）
 備 考 …… 休校期間中の利用申請には，「学内集会届」の備考欄に担当教員のサインと教室利用を承認している旨の一筆が必要です。

〈グループ学習室（南校舎7階）の利用について〉

グループ学習室は，2名以上の在学生がディスカッションやグループ学習のために利用できるスペースです（16名収容×4ブース，9名収容×8ブース有）。

申請方法 …………… 南校舎地下1階学生部内グループ学習室申請窓口にて，利用当日に先着順で申請を受け付けます。利用可能時間は9:00～20:45で，原則として1グループにつき1日1ブース3時間まで使用可能です。ただし，月～金曜日の16:45以降は他のグループの予約が入っていない場合に限り，予約なしで空いているブースが利用できます。土曜日は終日予約不要となり，空いている場合に利用可能です。

利用できない時期… 日曜日・祝日（授業日を除く）・大学が定めた休校日。休校期間中は原則使用可能ですが，利用できない時期もあるため事前に学生部にて確認してください。

(2) 公認学生団体の教室使用申請

- 対 象 …… 公認学生団体の会合
 使用可能期間 …… 授業期間中のみ使用可能。
 ただし，日曜・祝日・大学が定めた休校日，定期試験期間中・休校期間中は不可。
 使用可能時間 …… 月～土曜日 9:00～20:00
 音楽団体指定時間
 月～金曜日 18:10～20:10
 土曜日 13:00～18:00
 手 続 …… 「学内集会届」を三田学生部教室担当窓口へ提出
 翌日以降，使用日までの窓口開室日に「申請者控」を窓口で受け取ってください。
 （ただし，音楽団体の教室使用申請は，三田学生部学生生活支援担当へ）
 申 込 期 日 …… 使用予定日の2週間前から2日前まで（窓口開室日）
 備 考 …… 教室以外に利用できるスペースとして，「学生談話室」と「音楽練習室」があります。
 （使用申請受付：三田学生部学生生活支援担当）

(3) 学生食堂の使用申請

- 対 象 …… 公認学生団体・研究会のパーティー
 使用可能期間 …… 日曜・祝日以外
 手 続 …… 三田学生部教室担当窓口へ「学生食堂使用願」を提出して申込みをしてください。
 備 考 …… 食事の内容等については「学生食堂使用願」提出後に，当該食堂に直接相談をしてください。利用日の2週間前までに各食堂に連絡がない場合，予約が取り消される場合があります。

(4) 外部団体の教室使用申請

詳細は管財部管財担当に問い合わせてください。施設使用費等が必要となります。
 ※他地区の教室利用については，各地区で申請方法等を確認してください。

2 教室設置 AV 機器の鍵・機材の貸出

貸出窓口 …… 教員室（南館1階）
手続 …… 学生証提示

3 緊急時における授業の取扱い

台風・大雨・大雪・地震等の各種自然災害や大規模な事故等による鉄道等交通機関の運行停止、その他緊急事態の発生により、休講措置をとらざるを得ない場合は Web サイト等を通じてお知らせします。

「慶應義塾トップページ」→「在学生」→「塾生向けサイト」

〈その他の注意事項〉

授業開始後に緊急事態が発生した場合は、状況により授業の短縮や早退など別途措置を講じます。

掲示や構内放送、上記の Web サイトによる大学からの指示に従ってください。

4 早慶野球戦時における授業の取扱い

試合開催日の授業は1時限のみとし、2時限以降は応援のため休講とします。3回戦以降もこれに準じます。雨天等で中止になった場合は、平常どおり授業を行います。ただし、6月1日、3日の試験日／補講日に行われる試験／補講は早慶野球戦より優先するものとします。

早慶戦当日の休講取扱いは、当日朝9時に以下の Web サイトにて告知します。

「慶應義塾トップページ」→「在学生」→「塾生向けサイト」

試合結果は、東京六大学野球連盟オフィシャルサイト (<http://www.big6.gr.jp/>) で確認してください。

5 裁判員候補者に選定された場合の取扱い

慶應義塾大学は、いわゆる「公欠」という考え方をとっていません。裁判員候補者に選定され、授業の出欠に迷う場合は、三田学生部法学部担当へご相談ください。なお、授業の性質上欠席が認められない場合がありますので、ご注意ください。

6 成績

(1) 成績評語

所定の授業に出席し評価試験（定期試験またはレポート）を受けた後に評語が決まります。学業成績の評語は、S・A・B・C・Dの5段階を基本とし、S・A・B・Cを合格、Dを不合格とします。ただし、特定の科目は、評語をP・Fの2種とし、この場合、Pを合格、Fを不合格とします。なお、他大学等で履修した科目をS・A・B・CまたはPの評語を用いずに認定する場合は、Gとします。

なお、セット履修科目の評語は両方合格（S・A・B・C）か、両方不合格（D）のいずれかとなります。

● 2016年度以前の履修科目の成績評語

学業成績の評語は、A・B・C・Dの4段階とし、A・B・Cを合格、Dを不合格とします。なお、特定の科目や他大学等で履修した科目については上記と同様です。

(2) GPA (Grade Point Average) ※2017年度以降入学者のみ

GPAは、履修登録した科目毎の5段階評価を4.0から0.0までのGP (Grade point) (S:4.0, A:3.0, B:2.0, C:1.0, D:0.0) に置き換えて単位数を掛け、その総和を履修登録単位数の合計で割った平均点で、成績を数値で表したものです。

$$\text{GPA} = (\text{履修した授業科目の単位数} \times \text{当該授業科目のGP}) \text{の総和} \div \text{履修した授業科目の単位数の合計}$$

GPA算出にあたり、P（合格）の科目やF（不合格）の科目、G（認定）の科目、および自由科目は除かれます。

GPAは、当該学期における「学期GPA」と在学中の全期間における「累積GPA」の二種類があります。学業成績表には学期GPAと累積GPAが記載され、成績証明書には累積GPAが記載されます。

(3) 学業成績表

学業成績表を保証人宛に郵送します。春学期終了科目については9月上旬に、通年科目や秋学期終了科目も含めた当該年度最終の学業成績表については3月中旬に発送します。また、学期前半科目の成績を記載した学業成績表については、前半科目成績公開時にWebのみで閲覧可能です。学業成績表はいかなる事情があっても再発行しません。また、事前、事後の成績照会は一切受け付けません。

(4) Web 閲覧

特定期間内に学業成績表をWebで閲覧可能です。利用に当たっては「keio.jp」のID・パスワードが必要です。閲覧期間等の詳細は塾生向けサイトで告知します。なお、パスワードの再発行等、Webシステムの利用案内については、「第4 Web システム」の項を参照してください。

(5) 学業成績証明書

学業成績証明書に単位を取得した科目の成績評語が反映されるのは、春学期分は9月22日以降、秋学期分は4月1日以降です。ただし、卒業発表後、卒業決定者については卒業の日（3月10日）以降の最初の平日から証明書自動発行機にて発行可能です。

7 追加試験の評語

「第 6-1 (3)②追加試験の評語」を参照してください。

8 採点結果問い合わせ制度

履修した科目の成績評語に対して、確固たる根拠をもって問い合わせたいと考える場合は、問い合わせ制度を利用してください。春学期科目は9月5日(木)～9月10日(火)(予定)、秋学期科目は3月10日(火)～3月13日(金)(予定)の期間、質問を受け付けます。申請日を過ぎたものは一切受け付けません。なお、この制度を利用せずに、メールやその他の方法で授業担当者に直接問い合わせることはできません。この場合は不正行為とみなされ、学則第188条により厳しく処分されることがあります。

9 取得可能学位

本大学において授与する学位については、以下を確認してください。

- ・入学年度の学部学則(学位規程(抜粋)を含む)掲載の学位規程第2条
- ・「慶應義塾トップページ」→「教育」→「学部」

第6 試験

1 試験の種類

(1) 定期試験

定期試験の日程は「第1 学事関連スケジュール (三田)」の項を参照してください。

※定期試験時間割, 持ち込み指示, 受験に関する注意事項等の詳細は, Web サイトや自身の「keio.jp」→「教育支援システム」の試験時間割で必ず確認してください。

※定期試験・追加試験の Web ページ:「慶應義塾トップページ」→「在学生」→「塾生向けサイト」→「定期試験・追加試験」

①定期試験に関する注意

a 学生証

(a) 学生証を必ず携帯し, 提示してください。

(b) 試験当日, 万一学生証を携帯しなかった場合は, 三田学生部総合窓口で必ず仮学生証 (発行当日に限り全キャンパスで有効, 図書館入館も可) の交付を受けてください。なお, 仮学生証の発行には, 手数料 500 円が必要です。

(c) 学生証または仮学生証を携帯せずに試験教室に入室することは一切認められません。

(d) 仮学生証の発行手続により, 試験教室への入室が遅れても試験時間の延長はありません。また, 追加試験の対象とはなりません。

b 禁止事項

(a) 2 時限以降は, 前時限の監督者が退室しない限り, 試験教室へ入室できません。

(b) 試験教室を間違えないようにしてください。履修していない科目の試験教室へは立ち入らないでください。

(c) 答案用紙は必ず提出しなければなりません。未提出の場合, 不正行為と判断され, 処分の対象とされます。

c 定期試験の実施時間

(a) 定期試験の振鈴は授業時の振鈴とは異なります。「三田キャンパスガイド」の項を参照してください。また, 定期試験の振鈴は日吉キャンパスと三田キャンパスで異なりますので注意してください。

(b) 三田キャンパスの追加試験の振鈴は定期試験の振鈴とは異なります。

d 遅刻

(a) 試験開始後 20 分までの遅刻の場合は, 試験を受験することができます (試験時間の延長はありません)。ただし, 遅刻理由が本人に過失のない電車遅延の場合, 当該試験をそのまま受験するのか, あるいは追加試験の申請をするのかは, 本人の判断に依ります。電車遅延発生に伴い試験開始時間を遅らせる場合がありますので, 必ず試験教室に向かって試験監督の指示に従ってください。

e 退室

(a) 試験開始後 30 分間および試験終了前 10 分間は退室を認めません。また, 試験開始後の体調不良等の理由で途中退室する場合は, 追加試験の対象とはなりません。

f その他

(a) 試験時間割発表時に指示する注意事項, 持ち込み等は, その都度更新されますので注意してください。

(b) 答案用紙の担当者および科目名ならびに氏名・学籍番号等の記入事項は, すべて略さず正確に記入してください。記入がない場合は成績はつきません。

- ②定期試験時間割重複の取扱いについて
追加試験の対象となります。「(3) 追加試験」を参照してください。

(2) 授業内試験

随時授業時間内に行われます。

(3) 追加試験

①追加試験について

追加試験は、履修申告した授業科目で病気や不慮の事故等、やむを得ぬ事情により定期試験を受験できなかった授業科目に対して行うものです（受験料：1科目につき2,000円）。ただし、外国語科目、演習科目、体育実技、その他定期試験期間中に定期試験を行わず、レポート・平常点・授業内試験等により評価の定まる科目、ならびに研究会については行いません。

他学部設置の授業科目を履修した場合、その実施の有無を含めて取扱いは当該学部の方針によります。他学部・諸研究所が設置主体である併設科目についてもこれに準じます。追加試験の申請には、試験欠席の理由を明示できる証明書（医師の診断書（加療期間の明記されたもの）、事故の証明書など）、あるいは学習指導の受験許可書のいずれかが必要です。申請期限等の詳細は、定期試験時間割発表の際に掲示します。

他地区において履修した授業科目の追加試験の申請は、所定の手続を当該地区で行う必要があります。なお、試験場は原則として当該地区になります。以上の手続を怠って試験を受けても無効です。

なお、定期試験期間中、当該科目の試験時間内に試験教室に入室していた場合は、追加試験が認められません。

②追加試験の評語

追加試験による成績評語は、定期試験の場合のその一段階下の評語となります。ただし、下記③の場合、国家試験の受験を理由とした場合、文部科学省が指定する学校感染症にかかり、感染症であることが分かる病名と出席停止期間が明示された診断書を用意した場合、二親等以内の葬儀があり会葬礼状など事実を客観的に証明する書類を用意した場合、その他学習指導面談で特に認められた場合はこの限りではありません。

③試験時間の重複・電車の遅延により定期試験を受験できなかった授業科目の試験

定期試験の試験時間が重複したため、もしくは電車の遅延のために受験できなかった場合も、追加試験を受ける事ができます。この場合の受験は、一段階下の評語とはならず、また受験料も不要です。申請は期限内に、下記の通りに行ってください。

a 時間割重複の場合

時間割で重複を確認でき次第、所属キャンパスの窓口で申請をしてください。

他キャンパスとの重複の場合、所属キャンパスの試験について追加試験を申請してください。

b 電車遅延の場合

その日のうちに科目設置地区の窓口が遅延証明を持参して申請してください。

(4) 再試験

法学部学生に対してはその履修する科目がいずれの学部の設置科目であっても再試験は行いません。

2 レポート

レポートを三田学生部レポートボックスへ提出する場合は以下を厳守してください。

- (1) 指定された期間に指定された場所へ提出してください。
- (2) 一度提出したレポートの変更・訂正は、提出期間内でも認めません。
- (3) 学生部レポートボックスへ提出を指示された場合は、所定のレポート提出用紙（2枚複写式）に必要事項を記入し、レポートに添付して提出してください（2枚とも）。レポート提出用紙は三田学生部レポートボックス付近にあります。
- (4) 学生部レポートボックス受付時間（三田）※時間厳守

受付曜日	受付時間
火・水曜日、木・金曜日	8:45～16:45

※受付曜日・時間等を変更する場合は、掲示等でお知らせします。
※授業期間中であっても、都合により閉室することがあります。

- (5) 授業支援システムを通じて提出するレポートはいかなる理由があっても一切遅延は認められません。また、データのアップロード中に提出期限を迎えた場合はエラーとなり提出できません。提出期限までにアップロードを完了する必要があります。アップロードに時間を要することを想定したうえで期限に余裕を持ってレポートを提出してください。

3 不正行為

定期試験、授業内試験、レポート、授業中に行われる小テスト等における不正行為は学則第188条および法学部内規により厳しく処罰されます。当該科目が不合格になるだけでなく、その学期に履修し、合格した他の全科目についても評価を1ランク下げの措置がとられます。場合によっては、停学・退学の処分を受けることもあります。

定期試験、授業内試験（小テスト）で不正行為とみなされる行為には以下のようなものがあります。

- ・カンニング
- ・代筆
- ・答案用紙持ち帰り
- ・試験監督者の指示に意図的に従わない行為

また、試験に臨む時は、不正行為と誤認されるような紛らわしい態度を取らないようにしなければなりません。

レポートなどで不正行為とみなされる行為には以下のようなものがあります。

- ・代筆
- ・盗用、剽窃、（出典を示さないコピー・アンド・ペースト）
- ・データの改ざん、捏造
- ・その他これらに類する行為

レポートや論文における剽窃・盗用も不正行為です。他人の意見・文章を断りなく用いた場合は、自分では意図していなくても盗用、剽窃とみなされ、定期試験、授業内試験での不正行為と同等のあるいはより深刻な不正行為として、処分の対象となります。

レポート・論文の執筆上の注意

レポートや論文（卒業論文を含む）の執筆・提出は、定期試験、授業内試験と並んで大学での勉学の成果の証となる重要なものです。

文献等から得た情報は、自分の見解と明確に区別し、出典を示す必要があります。以下に執筆上の最も重要なポイントを挙げておきます。

1. 自分の意見とそれ以外の部分を明確に分ける。
2. 他人の文章や見解などを参照・引用する場合は必ず出典を明らかにする（明示していないと剽窃・盗用と判断される）。
3. 文言を引用するときは、誤字も含めて一字一句正確に引用する。
4. 出典の示し方はルールに従う（下記の文献参照）。
5. インターネットから得た情報を参照する際には URL とページタイトル、およびその取得日を載せる。

なお出典の示し方の一般的な方法については、以下の参考書やチュートリアルなどで学んでください。

佐藤望、湯川武、横山千晶、近藤明彦著『アカデミック・スキルズ（第2版）—大学生のための知的技法入門』（慶應義塾大学出版会、2012年）

河野哲也著『レポート・論文の書き方入門（第3版）』（慶應義塾大学出版会、2002年）

慶應義塾大学日吉メディアセンター著『KITIE』ウェブチュートリアルシステム（日吉メディアセンター、2011年）

（日吉メディアセンターウェブサイト：HOME → 学ぶ・読む → 学ぶ（学習のすゝめ！） → KITIE）

<http://project.lib.keio.ac.jp/kitie>

1 窓口案内

- (1) 学生生活支援
課外活動，課外教養等に関することを取り扱っています。
- (2) 福利厚生支援
奨学金やその他の経済支援制度，学生健康保険互助組合等に関することを取り扱っています。
- (3) 就職・進路支援
就職・進路相談，OB・OG 情報，就職ガイダンス，求人情報等に関することを取り扱っています。
- (4) 学生相談室
学生生活を送っていく中で出会う様々な問題について，カウンセラーとともに話し合っていきます。

2 学生生活支援

以下については，学生部学生生活支援担当窓口（以下この章では「窓口」という）において必要な手続きを行ってください。

(1) 音楽練習室・音楽練習のための西校舎教室の使用申請

- 対 象 …… 音楽練習が必要な公認学生団体（使用を希望する団体は説明会への出席が必要）
使用可能期間 …… 西校舎：授業期間中のみ使用可能。／音楽練習室：一斉休暇をのぞく月～土曜日
※日曜・祝日・義塾が定めた休日，定期試験期間中・休業期間中は原則不可。
使用可能時間 …… ・音楽練習室
月～土曜日 8:30～20:00
・西校舎教室
月～金曜日 18:10～20:00
土曜日 13:00～18:00
手 続 …… 「学内集会届」を窓口に出し，「申請者控」を受け取ってください。
申 込 期 日 …… 西校舎教室：使用希望日の2週間前から事務室開室日換算の2日前まで
音楽練習室：使用希望日の2週間前から当日まで可。

(2) その他申請

音楽練習以外の教室の申請は「第5 授業・成績」の項を参照してください。（申請必要）

(3) 学外行事の届出，団体割引の届出

- 対 象 …… 公認学生団体・研究会が学外にて行う活動（ゼミ合宿等）
手 続 …… 窓口にて「学外行事届」を提出
申 込 期 日 …… 行事の4日前まで（土・日・祝日・義塾が定めた休日を除く）
備 考 …… 受理されると「学生教育研究災害傷害保険」の対象になり得ます。また，団体割引やゴルフ場使用税免除に関する証明も受け付けます。

(4) 備品借用の申請

- 対 象 …… 公認学生団体の備品借用 [例]ステッカー，ワイヤレスマイク，塾旗，水差，椅子，机等
手 続 …… 窓口にて「借用書」を提出
申 込 期 日 …… 借用希望日の4日前まで（土・日・祝日・義塾が定めた休日を除く）

(5) 郵便物の取扱い

- 対 象 …… 外部から送付される公認学生団体宛の郵便物
取 扱 い …… 学生部内のメールボックスに区分けしてあります。責任者が定期的に取りに来ていただきます。一定期間経過したものは破棄する場合があります。
備 考 …… 団体名が違う場合や，個人宛の郵便物は一切取り扱いません。

(6) 組織届

- 対 象 …… クラブ，サークル等の新設を希望する組織
手 続 …… 窓口にて「未公認団体組織届」を提出

(7) 掲示・チラシ配布の申請

- 対 象 …… 公認学生団体のポスターの掲示やチラシの配布（学生部学生生活支援担当が許可した物に限る）
手 続 …… 掲示：窓口にて申し出て「掲示物受付簿」を記入
配布：窓口にて「届出書」を提出（チラシの原本を添付のこと）
申 込 期 日 …… 掲示：随時
配布：配布希望日の4日前まで（土・日・祝日・義塾が定めた休日を除く）
備 考 …… 掲示はA2サイズのスペースまで（A4は4枚まで）10日間掲示可能

(8) 伝言板 (「DENGON」)

- 対 象 …… 塾生間の連絡用 (学生部学生生活支援担当が許可した掲示物に限る)
手 続 …… 窓口申し出て「掲示物受付簿」を記入。掲示物には必ず所属・氏名・連絡先を明記してください。
備 考 …… A4 用紙 1 枚のみ 10 日間掲示可能

(9) 車輛入構の申請

塾生の車輛入構は認められていません。やむを得ず公認学生団体の活動に必要な車輛入構がある場合は下欄を参照してください。

- 手 続 …… 窓口「届出書」を提出
申 込 期 日 …… 入構希望日の 4 日前まで (土・日・祝日・義塾が定めた休日を除く)

(10) 配布物・閲覧物関係

ボランティア募集や公募関係の案内をファイル等により窓口で公開しています。

3 奨学金

(1) 「奨学金案内」

奨学金を申請するためには、「奨学金案内」が必要です。「奨学金案内」は 3 月中旬頃より、学生部福利厚生支援窓口にて配布します。

(2) 主な奨学金

奨学金に関する情報は塾生向けサイトの奨学金ページおよび西校舎 1 階学生総合センター (学生生活) 掲示板上に掲示します。

慶應義塾大学給費奨学金〔給付〕

10 月に申請受付を行います。

慶應義塾大学修学支援奨学金〔給付〕

急激な家計状況の変化 (大規模自然災害による被災を含む)、あるいは継続的な困窮のため経済的に修学が困難な者を支援します。年 2 回申請受付を行います。

慶應義塾創立 150 年記念奨学金 (海外学習支援)〔給付〕

年 3 回申請受付を行います。

慶應義塾維持会奨学金〔給付〕

募集は 4 月に行います。

指定寄付奨学金〔給付〕

主に 5 月に申請受付を行います。

日本学生支援機構奨学金〔貸与〕

4 月上旬に申請受付を行います。第一種 (無利子) と第二種 (有利子) があり、その他に家計急変者を対象とした緊急採用 (第一種)・応急採用 (第二種)、留学する学生に対する第二種 (短期留学) もあります。

民間団体・地方公共団体による奨学金〔給付・貸与〕

募集は主に 4・5 月に行います。

※ 留学の際に利用できる奨学金、外国人留学生の奨学金については、国際センター Web サイト (<http://www.ic.keio.ac.jp/>) を参照してください。

4 就職・進路

就職・進路支援担当では、就職活動に関する様々な情報を提供しています。企業からの求人票・説明会の案内をはじめ、会社案内、OB・OG 訪問のためのコンタクト先、インターンシップ情報等が就職・進路支援担当事務室、就職資料室にて閲覧できます。keio.jp 上から求人票や就職活動体験記を利用することもできます。加えて、就職活動を開始する時期には就職活動の進め方を解説した『就職ガイドブック』を希望者に配布しています。

また、例年就職ガイダンスを開催しています。専門家や就職・進路支援担当の専任スタッフによる全般的またはテーマ別の講演や、内定者によるパネルディスカッションなど多彩な内容を用意しています。

上記のほか、個別相談にも応じていますので、就職活動をする中でわからないこと、困ったこと等があった場合には、就職・進路支援担当の窓口にご相談ください。

5 学生相談室

学生相談室は、学生生活を送っていく中で出会う様々な事柄について、気軽に相談できる場所です。

可能な限りその場で相談に応じますが、原則として予約制となります (電話予約可)。相談内容については、秘密を守ります。友人や家族と一緒に来室されても結構です。必要に応じて他の窓口への紹介も行います。また、学生相談室ではカウンセラーによるカウンセリングだけでなく、より豊かで充実したキャンパスライフを送れるよう、様々なグループ企画を用意しています。参加希望の方は以下の Web ページを参照してください。

問い合わせ先：03-5427-1575 (開室時間) 9:30~17:30 (土日祝は閉室)

<http://www.gakuj.keio.ac.jp/life/gakuseisodan2.html>

6 学生健康保険互助組合

学生健康保険互助組合では、医療給付や契約旅館に対する宿泊費補助等を行っています。また、日吉塾生会館内にトレーニングルームを設置しています。その他にも、入学時に配布した『健保の手引き』で様々な案内をしていますので、詳細を確認してください。『健保の手引き』は学生部福利厚生支援担当でも配付しています。

※医療給付は、健康保険の保険証を提示して医療機関にかかった場合、窓口で支払った自己負担額の一部について、組合から医療費給付を受けられる制度です。2018年4月1日受診分より制度・申請方法が変更となりました。詳細については、『健保の手引き』を参照してください。

7 学生教育研究災害傷害保険

教育研究活動中の不慮の災害事故補償のために、大学で保険料の全額を負担し、日本国際教育支援協会の「学生教育研究災害傷害保険」（略称「学研災」）に加入しています。この保険の適用を受ける「教育研究活動中」とは次の場合をいいます。

(1) 正課中

講義、実験・実習、演習または実技による授業（総称して以下「授業」といいます）を受けている間をいい、次に掲げる間を含みます。

- ①指導教員の指示に基づき、卒業論文研究または学位論文研究に従事している間。ただし、もっぱら被保険者の私生活にかかわる場所において、これらに従事している間を除きます。
- ②指導教員の指示に基づき、授業の準備もしくは後片付けを行っている間、または授業を行う場所、大学の図書館・資料室もしくは語学学習施設において研究活動を行っている間。
- ③大学設置基準第28条及び大学院設置基準第15条の規定に基づき、他の大学又は短期大学の正課を履修している間。なお、ここにいう「他の大学又は短期大学」には、外国の大学又は短期大学も含みます。

(2) 学校行事中

大学の主催する入学式、オリエンテーション、卒業式等の教育活動の一環としての各種学校行事に参加している間。

(3) (1)(2)以外で学校施設内にいる間

大学が教育活動のために所有、使用または管理している施設内にいる間。ただし、寄宿舎にいる間、大学が禁じた時間もしくは場所にいる間、大学が禁じた行為を行っている間を除きます。

(4) 通学中または学校施設等相互間の移動中

被保険者の住居と学校施設等との間の通学、学校施設等相互間の移動中に発生した事故によって身体に傷害を被った場合に保険金が支払われます。

(5) 学校施設外で大学に届け出た課外活動を行っている間

大学の規則に則った所定の手続により、大学の認めた学内学生団体の管理下で行う文化活動または体育活動を行っている間。ただし山岳登山やハングライダー等の危険なスポーツを行っている間を除きます。

保険金は本人（被保険者）の申請に基づき支払われますので、上記活動中に万一事故にあった場合は、学生生活支援担当窓口で相談のうえ、本人が所定の手続を行ってください。また、本保険の適用が円滑に行われるよう、ゼミ合宿を学外で行う場合、および公認学生団体が学外で活動する場合は、事前に「学外行事届」を提出してください。

その他この保険に関する詳細については、入学時に配布した「学研災加入者のしおり」や「学研災のごあんない」で確認していただくか、直接学生生活支援担当窓口で尋ねてください。

8 任意加入の補償制度

任意加入の補償制度としては、以下の2種類があります。資料請求や加入希望の場合は直接連絡をしてください。

(1) 「学生総合補償制度」

(株)慶應学術事業会（慶應義塾関連会社）TEL 03-3453-6098

(2) 「学生総合共済」・「学生賠償責任保険」

慶應生活協同組合 TEL 045-563-8489

9 健康管理

(1) 定期健康診断

定期健康診断は学校保健安全法に基づいて全学年を対象に年1回実施しています。**毎年必ず受診してください。**未受診の場合には、体育実技の履修および健康診断証明書、学割証（学校学生生徒旅客運賃割引証）の発行はできません。

(2) 感染症の予防

2018年7月から成人を中心に風疹（三日はしか）が流行し、近年最多の患者数が報告されています。また2007年には高校生や大学生を中心に麻疹（はしか）が流行し、多くの学校が休講措置をとる事態となりました。大学内における風疹や麻疹の集団感染を予防するために、麻疹・風疹混合ワクチン（MRワクチン）予防接種を今までに2回実施していない方は追加接種を受けることをお勧めします。また、水痘（みずぼうそう）・流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）などの感染症予防についても医療機関でご相談ください。

なお、介護施設、病院での臨床実習、教育実習などの際、ワクチン未接種でかつ罹患したことのない方については、実習ができなくなる場合がありますので、各自早めに確認のうえ、ご対応ください。

(3) 感染症の届出

学校保健安全法では、風疹、麻疹等の学校感染症と診断された場合、出席停止（登校禁止）とされています。診断後は学校に登校せず、罹患したことを保健管理センターに連絡してください。なお、学校感染症と診断された場合は、保健管理センター Web サイト（<http://www.hcc.keio.ac.jp/>）から罹患の届出が可能です。

また、学校感染症で出席停止後の登校時には登校許可証明書の提出が必要です。保健管理センター Web サイトにある「感染症登校許可証明書」をプリントアウトして医療機関で記載してもらい、または医療機関で記載してもらったこれにかわる文書（病名、登校禁止期間、登校許可日が記載されたもの）を持参し、保健管理センターに提出してください。

なお、インフルエンザに関しては、2014年10月より「感染症登校許可証明書」に必要事項をご自身で記入し、罹患日を示す書類等（処方の説明書や薬袋等）を保健管理センターに持参いただければ、従来必要であった治療した医師による治癒証明書の提出は不要になりました。インフルエンザ以外の感染症に罹患した場合は、現行どおり登校に際して治療した医師が記載した「感染症登校許可証明書」を持参してください。

〈参考：主な学校感染症の出席停止期間について〉

麻疹（はしか）：解熱後3日を経過するまで

風疹（三日はしか）：発疹が消失するまで

水痘（みずぼうそう）：全ての発疹が痂皮化する（かさぶたができる）まで

流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）：耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで

インフルエンザ：発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで

学内集団感染予防のため、ご協力ください。

第8

法律学科 学習指導要項

1 2019年度開講科目一覧

下線のついてる科目は今年度開講されません。〔 〕内は旧科目名です。科目名の前に*のついてる科目は学則に記載のない教授会の定める専門的授業科目です。

種類	分野番号	分野	設置地区	科目区分
外国語科目	01-10-01	必修 英語	日吉	英語第Ⅰ(1) 英語第Ⅱ(レベル2)(1)
			三田	英語第Ⅱ(1)
	01-10-02	必修 ドイツ語(初級)	日吉	ドイツ語第Ⅰ(1) ドイツ語第Ⅱ(1)
	01-10-03	必修 フランス語(初級)	日吉	フランス語第Ⅰ(1) フランス語第Ⅱ(1)
	01-10-04	必修 中国語(初級)	日吉	中国語第Ⅰ(1) 中国語第Ⅱ(1)
	01-10-05	必修 スペイン語(初級)	日吉	スペイン語第Ⅰ(1) スペイン語第Ⅱ(1)
	01-10-06	必修 ロシア語(初級)	日吉	ロシア語第Ⅰ(1) ロシア語第Ⅱ(1)
	01-10-10	必修 朝鮮語(初級)	日吉	朝鮮語第Ⅰ(1) 朝鮮語第Ⅱ(1)
	01-10-13	必修 日本語(初級)	日吉	日本語(1)
	01-10-51	必修 英語	日吉	英語第Ⅲ(1) 英語第Ⅳ(1) 英語インテンシブ(1) 外国語特殊(英語)(2)
	01-10-52	必修 ドイツ語(中級)	日吉	ドイツ語第Ⅲ(1) ドイツ語第Ⅳ(1) ドイツ語インテンシブ(1)
	01-10-53	必修 フランス語(中級)	日吉	フランス語第Ⅲ(1) フランス語第Ⅳ(1) フランス語インテンシブ(1)
	01-10-54	必修 中国語(中級)	日吉	中国語第Ⅲ(1) 中国語第Ⅳ(1) 中国語インテンシブ(1)
	01-10-55	必修 スペイン語(中級)	日吉	スペイン語第Ⅲ(1) スペイン語第Ⅳ(1) スペイン語インテンシブ(1)
	01-10-56	必修 ロシア語(中級)	日吉	ロシア語第Ⅲ(1) ロシア語第Ⅳ(1) ロシア語インテンシブ(1)
	01-10-60	必修 朝鮮語(中級)	日吉	朝鮮語第Ⅲ(1) 朝鮮語第Ⅳ(1) 朝鮮語インテンシブ(1)
	01-10-63	必修 日本語(中級)	日吉	日本語(1)
	01-20-01	選択 英語	日吉	英語(1) 外国語特殊(英語)(2)
			三田	英語第Ⅴ(1) 英語インテンシブ(1)
	01-20-02	選択 ドイツ語	日吉	ドイツ語(1) 初級ドイツ語演習(1)
			三田	ドイツ語第Ⅴ(1) ドイツ語速習(初級)(1) ドイツ語速習(中級)(1) ドイツ語インテンシブ(1)
	01-20-03	選択 フランス語	日吉	フランス語(1) 初級フランス語演習(1)
			三田	フランス語第Ⅴ(1) フランス語インテンシブ(1)
	01-20-04	選択 中国語	日吉	中国語(1)
			三田	中国語インテンシブ(1)
	01-20-05	選択 スペイン語	日吉	スペイン語(1)
			三田	スペイン語第Ⅴ(1) スペイン語インテンシブ(1)
	01-20-06	選択 ロシア語	日吉	ロシア語(1)
			三田	ロシア語第Ⅴ(1) ロシア語インテンシブ(1)
	01-20-10	選択 朝鮮語	日吉	朝鮮語(1)
			三田	朝鮮語第Ⅴ(1) 朝鮮語インテンシブ(1)
	01-20-11	選択 ラテン語	日吉	ラテン語(1)
			三田	ラテン語(中級)(1)
01-20-12	選択 ギリシャ語	日吉	ギリシャ語(1)	
01-20-14	選択 ポルトガル語	日吉	ポルトガル語(1)	
		三田	ポルトガル語第Ⅴ(中級)(1) ポルトガル語第Ⅴ(上級)(1)	
01-20-15	選択 アラビア語	日吉	アラビア語(1)	
01-20-16	選択 イタリア語	日吉	イタリア語(1)	
		三田	イタリア語第Ⅴ(1)	
01-30-01	選択インテンシブ 英語	日吉	英語インテンシブ(1)	
01-30-02	選択インテンシブ ドイツ語	日吉	ドイツ語インテンシブ(1)	
01-30-03	選択インテンシブ フランス語	日吉	フランス語インテンシブ(1)	
01-30-04	選択インテンシブ 中国語	日吉	中国語インテンシブ(1)	
01-30-05	選択インテンシブ スペイン語	日吉	スペイン語インテンシブ(1)	
01-30-06	選択インテンシブ ロシア語	日吉	ロシア語インテンシブ(1)	
01-30-10	選択インテンシブ 朝鮮語	日吉	朝鮮語インテンシブ(1)	
人文科学科目	02-20-01	選択	日吉	音楽Ⅱ(2) 音楽Ⅱ(2) 科学史Ⅰ(2) 科学史Ⅱ(2) 科学史Ⅲ(2) 科学史Ⅳ(2) 漢文(4) 漢文Ⅰ(2) 漢文Ⅱ(2) 言語学Ⅰ(2) 言語学Ⅱ(2) 言語学Ⅲ(2) 言語学Ⅳ(2) 言語認識論(2) 国語国文(4) 国語国文Ⅰ(2) 国語国文Ⅱ(2) 宗教学(4) 宗教学Ⅰ(2) 宗教学Ⅱ(2) 人文科学特論Ⅰ(2) 人文科学特論Ⅱ(2) 人文総合講座Ⅰ(2) 人文総合講座Ⅱ(2) 地域文化論Ⅰ(2) 地域文化論Ⅱ(2) 地域文化論Ⅲ(2) 地域文化論Ⅳ(2) 哲学Ⅰ(2) 哲学Ⅱ(2) 美術Ⅰ(2) 美術Ⅱ(2) 文学(4) 文学Ⅰ(2) 文学Ⅱ(2) 倫理学Ⅰ(2) 倫理学Ⅱ(2) 歴史Ⅰ(2) 歴史Ⅱ(2) 論理学Ⅰ(2) 論理学Ⅱ(2)
			三田	人文科学研究会Ⅰ(2) 人文科学研究会Ⅱ(2) 人文科学研究会Ⅲ(2) 人文科学研究会Ⅳ(2)

自然科学科目	03-20-01	選択	日吉	化学Ⅰ(実験を含む)(3) 化学Ⅱ(実験を含む)(3) 生物学Ⅰ(実験を含む)(3) 生物学Ⅱ(実験を含む)(3) 物理学Ⅰ(実験を含む)(3) 物理学Ⅱ(実験を含む)(3) 基礎数学Ⅰ(2) 基礎数学Ⅱ(2) 基礎統計学Ⅰ(2) 基礎統計学Ⅱ(2) 自然科学研究会Ⅰ(2) 自然科学研究会Ⅱ(2) 自然科学総合講座Ⅰ(2) 自然科学総合講座Ⅱ(2) 自然科学特論Ⅰ(2) 自然科学特論Ⅱ(2) 心理学Ⅰ(2) 心理学Ⅱ(2) 心理学Ⅲ(2) 心理学Ⅳ(2)
			三田	自然科学特論Ⅰ(2) 自然科学特論Ⅱ(2) 自然科学研究会Ⅲ(2) 自然科学研究会Ⅳ(2) 自然科学総合講座Ⅰ(2) 自然科学総合講座Ⅱ(2) 実践自然科学(2)
情報処理科目	04-20-11	選択 数学系列 ※自然科学科目として算入できます	日吉	数学Ⅰ(2) 数学Ⅱ(2) 数学Ⅲ(2) 数学Ⅳ(2)
			三田	数学概論Ⅰ(2) 数学概論Ⅱ(2) 数学Ⅲ(2) 数学Ⅳ(2) 数学Ⅴ(2) 数学Ⅵ(2)
	04-20-12	選択 統計系列 ※自然科学科目として算入できます	日吉	統計学Ⅰ(2) 統計学Ⅱ(2) 統計学Ⅲ(2) 統計学Ⅳ(2)
			三田	統計学Ⅲ(2) 統計学Ⅳ(2) 統計学Ⅴ(2) 統計学Ⅵ(2)
04-20-13	選択 情報処理系列	日吉	情報処理Ⅰ(2) 情報処理Ⅱ(2) 情報処理Ⅲ(2) 情報処理Ⅳ(2) *情報処理特論Ⅰ(2) *情報処理特論Ⅱ(2) *情報処理特論Ⅲ(2) *情報処理特論Ⅳ(2) *情報処理特論Ⅴ(2) *情報処理特論Ⅵ(2)	
		三田	情報処理Ⅴ(2) 情報処理Ⅵ(2) 統計情報処理Ⅰ(2) 統計情報処理Ⅱ(2) 統計情報処理Ⅲ(2) 統計情報処理Ⅳ(2) *情報処理特論Ⅴ(2) *情報処理特論Ⅵ(2)	
社会科学科目	05-10-01	必修	日吉	法学Ⅰ(憲法を含む)(2) 法学Ⅱ(憲法を含む)(2)
	05-11-01	選択必修	日吉	社会学(4) 社会学Ⅰ(2) 社会学Ⅱ(2) 地理学(4) 地理学Ⅰ(2) 地理学Ⅱ(2) 経済学(4) 経済学Ⅰ(2) 経済学Ⅱ(2) 政治学(4) 政治学Ⅰ(2) 政治学Ⅱ(2) 近代思想史(4) 近代思想史Ⅰ(2) 近代思想史Ⅱ(2)
法律学科目	06-10-01	導入科目 必修	日吉	憲法(総論・人権)Ⅰ(2) 憲法(総論・人権)Ⅱ(2) 民法(総論)Ⅰ(2) 民法(総論)Ⅱ(2) 刑法(総論)Ⅰ(2) 刑法(総論)Ⅱ(2)
	06-10-02	導入科目 選択必修	日吉	法の基礎(2) 国際化と法(2) 法制史概論Ⅰ(2) 法制史概論Ⅱ(2) 法学情報処理(2)
	06-20-01	基幹科目	日吉	憲法(統治)Ⅰ(2) 憲法(統治)Ⅱ(2) 民法(物権法)Ⅰ(2) 民法(物権法)Ⅱ(2) 民法(債権各論)Ⅰ(2) 民法(債権各論)Ⅱ(2) 刑法(各論)Ⅰ(2) 刑法(各論)Ⅱ(2)
			三田	会社法Ⅰ(2) 会社法Ⅱ(2) 会社法Ⅲ(2) 有価証券法Ⅰ(2) 有価証券法Ⅱ(2) 民事訴訟法Ⅰ(2) 民事訴訟法Ⅱ(2) 民事訴訟法Ⅲ(2) 刑事訴訟法Ⅰ(2) 刑事訴訟法Ⅱ(2) 行政法総論Ⅰ(2) 行政法総論Ⅱ(2) 行政救済法Ⅰ(2) 労働法Ⅰ(2) 経済法Ⅰ(2) 民法(債権総論)Ⅰ(2) 民法(債権総論)Ⅱ(2) 国際法Ⅰ(2) 国際私法Ⅰ(2)
	06-30-01	展開科目	日吉	法制史(日本)(2) 法制史(東洋)(2) 法制史(西洋)(2) ローマ法(2) 法社会学(2) 法理学(2) 法思想史(2) 法文化論(2) 行政救済法Ⅱ(2) 行政組織法Ⅰ(2) 行政組織法Ⅱ(2) 行政作用法各論Ⅰ(2) 行政作用法各論Ⅱ(2) 所得税法(2) 企業税法(2) 資産税法(2) 租税法総論(2) 国際租税法Ⅰ(2) 国際租税法Ⅱ(2) 労働法Ⅱ(2) 経済法Ⅱ(2) 比較競争法(2) 国際経済法(2) 社会保障法Ⅰ(2) 社会保障法Ⅱ(2) 刑事政策(犯罪者処遇論)(2) 刑事政策(刑事裁判論)(2) 被害者学(基礎理論)(2) 被害者学(犯罪被害者支援論)(2) 国際刑事法(2) 法医学(2) 民法(家族法)Ⅰ(2) 民法(家族法)Ⅱ(2) 担保法Ⅰ(2) 担保法Ⅱ(2) 団体法(2) 企業法総論(2) 企業取引法(2) 保険法Ⅰ(2) 保険法Ⅱ(2) 金融商品取引法(2) 倒産法Ⅰ(2) 倒産法Ⅱ(2) 民事訴訟法Ⅳ(2) 裁判法(2) 国際民事手続法(2) 国際法Ⅱ(2) 国際武力紛争法(2) 国際海洋法(2) 国際宇宙法(2) 国際私法Ⅱ(2) 国際取引法(4年のみ)(2) 外国法(英米)Ⅰ(2) 外国法(英米)Ⅱ(2) 外国法(独)Ⅰ(2) 外国法(独)Ⅱ(2) 外国法(仏)Ⅰ(2) 外国法(仏)Ⅱ(2) 外国法(EU)(2) 外国法(アジア)(2) *外国法(韓国)(1) 外国法(ラテンアメリカ)(2) 外国法(中)(2) 知的財産法Ⅰ(2) 知的財産法Ⅱ(2) 環境法Ⅰ(2) 環境法Ⅱ(2) 医事法Ⅰ(2) 医事法Ⅱ(2) 政治学Ⅰ(2) 政治学Ⅱ(2) 社会学Ⅰ(2) 社会学Ⅱ(2) 経済政策Ⅰ(2) 経済政策Ⅱ(2) 経済原論Ⅰ(2) 経済原論Ⅱ(2) 財政論Ⅰ(2) 財政論Ⅱ(2) 金融論Ⅰ(2) 金融論Ⅱ(2) 会計学Ⅰ(2) 会計学Ⅱ(2) 経営学Ⅰ(2) 経営学Ⅱ(2) *政策と法Ⅰ(2) *政策と法Ⅱ(2) *法と経済(2) *国際宇宙法Ⅰ(2) *国際宇宙法Ⅱ(2) *国際宇宙私法Ⅰ(2) *国際宇宙私法Ⅱ(2) *交渉学Ⅰ(2) *交渉学Ⅱ(2) *災害復興と法Ⅰ(2) *災害復興と法Ⅱ(2) *企業結合法(2) *信託法(2) *運送法(2) *航空法(2) *Japanese Civil Law in a Globalized Economy(2) *破産法Ⅰ(2) *破産法Ⅱ(2) *International Taxation(2)
			三田	法制史(日本)(2) 法制史(東洋)(2) 法制史(西洋)(2) ローマ法(2) 法社会学(2) 法理学(2) 法思想史(2) 法文化論(2) 行政救済法Ⅱ(2) 行政組織法Ⅰ(2) 行政組織法Ⅱ(2) 行政作用法各論Ⅰ(2) 行政作用法各論Ⅱ(2) 所得税法(2) 企業税法(2) 資産税法(2) 租税法総論(2) 国際租税法Ⅰ(2) 国際租税法Ⅱ(2) 労働法Ⅱ(2) 経済法Ⅱ(2) 比較競争法(2) 国際経済法(2) 社会保障法Ⅰ(2) 社会保障法Ⅱ(2) 刑事政策(犯罪者処遇論)(2) 刑事政策(刑事裁判論)(2) 被害者学(基礎理論)(2) 被害者学(犯罪被害者支援論)(2) 国際刑事法(2) 法医学(2) 民法(家族法)Ⅰ(2) 民法(家族法)Ⅱ(2) 担保法Ⅰ(2) 担保法Ⅱ(2) 団体法(2) 企業法総論(2) 企業取引法(2) 保険法Ⅰ(2) 保険法Ⅱ(2) 金融商品取引法(2) 倒産法Ⅰ(2) 倒産法Ⅱ(2) 民事訴訟法Ⅳ(2) 裁判法(2) 国際民事手続法(2) 国際法Ⅱ(2) 国際武力紛争法(2) 国際海洋法(2) 国際宇宙法(2) 国際私法Ⅱ(2) 国際取引法(4年のみ)(2) 外国法(英米)Ⅰ(2) 外国法(英米)Ⅱ(2) 外国法(独)Ⅰ(2) 外国法(独)Ⅱ(2) 外国法(仏)Ⅰ(2) 外国法(仏)Ⅱ(2) 外国法(EU)(2) 外国法(アジア)(2) *外国法(韓国)(1) 外国法(ラテンアメリカ)(2) 外国法(中)(2) 知的財産法Ⅰ(2) 知的財産法Ⅱ(2) 環境法Ⅰ(2) 環境法Ⅱ(2) 医事法Ⅰ(2) 医事法Ⅱ(2) 政治学Ⅰ(2) 政治学Ⅱ(2) 社会学Ⅰ(2) 社会学Ⅱ(2) 経済政策Ⅰ(2) 経済政策Ⅱ(2) 経済原論Ⅰ(2) 経済原論Ⅱ(2) 財政論Ⅰ(2) 財政論Ⅱ(2) 金融論Ⅰ(2) 金融論Ⅱ(2) 会計学Ⅰ(2) 会計学Ⅱ(2) 経営学Ⅰ(2) 経営学Ⅱ(2) *政策と法Ⅰ(2) *政策と法Ⅱ(2) *法と経済(2) *国際宇宙法Ⅰ(2) *国際宇宙法Ⅱ(2) *国際宇宙私法Ⅰ(2) *国際宇宙私法Ⅱ(2) *交渉学Ⅰ(2) *交渉学Ⅱ(2) *災害復興と法Ⅰ(2) *災害復興と法Ⅱ(2) *企業結合法(2) *信託法(2) *運送法(2) *航空法(2) *Japanese Civil Law in a Globalized Economy(2) *破産法Ⅰ(2) *破産法Ⅱ(2) *International Taxation(2)
2014年度以降入学者	06-30-02	展開科目(研究会・演習)	日吉	法学演習(2) 法学演習Ⅰ(2) 法学演習Ⅱ(2) 法律外国語演習(2) 法務演習Ⅰ(憲法・民法・刑法)(2) 法務演習Ⅰ(司法制度論)(1) * Legal Writing and PresentationⅠ(2)
			三田	研究会(法律学科)Ⅰ(2) 研究会(法律学科)Ⅱ(2) 研究会(法律学科)Ⅲ(2) 研究会(法律学科)Ⅳ(2) 憲法演習(2) 民法演習(2) 刑法演習(2) 商法演習(2) 行政法演習(2) 国際私法演習(2) 刑事訴訟法演習(2) 民事訴訟法演習(2) 倒産法演習(2) 刑事政策演習(2) 外国法演習(2) 国際法演習(2) 社会法演習(2) 法制史演習(2) 法思想史演習(2) 法文化論演習(2) 知的財産法演習(2) 環境法演習(2) *法理学演習(2) *医事法演習(2) *破産法演習(2) * Legal Writing and PresentationⅡ(2) *国際法演習Ⅰ(2) *国際法演習Ⅱ(2) *租税法演習(2) * Legal Presentation and Negotiation(2)
2013年度以前入学者	06-30-02	展開科目(研究会・演習)	日吉	法学演習(2) 法学演習Ⅰ(2) 法学演習Ⅱ(2) 法律外国語演習(2) 法務演習Ⅰ(憲法・民法・刑法)(2) 法務演習Ⅰ(司法制度論)(1) * Legal Writing and PresentationⅠ(2)
			三田	研究会(2) 憲法演習(2) 民法演習(2) 刑法演習(2) 商法演習(2) 行政法演習(2) 国際私法演習(2) 刑事訴訟法演習(2) 民事訴訟法演習(2) 倒産法演習(2) 刑事政策演習(2) 外国法演習(2) 国際法演習(2) 社会法演習(2) 法制史演習(2) 法思想史演習(2) 法文化論演習(2) 知的財産法演習(2) 環境法演習(2) *法理学演習(2) *医事法演習(2) *破産法演習(2) * Legal Writing and PresentationⅡ(2) *国際法演習Ⅰ(2) *国際法演習Ⅱ(2) *租税法演習(2) * Legal Presentation and Negotiation(2)
	06-30-03	展開科目(他学科・他学部)		他学科または他学部および教授会の認める大学付設の研究所その他諸機関の専門的授業科目で、あらかじめ当該授業科目の担当者および法律学科学習指導の承認を得たもの(22単位まで)
体育科目	08-20-01	選択 講義系	日吉	体育学講義(2) 体育学演習(1)
	08-20-02	選択 実技系	日吉 三田	体育実技 A(1) 体育実技 B(1) 体育実技 A(1)
択科目	09-20-01	選択		他学科または他学部および教授会の認める大学付設の研究所その他諸機関の授業科目で、あらかじめ当該授業科目の担当者および学習指導の承認を得た人文・自然・社会科学科目に相当するもの
科目自由	10-30-01	自由		進級および卒業要件とならない科目
	11-30-01	自由		教職課程センター設置科目

法律学科カリキュラム構成

※ この表には学期に記載された科目のみ記載されています。

科目区分	卒業所要	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年
外国語科目 16 単位	16	2 語種 16 単位			
人文科学科目 8 単位	8				
自然科学科目 8 単位	8				
社会科学科目 8 単位	8	法学Ⅰ(憲法を含む)(2)・法学Ⅱ(憲法を含む)(2)+経済学Ⅰ・Ⅱ、政治学Ⅰ・Ⅱ、社会学Ⅰ・Ⅱ、地理学Ⅰ・Ⅱ、近代思想史Ⅰ・Ⅱのうち2科目(2+2)			
導入科目 14(必修 12 単位/22 単位)	14	法の基礎(2)(オムニバス) 憲法(総論・人権)Ⅰ(2)、憲法(総論・人権)Ⅱ(2)、 民法(総論)Ⅰ(2)、民法(総論)Ⅱ(2)、 刑法(総論)Ⅰ(2)、刑法(総論)Ⅱ(2) 法制史概論Ⅰ(2)、法制史概論Ⅱ(2) *** 22 単位用意 ***	法学情報処理(2)(オムニバス) 国際化と法(2)(オムニバス)		
基幹科目 30/54 単位	30	民法(債権各論)Ⅰ(2)、民法(債権各論)Ⅱ(2)	憲法(統治)Ⅰ(2)、憲法(統治)Ⅱ(2)、 刑法(各論)Ⅰ(2)、刑法(各論)Ⅱ(2)、 民法(物権法)Ⅰ(2)、民法(物権法)Ⅱ(2)、 民法(債権各論)Ⅰ(2)、民法(債権各論)Ⅱ(2) *** 16 単位用意 ***	会社法Ⅰ(2)、会社法Ⅱ(2)、会社法Ⅲ(2)、有価証券法Ⅰ(2)、有価証券法Ⅱ(2) 民事訴訟法Ⅰ(2)、民事訴訟法Ⅱ(2)、民事訴訟法Ⅲ(2)、刑事訴訟法Ⅰ(2)、刑事訴訟法Ⅱ(2) 行政法総論Ⅰ(2)、行政法総論Ⅱ(2)、行政救済法Ⅰ(2)、労働法Ⅰ(2)、経済法Ⅰ(2) 民法(債権総論)Ⅰ(2)、民法(債権総論)Ⅱ(2)、国際法Ⅰ(2)、国際私法Ⅰ(2)	
展開科目 44 単位 (うち研究会または 演習科目を 8 単位以上)	44				法制史(日本)(2)、法制史(東洋)(2)、法制史(西洋)(2)、ローマ法(2)、法社会学(2)、法理学(2)、 法思想史(2)、法文化論(2)、行政救済法Ⅱ(2)、行政組織法Ⅰ(2)、行政組織法Ⅱ(2)、 行政作用法各論Ⅰ(2)、行政作用法各論Ⅱ(2)、所得税法(2)、企業税法(2)、資産税法(2)、 相続法総論(2)、国際租税法Ⅰ(2)、国際租税法Ⅱ(2)、労働法Ⅱ(2)、経済法Ⅱ(2)、比較競争法(2)、 国際経済法(2)、社会保障法Ⅰ(2)、社会保障法Ⅱ(2)、刑事政策(犯罪者処遇論)(2)、 刑事政策(刑事制裁論)(2)、被害者学(基礎理論)(2)、被害者学(犯罪被害者支援論)(2)、 国際刑事法(2)、法医学(2)、民法(家族法)Ⅰ(2)、民法(家族法)Ⅱ(2)、担保法Ⅰ(2)、担保法Ⅱ(2)、 団体法(2)、企業法総論(2)、企業取引法(2)、保険法Ⅰ(2)、保険法Ⅱ(2)、金融商品取引法(2)、 倒産法Ⅰ(2)、倒産法Ⅱ(2)、民事訴訟法Ⅳ(2)、裁判法(2)、国際民事手続法(2)、国際法Ⅱ(2)、 国際武力紛争法(2)、国際海洋法(2)、国際宇宙法(2)、国際私法Ⅱ(2)、国際取引法(2)、 外国法(英米)Ⅰ(2)、外国法(英米)Ⅱ(2)、外国法(独)Ⅰ(2)、外国法(独)Ⅱ(2)、外国法(仏)Ⅰ(2)、 外国法(仏)Ⅱ(2)、外国法(EU)(2)、外国法(アジア)(2)、外国法(韓国)(2)、 外国法(ラテンアメリカ)(2)、外国法(中)(2)、知的財産法Ⅰ(2)、知的財産法Ⅱ(2)、環境法Ⅰ(2)、 環境法Ⅱ(2)、医事法Ⅰ(2)、医事法Ⅱ(2)、政治学Ⅰ(2)、政治学Ⅱ(2)、社会学Ⅰ(2)、社会学Ⅱ(2)、 経済政策Ⅰ(2)、経済政策Ⅱ(2)、経済原論Ⅰ(2)、経済原論Ⅱ(2)、財政論Ⅰ(2)、財政論Ⅱ(2)、 金融論Ⅰ(2)、金融論Ⅱ(2)、会計学Ⅰ(2)、会計学Ⅱ(2)、経営学Ⅰ(2)、経営学Ⅱ(2)など 他学科・他学部等の専門的授業科目
	8		法律外国語演習(2)、法学演習(2)など		研究会(法律学科)Ⅰ(2)、研究会(法律学科)Ⅱ(2)、研究会(法律学科)Ⅲ(2)、研究会(法律学科)Ⅳ(2)、 憲法演習(2)、民法演習(2)、刑法演習(2)、商法演習(2)、行政法演習(2)、国際私法演習(2)、 刑事訴訟法演習(2)、民事訴訟法演習(2)、倒産法演習(2)、刑事政策演習(2)、外国法演習(2)、 国際法演習(2)、社会法演習(2)、法制史演習(2)、法思想史演習(2)、知的財産法演習(2)、 環境法演習(2)など
総単位数	136	各学年における履修申告上限単位数は 48 単位です。			

※ 上記の科目区分について卒業所要単位数を取得しても、卒業に必要な総単位数 136 単位には足りません。
上記の科目区分またはそれ以外の科目区分(自由科目を除く)から不足分 8 単位を取得してください。

2 卒業に必要な単位

以下の表を利用して、各自の責任において卒業に必要な単位計算を行ってください。

学期末に送付される学業成績表（もしくはkeio.jpの学業成績表閲覧）に記載の「分野番号」を基準に表を作成することをお勧めします。

※他学科・他学部等の専門的授業科目を「展開科目」として履修する場合、卒業までに22単位を履修上限とします。

また、22単位を超えた分は「自主選択科目」（進級・卒業に必要な単位に含めることができる）として履修することができます。

※1 前学期までに取得した単位数は学期末に送付された学業成績表（緑色）で確認してください。

※2 自由科目(分野：10-30-01と11-30-01)は卒業の単位には含まれないのでこの確認表に記載欄はありません。

分野・科目名		分野番号	卒業に必要な単位	前学期までに取得した単位	秋学期追加履修 (判定欄が空欄の学生)	
外国語科目（必修）		01-10-01～ 01-10-66	16		×	
外国語科目（選択）		01-20-01～ 01-20-16			×	
外国語科目(選択インテンシブ)		01-30-01～ 01-30-10			×	
人文科学科目		02-20-01	8以上		×	
自然科学科目 *数学・統計科目も含まれます		03-20-01 04-20-11 04-20-12	8以上		×	
情報処理科目		04-20-13			×	
社会科学科目	必修	法学Ⅰ・Ⅱ（憲法を含む）	05-10-01	4	×	
	選択必修	社会学Ⅰ・Ⅱ、 地理学Ⅰ・Ⅱ、 経済学Ⅰ・Ⅱ、 政治学Ⅰ・Ⅱ、 近代思想史Ⅰ・Ⅱ	05-11-01	4以上	×	
法律学科目	導入科目	必修	憲法（総論・人権）Ⅰ・Ⅱ、 民法（総論）Ⅰ・Ⅱ、 刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ	06-10-01	12	○
		選択必修	法の基礎、国際化と法、 法制史概論Ⅰ・Ⅱ、 法学情報処理	06-10-02	2以上	○
	基幹科目		06-20-01	30以上		○
	展開科目	展開科目		06-30-01		展開科目合計 06-30-01 06-30-02 06-30-03 計()単位 ※44単位以上必要
展開科目(研究会・演習)		06-30-02	8以上		○	
*展開科目(他学科・他学部)		06-30-03		22単位まで	×	
体育科目		08-20-01 08-20-02			×	
自主選択科目		09-20-01			×	
総単位		01-10-01～ 09-20-01	136以上		年間48単位 まで	

【秋学期追加履修についての注意】・・・詳細は必ずP33を参照してください。

(1) 上記追加履修の一覧は、春学期末成績表の判定欄が空欄の学生が追加・削除できる科目です。

判定欄が空欄以外、もしくは留学・休学明けの学生はP33を参照してください。

(2) 春学期中に履修制限になった科目は秋学期に追加履修ができません。

【履修取消についての注意】・・・詳細は必ずP33を参照してください。

(1) 履修取消不可科目は以下のとおりです。

法学部設置外国語科目、必修科目、演習科目、研究会Ⅰ～Ⅳ(法律学科・政治学科)、特殊研究(政治学科設置)、文献講読(政治学科設置)

(2) 履修取消期間の追加履修は一切できませんので注意してください。

(3) 履修取消によって進級・卒業が出来なくなる場合は科目の取消は認められません。

2 卒業に必要な単位（学士入学者）

学士入学者用

分野名		分野番号	内容等
法律 学科 目	導入科目	必修	06-10-01 憲法（総論・人権）Ⅰ・Ⅱ，民法（総論）Ⅰ・Ⅱ，刑法（総論）Ⅰ・Ⅱ 6科目 12単位
		選択必修	06-10-02 法の基礎，国際化と法，法制史概論Ⅰ・Ⅱ，法学情報処理の中から1科目 2単位以上
	基幹科目		06-20-01 30単位以上
	展開科目		06-30-01 44単位以上
	展開科目（研究会・演習）		06-30-02 ※展開科目（研究会・演習）8単位以上を含む
	展開科目（他学科・他学部）		06-30-03
合計			88単位以上

3 進級に必要な単位

第3学年において履修する授業科目（自由科目を除き自主選択科目を含む）から、30単位以上取得することが必要です。ただし、必修として履修した外国語それぞれの語種（英語を除く）につき、いまだ取得していない単位が4単位を超える場合には、1年間でそれを取得し終わることができません。

学士入学者の場合、第3学年において履修する授業科目（自由科目を除く）から、30単位以上取得することが必要です。この中には、認定科目は含まれません。

4 復活制度

原級などの理由により同一学年を3学期以上在学（休学の期間は含まない）し、進級した直後の学期終了後に進級・卒業の対象者となります。これを「復活制度」といいます。進級直後の学期に限り、前学年で取得した単位数のうち30単位を超える分を進級に必要な単位として繰り越されます。ただし、進級直後の学期において原級した場合、繰り越した分の単位は進級単位に含まれません。

(例1)

	春学期 (4/1~9/21)	秋学期 (9/22~3/31)
2017年度	2年生	2年生
2018年度	2年生(進級)	3年生(復活制度により進級)
2019年度	4年生	4年生(卒業)

2017年度1年間2年生に在学し、28単位の単位取得のため原級になりました。

翌2018年度の春学期に10単位を取得しました。2年生を通じて合計38単位取得できたので、秋学期から3年生になりました。秋学期に24単位取得できたので、2年生時に30単位を超えて取得した8単位分を加算して2019年度春学期から4年生になりました。

(例2)

	春学期 (4/1~9/21)	秋学期 (9/22~3/31)
2017年度	2年生	2年生
2018年度	3年生	3年生
2019年度	3年生	4年生(復活制度により卒業)

2018年度1年間3年生に在学し、28単位の単位取得のため原級になりました。

翌2019年度の春学期に10単位を取得しました。3年生を通じて合計38単位取得できたので、秋学期から4年生になりました。秋学期終了時点で卒業に必要な単位を満たしたので、2019年度秋学期終了時に卒業になりました。

5 在学期間延長制度

卒業要件を満たした4年生が、さらに次の学期も在学を希望する場合は「在学期間延長」の申請が必要です。概略は以下のとおりです。9月卒業対象者は6月初旬（締切は2019年7月12日（金）（予定））に、3月卒業対象者は12月初旬（締切は2020年1月9日（木）（予定））に詳細を掲示予定です。

①学期ごとの申請になります。

②授業料の減免措置はありません。

③在学を許可された学期が終了した時点で「卒業」になります。

④在学を許可された学期の初めに「法律学科に設置されている法律学科目」を1科目以上履修しなければなりません。

⑤在学を許可された学期の「休学」申請はできません。

※法学部の「研究会」に所属していない学生は、事前に学習指導面談を受ける必要があります。面談の申込は面談実施の前週までとなっているので注意してください。

6 9月卒業

第4学年に1年以上在学し（休学期間は在学年数に含まれません）、春学期終了時点で卒業に必要な単位を満たした場合、9月卒業となります。また、第3学年に3学期以上在学し、第4学年を春学期のみ半期在学した時点で卒業に必要な単位を満たした場合も、9月卒業となります。（→「復活制度」による）9月卒業の場合、卒業年度の学費（授業料、その他必要諸経費）は春学期分のみとなり、秋学期分は不要です。

(例1) 2018年度3月卒業（2019年3月卒業）の予定だったが卒業に必要な単位が足りず原級となった場合、2019年度春学期に卒業に必要な単位を満たすと2019年9月卒業となります。

(例2) 2018年9月に3年生に進級し、2019年9月に4年生に進級した場合、2020年度春学期終了時点で卒業に必要な単位を満たすと2020年9月卒業となります。この場合、2019年度秋学期に卒業に必要な単位を満たしても2020年3月に卒業することはできません。

(例1)

	春学期 (4/1~9/21)	秋学期 (9/22~3/31)
2017年度	3年生	3年生
2018年度	4年生	4年生(原級)
2019年度	4年生(卒業)	

(例2)

	春学期 (4/1~9/21)	秋学期 (9/22~3/31)
2018年度	2年生	3年生
2019年度	3年生	4年生
2020年度	4年生(卒業)	

7 クラス担任・学習指導

(1) クラス担任

クラス担任は学問上の研究指導を行うと同時に、学生生活全般にわたって相談に乗り、助言を与えることになっています。法律学科専任教員の研究会に属している場合、研究会担当者がクラス担任になります。それ以外の場合のクラス担任は以下のとおりです。

A-K組 亀井源太郎

L-U組 水津太郎

(2) 学習指導

法律学科の学習指導は次のとおりです。

教授 亀井源太郎

教授 水津太郎

(3) 学習指導面談

【2019年度面談日程】毎週水曜日 午前10:00～（授業期間中のみ）

※前週の金曜日までに三田学生部法学部担当窓口で予約を済ませてください。

面談は授業期間にしか行われません。2019年度の最終面談は春学期は7月17日（水）、秋学期は2020年1月15日（水）です。特に海外渡航の場合は必ず出発日前に面談を終えるよう、余裕を持った日程で面談予約をしてください。申請が遅れたことによる特別な対応は行いませんので十分注意してください。難しい場合はお早めに学生部へ相談してください。

※学習指導・学習指導面談日程等に変更がある場合は掲示にてお知らせします。

8 【履修その1】履修申告の流れ

- ① keio.jp からアクセスし、学事 Web システムで登録してください。
http://keio.jp/
※毎日午前4時から約1時間定期メンテナンスのためシステム停止
- ②履修申告期間外の変更・取り消しはできません。
- ③登録していない科目を受講しても単位は取得できません。
- ④履修申告をしない場合は、修学の意味がないものとして退学処分の対象になります。(学則第188条)
卒業に必要な単位を取得済みの4年生で今年度履修申告をしない場合は、学事 Web システムの「新規履修申告科目なし」を申請してください。
- ⑤申告に必要な登録番号(5桁)は「時間割表」で確認してください。
A欄とB欄のどちらで履修申告すべき科目かを以下の表で確認してください。A欄は「登録番号のみ」入力、B欄は「分野番号と登録番号」を入力する必要があります。以下の一覧表を参照してください。

キャンパス	科目設置の学部・学科・研究所名	履修する科目		A欄 or B欄	B欄分野番号	分野	
三田	法律学科	すべて		A欄		履修する科目がどの分野にあたるかは、p. 25～26「2019年度開講科目一覧」で確認してください。	
	政治学科・他学部	専門科目 詳細は p. 35 記載の「13【履修その6】 展開科目(他学科・他学部)で政治学科・ 他学部科目を履修」を確認してください	22単位まで	B欄	55	展開科目(他学科・他学部)	
			23単位以上		77	自主選択科目	
		総合教育科目			99	自由科目	
上記(専門科目、総合教育科目)以外		77	自主選択科目				
日吉	法律学科	すべて		A欄		履修する科目がどの分野にあたるかは、p. 25～26「2019年度開講科目一覧」で確認してください。	
	政治学科・他学部	専門科目	※履修条件： 「科目認定願」 を日吉学生 部に提出	77	自主選択科目		
専門科目以外(注1)		99		自由科目			
湘南藤沢	総合政策・環境情報	先端科目、研究会 A、研究会 B 詳細は p. 35 記載の「13【履修その6】 展開科目(他学科・他学部)で政治学科・ 他学部科目を履修」を確認してください	22単位まで	B欄	55	展開科目(他学科・他学部)	
			23単位以上		77	自主選択科目	
		上記(先端科目、研究会 A、研究会 B)以外			99	自由科目	
諸研究所	メディアコミュニケーション研究所	研究会 I～VIを通じて4単位を超えた単位 (自由科目を含まない)		99	自由科目		
		時事英語 I・II 文章作法 I・II	22単位まで	自主選択科目			
	上記記載の科目以外			展開科目(他学科・他学部)			
	外国語教育研究センター	英語	A欄				外国語科目(選択)
		ドイツ語					
		フランス語					
		中国語					
		スペイン語					
		ロシア語					
		朝鮮語					
		ラテン語					
		ギリシア語					
		ポルトガル語					
		アラビア語					
イタリア語							
その他		自主選択科目					

諸研究所	言語文化研究所	朝鮮語	A 欄	外国語科目（選択）
		アラビア語		自主選択科目
		その他		自主選択科目
	国際センター			自主選択科目
	保健管理センター			自主選択科目
	福澤研究センター			自主選択科目
	教養研究センター			自主選択科目
	体育研究所			体育科目
	斯道文庫			自由科目
	教職課程センター	履修上限単位数には含まれません。 教職課程登録者のみ履修可		自由科目
グローバルリサーチ インスティテュート	リーダーシップ基礎	自主選択科目		
GIC センター	すべて	履修する科目がどの分野にあたるかは、時間割冊子の「GIC センター設置科目一覧（日吉）」で確認してください。		

（注1）2020 年度より，少人数セミナー形式授業科目の取扱いは「専門科目以外」となり，3 年生以上で履修した場合は「自由科目」となります。

春学期

履修申告期間 4 月 10 日（水）13：00～4 月 13 日（土）13：00

履修登録状況公開 4 月 13 日（土）15：00～4 月 25 日（木）9：00（予定）

・この期間はまだ，抽選科目の結果や履修エラーがあるときの修正指示について反映されていません。

履修登録結果公開 4 月 25 日（木）9：00（予定）

- ①「学事 Web システム」における「履修確認」画面に「抽選結果」と「履修エラーがあるときの修正指示」が反映されます。全員が必ず確認をしてください。
- ②抽選の結果履修することができない科目があった場合には，5 月 7 日（火）10：00～5 月 8 日（水）16：45 に限り，履修できなかった単位数分の履修申告を受け付けます。
- ③履修エラーがあるときの修正指示があった場合には，学生証を持参のうえ，至急三田キャンパス学生部法学部窓口に来ること。

履修修正 5 月 7 日（火）10：00～5 月 8 日（水）16：45（予定）

履修申告に不備があり，修正の必要がある者として学生部が呼び出した学生のみ対象です。

履修取消（春） 5 月 15 日（水）10：00～5 月 16 日（木）16：45（予定）

希望者のみ対象。次ページ参照。

対象科目：通年科目（セット科目含む）・春学期科目・春学期前半科目

履修取消（春後半） 6 月 24 日（月）10：00～6 月 25 日（火）16：45（予定）

希望者のみ対象。次ページ参照。

対象科目：春学期後半科目

秋学期

秋学期追加履修申告 9月26日(木) 13:00～10月1日(火) 11:00(予定)

法律学科の3・4年生は、春学期の履修単位数とあわせて48単位の範囲内で秋学期科目の追加・削除が可能です。追加可能な科目や単位数は、個人の学期末判定などによって異なりますので、以下の詳細を確認のうえ、履修登録を行ってください。

①

春学期末成績表の判定欄が「原級」「進級」、もしくは春学期に留学*・休学した場合



秋学期 48 単位申請可

(* 春学期に履修申告していない場合に限る)
※ 詳細は秋学期履修申告前に掲示で案内します。

②

春学期末成績表の判定欄が空欄の場合



「法律学科に設置されている法律学科目」のみ、春学期の履修単位数とあわせて履修上限 48 単位の範囲内で追加・削除が可能

※ 秋学期に追加・削除できる科目は「法律学科に設置されている法律学科目」(分野番号「06-10-01」～「06-30-02」)のみです。
そのほかの科目の追加・削除や、春学期に不合格となった単位分の追加はできません。
※ 春学期履修取消期間中に取り消した単位分も秋学期に追加申告することができます。
※ 春学期のうち自由科目として登録した法律学科目は秋学期中に追加・削除することはできません。

- 詳細については、春学期末学業成績表に同封するお知らせに記載します。
- 春学期中に履修制限が行われた秋学期科目は秋学期に追加申告できません。
- 春学期中に履修申告した秋学期科目・通年科目に特に変更がない場合、改めて履修申告する必要はありません。
- 法律学科目のうち、「演習」ならびに「研究会Ⅰ～Ⅳ」は履修取消期間中の取り消しが出来ません。履修を希望しない場合は秋学期履修申告期間中に削除してください。
- 9月入学者は p. 59「秋学期入学者への注意」を読むこと。

履修取消(秋) 10月24日(木) 10:00～10月25日(金) 16:45(予定)

希望者のみ対象。この期間に新たに科目の追加はできません。《履修取消制度》を参照すること。

対象科目：秋学期科目・秋学期前半科目

履修取消(秋後半) 12月12日(木) 10:00～12月13日(金) 16:45(予定)

希望者のみ対象。《履修取消制度》を参照すること。

対象科目：秋学期後半科目

《履修取消制度》

2017年度より、履修登録取消制度が始まりました。履修登録取消制度とは、いったん履修登録した科目を決められた期間に申告手続きをとることで履修を取り消す制度で、履修登録をして授業に出たものの、授業の内容が学びたい内容と違って、授業に対する知識が不足していることに気付いた、履修科目数を減らしたい等といった理由から、希望者が履修を取り消すことができる制度です。keio.jp からアクセスし、学事 Web システムで登録してください (<http://keio.jp/>)。

・履修取消不可科目

法学部に設置されている科目のうち、以下の科目は、履修取消が出来ません。他学部の履修取消不可科目は p. 38 を参照してください。

外国語科目(分野番号「01-10-01」から「01-30-10」まで)、必修科目、演習科目、研究会Ⅰ～Ⅳ(法律学科)・(政治学科)、特殊研究(政治学科設置)、文献講読(政治学科設置)

・取消上限

履修取消が出来る単位数は各期間 8 単位が上限です。

・その他

履修登録取消期間には新たな履修登録はできません。一度履修取消の申告をした科目は、当該申告期間経過後は履修を復活することができません。また、履修取消によって進級・卒業が出来なくなる場合は科目の取消は認められません。

9 【履修その2】履修上限

各学年の履修単位数の上限を「48 単位」とし、それを越えて履修する場合は「自由科目」として履修してください。

10 【履修その3】外国語を学ぶ（必修外国語の再履修除く）

①三田キャンパス開講の法学部設置外国語科目を履修

三田キャンパスの各語種には以下の表の科目が設置されています。

インテンシブコースは1年を通じて同じ担当者の授業を受講すること、週3ないし4回の授業をセットとして受講することを原則とします。

インテンシブ科目は、「外国語科目（選択）」（卒業・進級の単位数に換算可）と「自由科目」（卒業・進級の単位数に換算不可）のいずれかの履修になりますが、これは履修状況によって決まります。条件は以下の表で確認してください。なお、三田設置の外国語科目を「外国語科目（必修）」に振り替えることはできません。

①英語第V

1, 2年時に身に付けた英語の知識と技能を錆びつかせたくない、さらに磨きをかけたいと考える諸君のために設置されている授業です。レベル分けはされていません。意欲のある学生は誰でも歓迎します。

②ドイツ語インテンシブ・ドイツ語第V・ドイツ語速習

「ドイツ語インテンシブ」

外国語科目選択(A欄)	インテンシブ科目を週4コマ履修
-------------	-----------------

自由科目(B欄99)	インテンシブ科目を週3コマ以下履修
------------	-------------------

有機的に関連する週4回の授業で、1コース開講します。週4回セットで履修してください。4月2日(火)9時から三田352番教室で選抜テストを行って履修者を決定します。これまでの履修者諸君も、新たに参加を希望する諸君も、この試験を受けたうえ、面接の際に担当者に相談してください。なお、4月13日(土)~14日(日)のオリエンテーションも予定に入れておいてください。

「ドイツ語第V」

日吉開設のドイツ語必修を修了した諸君のための授業です。ぜひとも卒業まで学習を継続してください。

「ドイツ語速習」

初級、中級各1コースが開講されます。ドイツ語未習者を対象として、1年間で文献が読めるまでの力をつけることを目的とします。原則として春と秋を両方履修してください。

③フランス語インテンシブ・フランス語第V

「フランス語インテンシブ」

外国語科目選択(A欄)	インテンシブ科目, フランス語表現技法4 フランス語表現技法5(外七設置)から週3~4コマ履修
-------------	---

自由科目(B欄99)	インテンシブ科目, フランス語表現技法4 フランス語表現技法5(外七設置)から週2コマ以下履修
------------	---

「フランス語インテンシブ」と「フランス語表現技法4および5」(外七設置)から4つないし3つ、春・秋とも同じ担当者の授業を選択して履修してください。第3学年で2つないし1つしか履修しない場合、第4学年であらためて4つないし3つ履修しないと「インテンシブ修了」と認められません。

「フランス語第V」

日吉のレギュラー・コースで学んだ諸君がフランス語の学習を継続するための授業です。積極的に参加してください。

④中国語インテンシブ・文献講読

「中国語インテンシブ」

外国語科目選択(A欄)	インテンシブ科目を週3コマ履修
-------------	-----------------

自由科目(B欄99)	インテンシブ科目を週2コマ以下履修
------------	-------------------

このコースを修了するためには、日吉における2年間のインテンシブコース履修に加えて、三田での週3コマの授業を履修する必要があります。3年次または4年次に週3コマを1セットで履修する方法と、3年次週2コマ・4年次週1コマ、あるいは3年次週1コマ・4年次週2コマを履修する方法とがあります。ただし前者の方法ならば選択外国語科目扱いとなりますが、後者の方法の場合は自由科目扱いとなります。

日吉でインテンシブコースを履修しておらず、新たに参加を希望する者は、履修申告前に担当教員(安田淳)に相談してください。

「文献講読(中国語)I・II」

なお、政治学科に設置された週1コマの「文献講読(中国語)I・II」を履修すれば、「インテンシブコース修了証」申請の際に、インテンシブコース修了要件のうちの1コマとして、これを記載することができます。ただしその場合は、この「文献講読(中国語)I・II」は申請書上において、通年で計2単位として扱います(つまり、外国語科目1コマと同等の換算です)。

「文献講読(中国語)I・II」を履修すると、政治学科の学生は「政治学科目」として、法律学科の学生は「展開科目(他学科・他学部)」として半期2単位、通年で計4単位が認定されます。上述の2単位(インテンシブコース修了証申請書用換算)と併せて6単位が認定されるわけではありませんので注意してください。

⑤スペイン語インテンシブ・スペイン語第V

「スペイン語インテンシブ」

外国語科目選択(A欄)	インテンシブ科目を週3コマ以上履修
-------------	-------------------

自由科目(B欄99)	インテンシブ科目を週2コマ以下履修
------------	-------------------

日吉からの連続コースですが、新たに参加を希望する者は各授業の担当者に相談してください。

「スペイン語第V」

日吉のレギュラーコースで学んだ諸君がスペイン語の学習を継続するための授業です。積極的に参加してください。

⑥ロシア語インテンシブ・ロシア語第V

「ロシア語インテンシブ」

外国語科目選択(A欄)	インテンシブ科目, 文献講読, ロシア語聴解(外七設置)から週3~4コマ履修
-------------	--

自由科目(B欄99)	インテンシブ科目, 文献講読, ロシア語聴解(外七設置)から週2コマ以下履修
------------	--

インテンシブ科目は週4回の授業で、ネイティブ講師が2コマ、日本人講師が2コマを担当します。インテンシブコースはこの中から3コマ以上を履修しますが、文献講読、外国語教育研究センターの「ロシア語聴解」を含めて3コマとすることもできます。インテンシブコース修了証は、4年次での3コマ以上のセット履修を条件として、3年修了時に出します。

上記の授業はレギュラーコースで学んだ諸君も、より実践的なロシア語の運用能力をつけるために1コマから参加することができます。不安を感じる人は熊野谷に相談してください。

「ロシア語第V」

日吉のレギュラーコースで学んだ諸君がロシア語の学習を継続するための授業です。積極的に参加して下さい。

⑦朝鮮語インテンシブ・朝鮮語第V

「朝鮮語インテンシブ」

外国語科目選択(A欄)	インテンシブ科目を週1コマ以上履修
-------------	-------------------

2コマ履修を原則としますが、1コマ履修も可とします。インテンシブコース修了証の申請には、日吉での16単位に加え三田で6単位以上の取得が必要です。日吉からの連続コースですが、新たに参加を希望する者は各授業の担当者に相談してください。

「朝鮮語第V」

日吉のレギュラーコースで学んだ諸君が朝鮮語の学習を継続するための授業です。

②外国語教育研究センター

履修申告前に履修許可を得る必要や試験がある場合があります。詳細はシラバスと外国語教育研究センター事務室で確認してください。

③他学部の外国語を履修

他学部設置の外国語科目で、他学部生の履修を認めている科目を Web サイト〔塾生サイト〕→〔履修案内・講義要綱・時間割〕→〔三田キャンパス〕→〔全学部共通外国語科目履修案内〕で確認できます。初回授業において口頭で許可を得て、B 欄で申告してください。B 欄の分野番号は以下のとおりです。

英語	01	スペイン語	05	ギリシア語	12	トルコ語	77
ドイツ語	02	ロシア語	06	ポルトガル語	14	ペルシャ語	77
フランス語	03	朝鮮語	10	アラビア語	15		
中国語	04	ラテン語	11	イタリア語	16		

④外国語科目（必修）で取得していない語種を外国語科目（選択）で履修

必修語学として履修していない語種でも、「選択外国語科目」として履修することができます。B 欄で履修申告してください。B 欄の分野番号は以下のとおりです。

英語	01	スペイン語	05	ギリシア語	12
ドイツ語	02	ロシア語	06	ポルトガル語	14
フランス語	03	朝鮮語	10	イタリア語	16
中国語	04	ラテン語	11		

履修の前に以下の手続きが必須です。語種によって必要な手続きが異なります。〔〔法学部外国語科目履修案内・講義要綱〕 p. 7 参照〕

希望する言語の学習指導教員から以下の面談で許可を得て、履修許可状が発行されたら、B 欄で履修申告してください。

※Web エントリーが行なわれる科目も、エントリーは行わずに、必ず学習指導教員の許可を得てください。

[英語]

3月29日(金) 10:00～12:00, 13:00～15:00 (日吉 D101 番教室) もしくは

4月6日(土) 9:00～11:00, 12:00～14:00 (日吉 D101 番教室)

[ドイツ語・フランス語・スペイン語]

3月29日(金) 12:00～14:00 (日吉 D203 番教室)

4月5日(金) 14:00～16:00 (日吉 D203 番教室)

[中国語・ロシア語・朝鮮語]

4月5日(金) 14:00～16:00 (日吉 D203 番教室)

各語種ともに学習指導相談期間にも面談可能 (日程は日吉キャンパス法学部掲示板参照)。

[イタリア語・ギリシア語・ラテン語・ポルトガル語]

履修申告期間中に履修申告を行ってください。

11 【履修その4】必修外国語の再履修

3年生のうちに英語以外の初級必修外国語4単位を取得できないと、たとえ進級に必要な30単位を満たしても、4年生に進級することができません。早めに取得されることをおすすめします。英語以外の語種で秋学期の単位を落とした場合、秋学期科目を再履修し、合格しなければいけません。2019年度より、未取得である学期分のみの再履修を認めています。秋学期のみ再履修する場合、春学期から授業を受けている学生との間に習熟度の差が生まれやすいので、通年での履修を推奨します。その場合、取得済みの春学期分はB欄申告で選択外国語(卒業・進級単位に含められる)として履修することが可能です。詳しくは、「法学部外国語科目履修案内・講義要項」を参照すること。

英語	01	スペイン語	05
ドイツ語	02	ロシア語	06
フランス語	03	朝鮮語	10
中国語	04		

・クラスが指定されている科目は、指定されたクラスを履修申告してください。

・Web エントリーが行われる科目を再履修する場合は、指定された期間内に Web エントリーを行い (〔法学部外国語科目履修案内・講義要綱〕 p. 7 参照)、抽選の結果、履修が許可されたクラスを履修申告してください。

・Web エントリーを忘れていたり、抽選の結果以上に履修が必要な場合は、以下の面談でクラスの指定を受けてください。

[英語]

3月29日(金) 10:00～12:00, 13:00～15:00 (日吉 D101 番教室) もしくは

4月6日(土) 9:00～11:00, 12:00～14:00 (日吉 D101 番教室)

[ドイツ語・フランス語・スペイン語]

3月29日(金) 12:00～14:00 (日吉 D203 番教室)

4月5日(金) 14:00～16:00 (日吉 D203 番教室)

12 【履修その5】インテンシブ修了証

インテンシブ修了証の条件は語種によって異なります。詳しくは、別冊子「法学部外国語科目履修案内・講義要綱」または塾生サイト〔日吉キャンパス〕履修案内・講義要綱・時間割 (<http://www.gakuji.keio.ac.jp/hiyoshi/rishu/rishu.html/>) を確認してください。申請方法は6月下旬と1月初旬に掲示予定です。

13 【履修その6】展開科目(他学科・他学部)で政治学科・他学部科目を履修

展開科目(他学科・他学部)として科目を履修する場合、22単位が履修上限です。22単位を超えて履修する場合は「自主選択科目」としての履修になります。22単位の数え方は、履修申告の時点で「取得済み科目」+「履修中科目」の合計単位数です。

次の5つの条件を満たしたときのみ履修可能です。

他学部の履修を制限する科目については p. 37 を参照してください。

条件① 履修したいと思う科目が以下の分野に該当する科目なら➡条件②へ

科目の設置学部・学科	学則	展開科目（他学科・他学部）として履修可能な分野・科目	注意事項
法学部政治学科	14	政治学科目	
文学部	11	専門教育科目	
経済学部	13・16	専門教育科目	
商学部	05	専攻科目	
理工学部	96・17	専門教育科目	科目の履修にあたり理工学部への所定用紙提出が必要です。
総合政策・環境情報学部	14	先端科目・研究会 A・研究会 B	秋学期科目の履修を考えている場合は、春学期履修申告期間に学生部法学部担当に申し出てください。
看護医療学部	12・19	専門教育科目	

条件② 履修しようとしている科目が政治学科もしくは他学部の科目と同一科目扱いの科目でないなら➡条件③へ

以下の科目は、政治学科もしくは他学部に設置されている科目で法律学科設置の科目と名称は異なるが同一科目として扱われている科目です。履修しようとしている科目が以下の表にあるときには、同一科目として扱われている法律学科設置の科目を優先して履修しなければなりません。このような場合に政治学科・他学部の科目を履修するときには、「自由科目」としての履修に限られます。

法律学科	政治学科	経済学部	商学部
会計学Ⅰ	会計学Ⅰ	会計学 a	
会計学Ⅱ	会計学Ⅱ	会計学 b	
会社法Ⅰ	商法Ⅰ A	商法Ⅰ a	法学各論（商法Ⅰ A）
会社法Ⅱ	商法Ⅰ B	商法Ⅰ b	法学各論（商法Ⅰ B）
企業税法		租税法 b	法学各論（租税法Ⅱ）
金融論Ⅰ	金融論Ⅰ	金融論 a	金融論Ⅰ
金融論Ⅱ	金融論Ⅱ	金融論 b	金融論Ⅱ
経済政策Ⅰ	経済政策Ⅰ	経済政策論 a	経済政策Ⅰ
経済政策Ⅱ	経済政策Ⅱ	経済政策論 b	経済政策Ⅱ
経済法Ⅰ	経済法Ⅰ		法学各論（経済法Ⅰ）
経済法Ⅱ	経済法Ⅱ		法学各論（経済法Ⅱ）
財政論Ⅰ	財政論Ⅰ	財政論 a	財政学Ⅰ
財政論Ⅱ	財政論Ⅱ	財政論 b	財政学Ⅱ
社会学Ⅰ	社会階層論Ⅰ		
社会学Ⅱ	社会階層論Ⅱ		
所得税法		租税法 a	法学各論（租税法Ⅰ）
政治学Ⅰ	現代政治理論Ⅰ		
政治学Ⅱ	現代政治理論Ⅱ		
法制史（東洋）	中国法制史		
法制史（西洋）	西洋法制史		
民法（総論）Ⅰ	民法Ⅰ	民法Ⅰ a	法学各論（民法Ⅰ A）
民法（総論）Ⅱ	民法Ⅰ	民法Ⅰ b	法学各論（民法Ⅰ B）
民法（物権法）Ⅰ	民法Ⅱ	民法Ⅱ a	法学各論（民法Ⅱ A）
民法（物権法）Ⅱ	民法Ⅱ	民法Ⅱ b	法学各論（民法Ⅱ B）
民法（債権各論）Ⅱ	民法Ⅲ B		
有価証券法Ⅰ	商法Ⅱ A		
有価証券法Ⅱ	商法Ⅱ A	商法Ⅱ a	法学各論（商法Ⅱ A）
有価証券法Ⅲ	商法Ⅱ B	商法Ⅱ b	法学各論（商法Ⅱ B）
有価証券法Ⅳ	商法Ⅱ B		

条件③ 他学部履修制限を受けている科目でないなら➡条件④へ

他学部生の履修を制限している科目があります。次ページの表で制限されている科目もしくは条件が課せられている科目でないか確認してください。

条件④ 履修希望科目を開講している学部の履修案内、該当科目のシラバス、掲示板を確認して問題なければ➡条件⑤へ

開講している学部で定めた履修ルールに沿って履修を行う必要があります。開講学部の履修案内をよく読んでから履修申告してください。秋学期から履修申告する場合には特に注意して読んでください。また、授業教員が定めた履修の条件がシラバスに記載されていることがあります。履修希望科目のシラバスをチェックすること。その他、追加・修正の掲示が履修申告期間前、期間中にされるがよくありますので、各自確認の上、履修申告してください。

条件⑤ 初回授業に出席し、口頭で教員から履修許可を得たら➡履修可

他学部他研究科学生の履修を制限する科目（学部）

※最新情報を必ず以下の URL で確認してください。

<http://www.gakuji.keio.ac.jp/academic/rishu/tagakubu.html>

【注意事項（全学部・全研究科）】

- 必ず事前に履修案内等を熟読し、他学部他研究科設置科目履修に必要な手続きをしてください。以下の科目以外にも、個々の授業によって履修の制限をする場合があります。必ず講義要綱・シラバスを熟読してください。
- 初回の授業で履修に関するガイダンスや履修の制限を行う場合があります。必ず初回の授業に出席してください。
- 所属学年による制限もあります。学年条件を満たしていない場合は、制限科目でなくても履修できません。
- 秋学期からは履修できない科目もありますので、シラバスや時間割等で確認してください。

法律
学
科

地区	学部	履修可能な学年	履修制限科目
三田	文学部	2年生以上	<ol style="list-style-type: none"> 不可 <ul style="list-style-type: none"> ◆必修語学科目(文学部履修案内 第9「2・3・4年生設置科目」参照) ◆総合教育科目の系列科目(文学部履修案内 第9「2・3・4年生設置科目」参照) ◆卒業論文・卒業試験(研究会は履修可能) 2. 条件付不可なし 3. 優先される科目 <ul style="list-style-type: none"> ◆必修科目や、履修者数が多い場合は、文学部生優先となる場合があります。 *初回の授業で担当教員の許可(口頭)を得てください(秋学期科目の場合も春学期の履修申告時に許可を得ること。教員にコンタクトする方法がわからない場合は、文学部担当に問い合わせてください。) *セット科目・要件科目は科目の性質上、履修できない場合があります。
		3年生以上	<ol style="list-style-type: none"> 不可 <ul style="list-style-type: none"> ◆「社会思想 a/b」「欧米経済学 a」「日本経済学 a/b(中西君)」「経済学Ⅰ a/b」「経済政策論 a」「金融論 a」「現代資本主義論 a」「国際金融論 a/b(櫻川君)」「公共経済学 a/b(小沢君)」「経済政策のミクロ分析 a/b」「金融資産市場論 a/b」「経営学 a/b」「会計学 a/b」 ◆外国語科目の選択必修科目 *外国語科目の選択必修科目と併設する選択科目は履修可能です(登録番号が異なります)。 ◆東京工業大学設置科目 2. 条件付不可 <ul style="list-style-type: none"> ◆PCP 科目, 研究プロジェクト科目 *一部の科目を除き、事前選考に合格した学生のみが履修できます。
	法学部	3年生以上	<ol style="list-style-type: none"> 不可 <ul style="list-style-type: none"> ◆「会計学Ⅰ/Ⅱ」「経営学Ⅰ/Ⅱ」「金融論Ⅰ」「国際私法Ⅰ/Ⅱ」「行政組織法Ⅰ/Ⅱ」「経済史Ⅰ/Ⅱ」(政治学科の学生のみが履修できます) ◆「ローマ法」 2. 条件付不可なし 3. 優先される科目なし
		3年生以上	<ol style="list-style-type: none"> 不可 <ul style="list-style-type: none"> ◆「グローバル・ラーニング D」 ◆「インターナショナル・ビジネス研究」 ◆「イノベーションの経営・商業」「経済学と法制度」「戦略の経営・会計」「戦略の経済・商業」 ◆「アラビア語 a・b」「朝鮮語(初級) a・b」「朝鮮語(中級) a・b」 2. 条件付不可 <ul style="list-style-type: none"> ◆「専攻演習 S」「専攻演習 D」 *抽選後人数に余裕があり、初回の授業で授業担当者の了承を得られれば履修可能です。必ず事前に空き状況を三田学生部商学部担当に確認してください。(許可願(所定用紙)に授業担当者の了承印が必要です)。 ◆GPP 科目 *一部の科目を除き、事前選考に合格した学生のみが履修できます。 3. 優先される科目 <ul style="list-style-type: none"> ◆「外国語演習 S」「外国語演習 D」「関連課題研究 S」「関連課題研究 D」 *履修希望者が多い場合は担当教員による選抜を行い、商学部生が優先されます。
日吉	文学部	2年生以上	<ol style="list-style-type: none"> 不可 <ul style="list-style-type: none"> (1) 必修語学科目(文学部履修案内参照) (2) 特論科目すべて <ul style="list-style-type: none"> ・人文科学特論Ⅰ(2単位)・人文科学特論Ⅱ(2単位) ・社会科学特論Ⅰ(2単位)・社会科学特論Ⅱ(2単位) ・自然科学特論Ⅰ(2単位)・自然科学特論Ⅱ(2単位) 2. 条件付不可なし 3. 優先される科目(文学部1年生) <ul style="list-style-type: none"> (3) 総合教育セミナー <ul style="list-style-type: none"> ・総合教育セミナーⅠ(2単位) ・総合教育セミナーⅡ(2単位)

地区	学部	履修制限科目	
三田	経済学部	<ol style="list-style-type: none"> 不可 <ul style="list-style-type: none"> ◆基礎教育科目の必修科目 ◆外国語科目の必修科目, 選択必修科目 ◆専門教育科目の必修科目 2. 条件付不可 <ul style="list-style-type: none"> PEARL 設置科目を履修する場合は、科目担当者及びPEARL アカデミック・ディレクターの許可を得る必要があります。 3. 優先される科目 <ul style="list-style-type: none"> 履修者数が多い場合やクラスが指定されている場合は、経済学部生優先となる科目があります。 	
		3年生以上	<ol style="list-style-type: none"> 不可 <ul style="list-style-type: none"> 【法律学科】 ◆外国語科目の必修科目 ◆社会科学科目の必修科目: 「法学Ⅰ(憲法を含む)」「法学Ⅱ(憲法を含む)」 ◆法律学科の必修科目: 「憲法(総論・人権)Ⅰ」「憲法(総論・人権)Ⅱ」「民法(総論)Ⅰ」「民法(総論)Ⅱ」「刑法(総論)Ⅰ」「刑法(総論)Ⅱ」 【政治学科】 ◆外国語科目の必修科目 ◆社会科学科目の必修科目: 「社会学」「法学(憲法を含む)」「経済原論Ⅰ」「憲法」「経済原論Ⅱ」 ◆政治学科の必修科目: 「政治学基礎」 2. 条件付不可なし 3. 優先される科目 <ul style="list-style-type: none"> 履修者数が多い場合やクラスが指定されている場合は、法学部生優先となる科目もあります。
	日吉	商学部	<ol style="list-style-type: none"> 不可 <ul style="list-style-type: none"> ◆必修外国語科目 ◆基礎科目・専攻科目・総合教育科目 「経済学基礎Ⅰ・Ⅱ」「経営学基礎」「商業学基礎」「会計学基礎(基本簿記と財務諸表の見方)」「微積分基礎」「統計学基礎」「経済学Ⅰ・Ⅱ」「情報リテラシー基礎」「データとの対話」 2. 条件付不可なし 3. 優先される科目 <ul style="list-style-type: none"> 上記以外の科目でも履修者数が多い場合やクラスが指定されている場合は、商学部生優先となる科目もあります。
		医学部	<ol style="list-style-type: none"> 不可 <ul style="list-style-type: none"> ・外国語科目 ・医学基礎教育科目 ・基礎科学必修科目のうち実験科目 2. 条件付不可 <ul style="list-style-type: none"> 基礎科学必修科目のうち講義科目 *科目担当者の判断により履修を許可する場合があります。(上限あり。講義要綱・シラバス参照) 3. 優先される科目なし
理工学部	<ol style="list-style-type: none"> 不可なし 2. 条件付不可 <ul style="list-style-type: none"> ・必修科目 ・実験科目(必修または選択) ・演習科目(必修または選択) 3. 優先される科目 <ul style="list-style-type: none"> 教職に必要な場合に限り、科目担当者と学習指導が判断し、履修を許可する場合があります。 4. 履修に際しては、科目担当者と学習指導が判断し、履修を許可する場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> 科目の履修にあたり理工学部への所定用紙提出が必要となりますので、履修希望者は http://www.gakuji.keio.ac.jp/yagami/rikou/shotei_youshi.html を必ず参照し、所定の手続きをしてください。 		

地区	学部	履修制限科目	
三田	薬学部	<ol style="list-style-type: none"> 不可 <ul style="list-style-type: none"> ◆実習科目 2. 条件付不可 <ul style="list-style-type: none"> ◆講義・演習科目(科目担当者の許可が必要です) 3. 優先される科目 ◆すべての科目 	
		理工学部	<ul style="list-style-type: none"> ◆なし 科目ごとではなく、履修希望学生の学力や、学習環境をもとに、科目担当者と学習指導副主任が判断し、履修許可します。 科目の履修にあたり理工学部への所定用紙提出が必要となりますので、履修希望者は http://www.gakuji.keio.ac.jp/yagami/rikou/shotei_youshi.html を必ず参照し、所定の手続きをしてください。
	湘南藤沢(信濃町看護含む)	総合政策学部・環境情報学部	<ul style="list-style-type: none"> ◆卒業プロジェクト 1 ◆卒業プロジェクト 2 ◆心身ウェルネス ◆体育 1 ◆体育 2 ◆体育 3 ◆体育 4 ◆体育 5 ◆SFC 実践英語入門 ◆外国語ベシック ◆外国語インテンシブ ◆外国語海外研修 *外国語ベシック・インテンシブ・海外研修に限り、看護医療学部、政策・メディア研究科、健康マネジメント研究科生の履修を認めます。 *マレー・インドネシア語海外研修については科目担当者の判断により履修を許可する場合があります。
		看護医療学部	<ol style="list-style-type: none"> 不可 <ul style="list-style-type: none"> ・実習科目 ・以下の講義・演習科目 <ul style="list-style-type: none"> 「生活援助技術」「医療支援技術」「看護基本技術」「在宅看護技術演習」「成人看護技術演習」「急性期病態学各論」「急性期看護学演習」「慢性期病態学各論」「慢性期看護学演習」「小児看護学演習」「精神看護学演習」「終末期病態学」「終末期看護学演習」「助産理論」「助産技術」「助産管理」 2. 条件付不可 <ul style="list-style-type: none"> その他の科目は、科目担当者が許可しない場合は履修不可 3. 優先される科目なし
信濃町	医学部	すべて不可	
芝罘	薬学部	<ol style="list-style-type: none"> 不可 <ul style="list-style-type: none"> ◆実習科目 2. 条件付不可 <ul style="list-style-type: none"> ◆講義・演習科目(科目担当者の許可が必要です) 3. 優先される科目 ◆すべての科目 	

他学部・他研究科生による履修登録取消が認められない科目（学部）

※最新情報を必ず以下の Web ページで確認してください。

<http://www.gakuji.keio.ac.jp/academic/rishu/tagakubutorikeshi.html>

【注意事項（全学部・全研究科）】

1. 下記の科目以外にも、個々の授業によって履修登録取消の制限をする場合があります。必ず講義要綱・シラバスを熟読してください。
2. 新規に履修登録取消が制限される場合がありますので、最新情報を掲示等で必ず確認してください。
3. 履修する分野や所属学年による制限もありますので、注意してください。

地区	学部	取消制限科目	地区	学部	取消制限科目	地区	学部	取消制限科目	
三田	文学部	◆博物館学実習	日吉	文学部	なし	矢上	理工学部	機械系のための電気・電子回路 機械工学ものづくりプロジェクト	
	経済学部	なし		経済学部	なし		湘南藤沢（信濃町看護含む）	総合政策学部・環境情報学部	◆言語コミュニケーション科目の海外研修科目 ◆特別研究プロジェクト A/B ◆社会起業インターンシップ ◆非営利組織インターンシップ ◆データドリブンアート ◆日本語インテンシブ 1(春季休校期間集中開講)
	法学部	◆外国語科目 ◆演習，研究会 I～IV(法律学科)，研究会 I～IV(政治学科) ◆(政治学科設置の)特殊研究 ◆(政治学科設置の)文献講読		法学部	◆外国語科目 ◆演習科目			看護医療学部	◆性と生殖における健康と権利
	商学部	◆専攻演習 D/S ◆外国語演習 D/S ◆専門外国書研究 ◆関連課題研究 D/S ※取消には所定の手続きが必要(Web上のみ) の取消は不可)		商学部	なし			信濃町	医学部
			医学部	なし	芝共立	薬学部	科目担当者の判断により履修を許可されたすべての科目		
			理工学部	◆グローバルリーダーシップセミナー ◆理工学基礎実験					
			薬学部	科目担当者の判断により履修を許可されたすべての科目					

諸研究所・センター設置科目の履修登録取消が認められない科目

履修登録取消を制限する科目は以下のとおりです。

※最新情報を必ず以下の Web ページで確認してください。

<http://www.gakuji.keio.ac.jp/academic/rishu/tagakubutorikeshi.html>

研究所・センター	取消制限科目
外国語研究センター	日吉 ◆英語最上級 アドバンスト英語(a), (b) ◆オープン科目のうち、設置学部が法学部の科目
	三田 ◆英語最上級 アドバンスト英語(a), (b)
教職課程センター	教職課程センターの一部科目は取消許可が必要となります。詳細は履修案内を参照してください。
グローバルリサーチインスティテュート	◆リーダーシップ基礎

14 【履修その7】他地区設置授業を履修する場合の注意事項

地区間を移動するにあたり、移動不可能な履修申告はできません。

例①：3限に三田キャンパスの授業を履修し、4限に日吉キャンパスの授業を履修する。

例②：2限に三田キャンパスの授業を履修し、3限に湘南藤沢キャンパスの授業を履修する。

ただし、三田・日吉キャンパスの移動に関しては、昼休みをささむ2・3時限の履修は可能としますが、授業に遅れてしまう場合も有り得ます。その場合は、学生個人の責任となりますので、十分に注意をして履修申告を行ってください。

15 【履修その8】諸研究所設置科目の履修の注意事項

諸研究所の科目は、原則としてA欄で申告してください。(B欄の選択は自由科目として選択する場合のみ。)履修申告の方法はp.31を参照してください。以下に例年問合わせの多い点を記載しています。その他、科目ごとに履修にあたって条件が定められている場合があるため、必ずシラバスで注意事項を確認してください。

①体育研究所

履修申告前に履修許可を得る必要があります。詳細はシラバスに記載があります。

②メディアコミュニケーション研究所

「研究会」は4単位までを「展開科目(他学科・他学部)」もしくは「自主選択科目」として履修可能です。4単位を超える単位は「自由科目」として履修してください。

③国際センター

短期海外研修プログラムの履修には以下の点を厳守してください。

夏季プログラム：選考の結果、参加を認められた学生は5月8日までに三田学生部法学部窓口で履修申告してください。

春季プログラム：参加後、次年度春学期履修申告期間に履修申告してください。

16 【履修その9】同一科目名でも履修できる科目

同一名称の科目を両方履修することはできませんが、一部例外があります。以下で確認してください。

①人文科学科目

担当者が異なれば同一科目名でも履修可能です。

ただし、以下の科目は担当者が同一でも、年度が異なれば履修が可能です。

「人文科学特論Ⅰ・Ⅱ」「人文科学研究会Ⅰ～Ⅳ」「人文総合講座Ⅰ・Ⅱ」

②自然科学研究会Ⅲ・Ⅳ

「自然科学研究会Ⅲ」と「自然科学研究会Ⅳ」を副専攻として同一担当者の科目を履修する場合は履修可能です。

③体育実技科目・法律学科設置演習科目・法学部設置外国語科目・少人数セミナー形式授業科目(日吉開講)・不合格となった授業科目 条件なく履修可能

17 【履修その10】副専攻認定証

「副専攻認定証」は自動的に授与されるわけではなく、申請をする必要があります。申請方法については各研究会の指導教員に申し出てください。

18 【履修その11】セット履修科目

春学期開講科目と秋学期開講科目両方の履修や同一学期に2時限分の履修が義務付けられている科目が「セット履修科目」です。シラバスに「セット履修」と書かれています。

19 【履修その12】一部の科目の注意事項

研究会	研究会は3・4年生を通じて履修しなければなりません。法律学科の研究会の単位は学期ごとに認定されます。展開科目として申請できる研究会の単位は3・4年生を通じて8単位が上限となります。秋学期に第3学年に進級する学生で、研究会の入会を希望する場合は、秋学期履修前に所属希望の研究会担当教員から入会の許可を得てください。 以下のように、入学年度によって研究会履修のルールが異なります。 ・2014年度以降入学者 3年生は研究会Ⅰ・Ⅱ、4年生は研究会Ⅲ・Ⅳを履修してください。ただし、留学や休学、原級をした場合には、指定学年と異なっても上記科目を履修できます。研究会Ⅰ～Ⅳの各科目は重複して履修することはできません。また、研究会ⅠとⅣ、ⅡとⅣの同時履修はできません。 ・2013年度以前入学者 原則として各学年4単位までが上限です。3年生は「研究会(3年)」、4年生は「研究会(4年)」を履修してください。
他学部・他学科の研究会	法律学科以外の研究会は、法律学科の研究会と取扱いが異なるので注意してください。法律学科以外の研究会は、展開科目『他学科・他学部等の専門的授業科目』の一つとして位置付けられます。展開科目として履修した場合、卒業までに取得しなければならない展開科目の44単位には含めることができますが、展開科目(研究会・演習科目)の8単位には含まれません。
会社法Ⅰ・Ⅱ	3年生・4年生ともに指定されたクラスで「Ⅰ・Ⅱ」両方履修してください。
国際取引法	第4学年対象科目のため、4年生のみ履修することができます。
数学・統計・情報処理科目	数学・統計・情報処理科目のうち、「数学系列」(分野番号04-20-11)および「統計系列」(分野番号04-20-12)については、卒業に必要な単位を計算するうえで自然科学科目の単位として算入できます。なお、「情報処理系列」(分野番号04-20-13)は自然科学科目の単位に算入することはできません。
社会学Ⅰ・Ⅱ	選択必修科目の「社会学Ⅰ・Ⅱ」と法律学科目の「社会学Ⅰ・Ⅱ」は科目名は同じですが、同一科目としての扱いになりません。別科目になります。
政治学Ⅰ・Ⅱ	選択必修科目の「政治学Ⅰ・Ⅱ」と法律学科目の「政治学Ⅰ・Ⅱ」は科目名は同じですが、同一科目としての扱いになりません。別科目になります。
人文科学研究会 自然科学研究会	「人文科学研究会」「自然科学研究会」を履修するには、それぞれ人文科学科目もしくは自然科学科目を8単位以上取得済みであることが原則です。

第9

政治学科

学習指導要項

1 2019年度開講科目一覧

下線のついてる科目は今年度開講されません。

科目名の先頭に*がついている科目は複数の分野で開講されています。

種類	分野番号	分野	設置地区	科目区分	
外国語科目	01-10-01	必修 英語	日吉	英語第Ⅰ(1) 英語第Ⅱ(レベル2)(1)	
			三田	英語第Ⅱ(1)	
	01-10-02	必修 ドイツ語(初級)	日吉	ドイツ語第Ⅰ(1) ドイツ語第Ⅱ(1)	
	01-10-03	必修 フランス語(初級)	日吉	フランス語第Ⅰ(1) フランス語第Ⅱ(1)	
	01-10-04	必修 中国語(初級)	日吉	中国語第Ⅰ(1) 中国語第Ⅱ(1)	
	01-10-05	必修 スペイン語(初級)	日吉	スペイン語第Ⅰ(1) スペイン語第Ⅱ(1)	
	01-10-06	必修 ロシア語(初級)	日吉	ロシア語第Ⅰ(1) ロシア語第Ⅱ(1)	
	01-10-10	必修 朝鮮語(初級)	日吉	朝鮮語第Ⅰ(1) 朝鮮語第Ⅱ(1)	
	01-10-13	必修 日本語(初級)	日吉	日本語(1)	
	01-10-51	必修 英語	日吉	英語第Ⅲ(1) 英語第Ⅳ(1) 英語インテンシブ(1) 外国語特殊(英語)(2)	
	01-10-52	必修 ドイツ語(中級)	日吉	ドイツ語第Ⅲ(1) ドイツ語第Ⅳ(1) ドイツ語インテンシブ(1)	
	01-10-53	必修 フランス語(中級)	日吉	フランス語第Ⅲ(1) フランス語第Ⅳ(1) フランス語インテンシブ(1)	
	01-10-54	必修 中国語(中級)	日吉	中国語第Ⅲ(1) 中国語第Ⅳ(1) 中国語インテンシブ(1)	
	01-10-55	必修 スペイン語(中級)	日吉	スペイン語第Ⅲ(1) スペイン語第Ⅳ(1) スペイン語インテンシブ(1)	
	01-10-56	必修 ロシア語(中級)	日吉	ロシア語第Ⅲ(1) ロシア語第Ⅳ(1) ロシア語インテンシブ(1)	
	01-10-60	必修 朝鮮語(中級)	日吉	朝鮮語第Ⅲ(1) 朝鮮語第Ⅳ(1) 朝鮮語インテンシブ(1)	
	01-10-63	必修 日本語(中級)	日吉	日本語(1)	
	01-20-01	選択 英語	日吉	英語(1) 外国語特殊(英語)(2)	
			三田	英語第Ⅴ(1) 英語インテンシブ(1)	
		01-20-02	選択 ドイツ語	日吉	ドイツ語(1) 初級ドイツ語演習(1)
				三田	ドイツ語第Ⅴ(1) ドイツ語速習(初級)(1) ドイツ語速習(中級)(1) ドイツ語インテンシブ(1)
		01-20-03	選択 フランス語	日吉	フランス語(1) 初級フランス語演習(1)
				三田	フランス語第Ⅴ(1) フランス語インテンシブ(1)
		01-20-04	選択 中国語	日吉	中国語(1)
				三田	中国語インテンシブ(1)
		01-20-05	選択 スペイン語	日吉	スペイン語(1)
				三田	スペイン語第Ⅴ(1) スペイン語インテンシブ(1)
		01-20-06	選択 ロシア語	日吉	ロシア語(1)
				三田	ロシア語第Ⅴ(1) ロシア語インテンシブ(1)
		01-20-10	選択 朝鮮語	日吉	朝鮮語(1)
				三田	朝鮮語第Ⅴ(1) 朝鮮語インテンシブ(1)
		01-20-11	選択 ラテン語	日吉	ラテン語(1)
				三田	ラテン語(中級)(1)
01-20-12		選択 ギリシャ語	日吉	ギリシャ語(1)	
01-20-14	選択 ポルトガル語	日吉	ポルトガル語(1)		
		三田	ポルトガル語第Ⅴ(中級)(1) ポルトガル語第Ⅴ(上級)(1)		
01-20-15	選択 アラビア語	日吉	アラビア語(1)		
01-20-16	選択 イタリア語	日吉	イタリア語(1)		
		三田	イタリア語第Ⅴ(1)		
01-30-01	選択インテンシブ 英語	日吉	英語インテンシブ(1)		
01-30-02	選択インテンシブ ドイツ語	日吉	ドイツ語インテンシブ(1)		
01-30-03	選択インテンシブ フランス語	日吉	フランス語インテンシブ(1)		
01-30-04	選択インテンシブ 中国語	日吉	中国語インテンシブ(1)		
01-30-05	選択インテンシブ スペイン語	日吉	スペイン語インテンシブ(1)		
01-30-06	選択インテンシブ ロシア語	日吉	ロシア語インテンシブ(1)		
01-30-10	選択インテンシブ 朝鮮語	日吉	朝鮮語インテンシブ(1)		
人文科学科目	02-20-01	選択	日吉	音楽Ⅰ(2) 音楽Ⅱ(2) 科学史Ⅰ(2) 科学史Ⅱ(2) 科学史Ⅲ(2) 科学史Ⅳ(2) 漢文(4) 漢文Ⅰ(2) 漢文Ⅱ(2) 言語学Ⅰ(2) 言語学Ⅱ(2) 言語学Ⅲ(2) 言語学Ⅳ(2) 言語認識論(2) 国語国文(4) 国語国文Ⅰ(2) 国語国文Ⅱ(2) 宗教学(4) 宗教学Ⅰ(2) 宗教学Ⅱ(2) 人文科学特論Ⅰ(2) 人文科学特論Ⅱ(2) 人文総合講座Ⅰ(2) 人文総合講座Ⅱ(2) 地域文化論Ⅰ(2) 地域文化論Ⅱ(2) 地域文化論Ⅲ(2) 地域文化論Ⅳ(2) 哲学Ⅰ(2) 哲学Ⅱ(2) 美術Ⅰ(2) 美術Ⅱ(2) 文学(4) 文学Ⅰ(2) 文学Ⅱ(2) 倫理学Ⅰ(2) 倫理学Ⅱ(2) 歴史Ⅰ(2) 歴史Ⅱ(2) 論理学Ⅰ(2) 論理学Ⅱ(2)	
			三田	人文科学研究会Ⅰ(2) 人文科学研究会Ⅱ(2) 人文科学研究会Ⅲ(2) 人文科学研究会Ⅳ(2)	

自然科学科目	03-20-01	選択	日吉	化学Ⅰ(実験を含む)(3) 化学Ⅱ(実験を含む)(3) 生物学Ⅰ(実験を含む)(3) 生物学Ⅱ(実験を含む)(3) 物理学Ⅰ(実験を含む)(3) 物理学Ⅱ(実験を含む)(3) 基礎数学Ⅰ(2) 基礎数学Ⅱ(2) 基礎統計学Ⅰ(2) 基礎統計学Ⅱ(2) 自然科学研究会Ⅰ(2) 自然科学研究会Ⅱ(2) 自然科学総合講座Ⅰ(2) 自然科学総合講座Ⅱ(2) 自然科学特論Ⅰ(2) 自然科学特論Ⅱ(2) 心理学Ⅰ(2) 心理学Ⅱ(2) 心理学Ⅲ(2) 心理学Ⅳ(2)
			三田	自然科学特論Ⅰ(2) 自然科学特論Ⅱ(2) 自然科学研究会Ⅲ(2) 自然科学研究会Ⅳ(2) 自然科学総合講座Ⅰ(2) 自然科学総合講座Ⅱ(2) 実践自然科学(2)
情報処理科目	04-20-11	選択 数学系列 ※自然科学科目として算入できます	日吉	数学Ⅰ(2) 数学Ⅱ(2) 数学Ⅲ(2) 数学Ⅳ(2)
			三田	数学概論Ⅰ(2) 数学概論Ⅱ(2) 数学Ⅲ(2) 数学Ⅳ(2) 数学Ⅴ(2) 数学Ⅵ(2)
	04-20-12	選択 統計系列 ※自然科学科目として算入できます	日吉	統計学Ⅰ(2) 統計学Ⅱ(2) 統計学Ⅲ(2) 統計学Ⅳ(2)
			三田	統計学Ⅲ(2) 統計学Ⅳ(2) 統計学Ⅴ(2) 統計学Ⅵ(2)
04-20-13	選択 情報処理系列	日吉	情報処理Ⅰ(2) 情報処理Ⅱ(2) 情報処理Ⅲ(2) 情報処理Ⅳ(2) 情報処理特論Ⅰ(2) 情報処理特論Ⅱ(2) 情報処理特論Ⅲ(2) 情報処理特論Ⅳ(2) 情報処理特論Ⅴ(2) 情報処理特論Ⅵ(2)	
		三田	情報処理Ⅴ(2) 情報処理Ⅵ(2) 統計情報処理Ⅰ(2) 統計情報処理Ⅱ(2) 統計情報処理Ⅲ(2) 統計情報処理Ⅳ(2) *情報処理特論Ⅴ(2) *情報処理特論Ⅵ(2)	
社会科学科目	05-10-11	必修 社会学系列	日吉	社会学(4)
	05-10-12	必修 法学系列	日吉	法学(憲法を含む)(4) 憲法(4)
	05-10-13	必修 経済学・商学系列	日吉	経済原論Ⅰ(4) 経済原論Ⅱ(4)
	05-11-12	選択必修 法学系列	日吉	行政法(4) 刑法(4) 国際法(4) 民法Ⅰ(4) 民法Ⅱ(4)
	05-11-13	選択必修 経済学・商学系列	三田	経済政策Ⅰ(2) 経済政策Ⅱ(2) 財政論Ⅰ(2) 財政論Ⅱ(2) 国際経済論Ⅰ(2) 国際経済論Ⅱ(2)
	05-20-11	選択 社会学系列	日吉	社会心理学Ⅰ(2) 社会心理学Ⅱ(2) 文化人類学Ⅰ(2) 文化人類学Ⅱ(2)
	05-20-12	選択 法学系列	三田	民法ⅢA(2) 民法ⅢB(2) 商法ⅠA(2) 商法ⅠB(2) 商法ⅡA(2) 商法ⅡB(2) 労働法Ⅰ(2) 労働法Ⅱ(2) 経済法Ⅰ(2) 経済法Ⅱ(2) 犯罪学Ⅰ(2) 犯罪学Ⅱ(2)
05-20-13	選択 経済学・商学系列	三田	計量経済学Ⅰ(2) 計量経済学Ⅱ(2) 経済史Ⅰ(2) 経済史Ⅱ(2) 日本経済論Ⅰ(2) 日本経済論Ⅱ(2) 金融論Ⅰ(2) 金融論Ⅱ(2) 労働経済論Ⅰ(2) 労働経済論Ⅱ(2) 社会保障論Ⅰ(2) 社会保障論Ⅱ(2) 経営学Ⅰ(2) 経営学Ⅱ(2) 会計学Ⅰ(2) 会計学Ⅱ(2)	
政治学科目	07-10-01	必修基礎科目	日吉	2014年度以降入学者 政治学基礎(2) 2013年度以前入学者 政治学基礎Ⅰ(2) 政治学基礎Ⅱ(2) 政治思想基礎(2) 日本政治基礎(2) 地域研究・比較政治基礎(2) 国際政治基礎(2)
			日吉	2014年度以降入学者 政治理論基礎(2) 政治思想基礎(2) 日本政治基礎(2) 地域研究・比較政治基礎(2) 国際政治基礎(2)
	07-11-01	選択必修基礎科目	日吉	政治文化論(2) 民主主義思想論Ⅰ(2)
	07-20-01	選択・系列科目 政治思想論	日吉	近代政治思想史Ⅰ(2) 近代政治思想史Ⅱ(2) 現代政治思想Ⅰ(2) 現代政治思想Ⅱ(2) 政治哲学Ⅰ(2) 政治哲学Ⅱ(2) 政治理論Ⅰ(2) 政治理論Ⅱ(2) 政治理論Ⅲ(2) 政治理論Ⅳ(2) 中世政治思想(2) *東洋政治思想Ⅰ(2) *東洋政治思想Ⅱ(2) *日本政治思想史Ⅰ(2) *日本政治思想史Ⅱ(2) 現代政治思想特殊研究Ⅰ(2) 現代政治思想特殊研究Ⅱ(2) 政治文化論特殊研究Ⅰ(2) 政治理論特殊研究Ⅰ(2) 政治思想論特殊研究Ⅰ(2) 政治思想論特殊研究Ⅱ(2) 政治思想論特殊研究Ⅲ(2)
			三田	行政学Ⅰ(2) 行政学Ⅱ(2) 社会変動論Ⅰ(2) 社会変動論Ⅱ(2) *マス・コミュニケーション論Ⅰ(2) 現代社会理論Ⅰ(2) 現代社会理論Ⅱ(2) 地域社会論Ⅰ(2) 地域社会論Ⅱ(2) *現代オーストラリア論Ⅰ(2) *現代オーストラリア論Ⅱ(2) アメリカの司法と政治(2) 行政学特論Ⅰ(2) 行政学特論Ⅱ(2) *現代オーストラリア論Ⅰ(2) *現代オーストラリア論Ⅱ(2) 現代行政論Ⅰ(2) 現代社会理論Ⅰ(2) 現代社会理論Ⅱ(2) 現代政治理論Ⅰ(2) 現代政治理論Ⅱ(2) 公共経済論Ⅰ(2) 公共経済論Ⅱ(2) 公共政策論Ⅰ 公共政策論Ⅱ(2) 政治・社会論特殊研究Ⅰ(2) 政治・社会論特殊研究Ⅱ(2) 政治・社会論特殊研究Ⅳ(2) *国際コミュニケーション論Ⅰ(2) *国際コミュニケーション論Ⅱ(2) 社会階層論Ⅰ(2) 社会階層論Ⅱ(2) 社会調査論Ⅰ(2) 社会調査論Ⅱ(2) 社会変動論Ⅰ(2) 社会変動論Ⅱ(2) 政治過程論Ⅰ(2) 政治過程論Ⅱ(2) 政治権力論Ⅰ(2) 政治権力論Ⅱ(2) 地域社会論Ⅰ(2) 地域社会論Ⅱ(2) 地方自治論Ⅰ(2) 地方自治論Ⅱ(2) *マス・コミュニケーション発達史Ⅰ(2) *マス・コミュニケーション発達史Ⅱ(2) *マス・コミュニケーション論Ⅰ(2) *マス・コミュニケーション論Ⅱ(2) メディア社会論Ⅰ(2) メディア社会論Ⅱ(2) 社会調査論特殊研究Ⅰ(2) *現代オーストラリア論特殊研究Ⅲ(2) 地域社会論特殊研究Ⅰ(2) 地域社会論特殊研究Ⅱ(2) 現代社会理論特殊研究Ⅰ(2) 社会階層論特殊研究Ⅰ(2) 社会変動論特殊研究Ⅰ(2) 社会変動論特殊研究Ⅱ(2) 社会変動論特殊研究Ⅲ(2) *政治過程論特殊研究Ⅰ(2) *政治過程論特殊研究Ⅱ(2) 政治権力論特殊研究Ⅰ(2) 地域社会論特殊研究Ⅰ(2) *マス・コミュニケーション論特殊研究Ⅱ(2) ジャーナリズム講座(2)
	07-20-02	選択・系列科目 政治・社会論	日吉	行政学Ⅰ(2) 行政学Ⅱ(2) 社会変動論Ⅰ(2) 社会変動論Ⅱ(2) *マス・コミュニケーション論Ⅰ(2) 現代社会理論Ⅰ(2) 現代社会理論Ⅱ(2) 地域社会論Ⅰ(2) 地域社会論Ⅱ(2) *現代オーストラリア論Ⅰ(2) *現代オーストラリア論Ⅱ(2) アメリカの司法と政治(2) 行政学特論Ⅰ(2) 行政学特論Ⅱ(2) *現代オーストラリア論Ⅰ(2) *現代オーストラリア論Ⅱ(2) 現代行政論Ⅰ(2) 現代社会理論Ⅰ(2) 現代社会理論Ⅱ(2) 現代政治理論Ⅰ(2) 現代政治理論Ⅱ(2) 公共経済論Ⅰ(2) 公共経済論Ⅱ(2) 公共政策論Ⅰ 公共政策論Ⅱ(2) 政治・社会論特殊研究Ⅰ(2) 政治・社会論特殊研究Ⅱ(2) 政治・社会論特殊研究Ⅳ(2) *国際コミュニケーション論Ⅰ(2) *国際コミュニケーション論Ⅱ(2) 社会階層論Ⅰ(2) 社会階層論Ⅱ(2) 社会調査論Ⅰ(2) 社会調査論Ⅱ(2) 社会変動論Ⅰ(2) 社会変動論Ⅱ(2) 政治過程論Ⅰ(2) 政治過程論Ⅱ(2) 政治権力論Ⅰ(2) 政治権力論Ⅱ(2) 地域社会論Ⅰ(2) 地域社会論Ⅱ(2) 地方自治論Ⅰ(2) 地方自治論Ⅱ(2) *マス・コミュニケーション発達史Ⅰ(2) *マス・コミュニケーション発達史Ⅱ(2) *マス・コミュニケーション論Ⅰ(2) *マス・コミュニケーション論Ⅱ(2) メディア社会論Ⅰ(2) メディア社会論Ⅱ(2) 社会調査論特殊研究Ⅰ(2) *現代オーストラリア論特殊研究Ⅲ(2) 地域社会論特殊研究Ⅰ(2) 地域社会論特殊研究Ⅱ(2) 現代社会理論特殊研究Ⅰ(2) 社会階層論特殊研究Ⅰ(2) 社会変動論特殊研究Ⅰ(2) 社会変動論特殊研究Ⅱ(2) 社会変動論特殊研究Ⅲ(2) *政治過程論特殊研究Ⅰ(2) *政治過程論特殊研究Ⅱ(2) 政治権力論特殊研究Ⅰ(2) 地域社会論特殊研究Ⅰ(2) *マス・コミュニケーション論特殊研究Ⅱ(2) ジャーナリズム講座(2)
三田			行政学Ⅰ(2) 行政学Ⅱ(2) 社会変動論Ⅰ(2) 社会変動論Ⅱ(2) *マス・コミュニケーション論Ⅰ(2) 現代社会理論Ⅰ(2) 現代社会理論Ⅱ(2) 地域社会論Ⅰ(2) 地域社会論Ⅱ(2) *現代オーストラリア論Ⅰ(2) *現代オーストラリア論Ⅱ(2) アメリカの司法と政治(2) 行政学特論Ⅰ(2) 行政学特論Ⅱ(2) *現代オーストラリア論Ⅰ(2) *現代オーストラリア論Ⅱ(2) 現代行政論Ⅰ(2) 現代社会理論Ⅰ(2) 現代社会理論Ⅱ(2) 現代政治理論Ⅰ(2) 現代政治理論Ⅱ(2) 公共経済論Ⅰ(2) 公共経済論Ⅱ(2) 公共政策論Ⅰ 公共政策論Ⅱ(2) 政治・社会論特殊研究Ⅰ(2) 政治・社会論特殊研究Ⅱ(2) 政治・社会論特殊研究Ⅳ(2) *国際コミュニケーション論Ⅰ(2) *国際コミュニケーション論Ⅱ(2) 社会階層論Ⅰ(2) 社会階層論Ⅱ(2) 社会調査論Ⅰ(2) 社会調査論Ⅱ(2) 社会変動論Ⅰ(2) 社会変動論Ⅱ(2) 政治過程論Ⅰ(2) 政治過程論Ⅱ(2) 政治権力論Ⅰ(2) 政治権力論Ⅱ(2) 地域社会論Ⅰ(2) 地域社会論Ⅱ(2) 地方自治論Ⅰ(2) 地方自治論Ⅱ(2) *マス・コミュニケーション発達史Ⅰ(2) *マス・コミュニケーション発達史Ⅱ(2) *マス・コミュニケーション論Ⅰ(2) *マス・コミュニケーション論Ⅱ(2) メディア社会論Ⅰ(2) メディア社会論Ⅱ(2) 社会調査論特殊研究Ⅰ(2) *現代オーストラリア論特殊研究Ⅲ(2) 地域社会論特殊研究Ⅰ(2) 地域社会論特殊研究Ⅱ(2) 現代社会理論特殊研究Ⅰ(2) 社会階層論特殊研究Ⅰ(2) 社会変動論特殊研究Ⅰ(2) 社会変動論特殊研究Ⅱ(2) 社会変動論特殊研究Ⅲ(2) *政治過程論特殊研究Ⅰ(2) *政治過程論特殊研究Ⅱ(2) 政治権力論特殊研究Ⅰ(2) 地域社会論特殊研究Ⅰ(2) *マス・コミュニケーション論特殊研究Ⅱ(2) ジャーナリズム講座(2)	
07-20-03	選択・系列科目 日本政治論	日吉	*日本外交史Ⅰ(2) 日本政治運動史Ⅰ(2) *マス・コミュニケーション論Ⅰ(2) 近代日本政治史Ⅰ(2) 立法過程論Ⅰ(2) 古代日本政治史Ⅰ(2) 古代日本政治史Ⅱ(2) 戦後日本政治史Ⅰ(2)	
		三田	近代日本政治史Ⅰ(2) 近代日本政治史Ⅱ(2) 近代日本政治史Ⅰ(2) 近代日本政治史Ⅱ(2) 近代日本政治史Ⅰ(2) 近代日本政治史Ⅱ(2) 近代日本政治史Ⅰ(2) 近代日本政治史Ⅱ(2) 現代日本政治論Ⅰ(2) 現代日本政治論Ⅱ(2) 古代日本政治史Ⅰ(2) 古代日本政治史Ⅱ(2) 戦後日本政治史Ⅰ(2) 戦後日本政治史Ⅱ(2) 中世日本政治史Ⅰ(2) 中世日本政治史Ⅱ(2) *日本外交史Ⅱ(2) 日本行政史Ⅰ(2) 日本行政史Ⅱ(2) 日本政治運動史Ⅰ(2) 日本政治運動史Ⅱ(2) *日本政治思想史Ⅰ(2) *日本政治思想史Ⅱ(2) *マス・コミュニケーション発達史Ⅰ(2) *マス・コミュニケーション発達史Ⅱ(2) *マス・コミュニケーション論Ⅰ(2) *マス・コミュニケーション論Ⅱ(2) *マス・コミュニケーション論特殊研究Ⅰ(2) 立法過程論Ⅰ(2) 立法過程論Ⅱ(2) 近代日本政治史特殊研究Ⅰ(2) 近代日本政治史特殊研究Ⅱ(2) 古代日本政治史特殊研究Ⅰ(2) 古代日本政治史特殊研究Ⅱ(2) *政治過程論特殊研究Ⅰ(2) *政治過程論特殊研究Ⅱ(2) 日本行政史特殊研究Ⅰ(2) 日本行政史特殊研究Ⅱ(2) 日本政治思想史特殊研究Ⅱ(2) 日本政治論特殊研究Ⅰ(2) 日本政治論特殊研究Ⅱ(2)	

政治学 科目	07-20-04	選択・系列科目 地域研究・比較政治論	日吉	アフリカ現代史Ⅰ(2) 現代中東論Ⅰ(2) *現代中東論Ⅲ(2) 現代中国論Ⅰ(2) 中国政治史Ⅰ(2) 中国政治史Ⅱ(2) 比較地域研究論Ⅰ(2) *現代オーストラリア論Ⅰ(2) *現代オーストラリア論Ⅱ(2) 現代ロシア論Ⅰ(2) 現代アメリカ論Ⅰ(2) 現代ラテン・アメリカ論Ⅰ(2) 現代ラテン・アメリカ論Ⅱ(2)	
			三田	アフリカ社会論Ⅰ(2) アフリカ社会論Ⅱ(2) アフリカの国際政治Ⅰ(2) アメリカ政治Ⅰ(2) アメリカ政治Ⅱ(2) イスラーム社会論Ⅰ(2) イスラーム社会論Ⅱ(2) *開発援助政策論Ⅰ(2) *開発援助政策論Ⅱ(2) 現代アフリカ論Ⅰ(2) 現代アフリカ論Ⅱ(2) 現代アメリカ論Ⅰ(2) 現代アメリカ論Ⅱ(2) *現代オーストラリア論Ⅰ(2) *現代オーストラリア論Ⅱ(2) *現代韓国朝鮮論Ⅰ(2) *現代韓国朝鮮論Ⅱ(2) *現代韓国朝鮮論Ⅲ(2) 現代台湾論(2) 現代中国論Ⅰ(2) 現代中国論Ⅱ(2) 現代中東論Ⅰ(2) 現代中東論Ⅱ(2) *現代東南アジア論Ⅰ(2) *現代東南アジア論Ⅱ(2) 現代南アジア論Ⅰ(2) 現代ラテン・アメリカ論Ⅰ(2) 現代ラテン・アメリカ論Ⅱ(2) 現代ロシア論Ⅰ(2) 現代ロシア論Ⅱ(2) 西洋法制史(2) 中国政治史Ⅰ(2) 中国政治史Ⅱ(2) 中国法制史(2) *東洋政治思想史Ⅰ(2) *東洋政治思想史Ⅱ(2) *ヨーロッパ政治史Ⅰ(2) *ヨーロッパ政治史Ⅱ(2) 比較地域研究論Ⅰ(2) 比較地域研究論Ⅱ(2) 現代中国論特殊研究Ⅰ(2) 現代アフリカ論特殊研究Ⅰ(2) *現代東南アジア論特殊研究Ⅰ(2) 現代東南アジア論特殊研究Ⅱ(2) *現代韓国朝鮮論特殊研究Ⅰ(2) 現代ラテン・アメリカ論特殊研究Ⅰ(2) 現代ラテン・アメリカ論特殊研究Ⅱ(2) 現代ロシア論特殊研究Ⅰ(2) アフリカ社会論特殊研究Ⅰ(2) アフリカ社会論特殊研究Ⅱ(2) アメリカ政治史特殊研究Ⅰ(2) 中国政治史特殊研究Ⅰ(2) 中国政治史特殊研究Ⅱ(2) 地域研究・比較政治論特殊研究Ⅰ(2) 地域研究・比較政治論特殊研究Ⅱ(2) 地域研究・比較政治論特殊研究Ⅲ(2) 比較地域研究論特殊研究Ⅰ(2) 比較地域研究論特殊研究Ⅱ(2) *現代オーストラリア論特殊研究Ⅲ(2)	
	07-20-05	選択・系列科目 国際政治論	日吉	国際政治論Ⅰ(2) 国際政治論Ⅱ(2) 西洋外交史Ⅰ(2) *日本外交史Ⅰ(2)	
			三田	安全保障論Ⅰ(2) 安全保障論Ⅱ(2) *開発援助政策論Ⅰ(2) *開発援助政策論Ⅱ(2) *現代韓国朝鮮論Ⅰ(2) *現代韓国朝鮮論Ⅱ(2) *現代韓国朝鮮論Ⅲ(2) 現代国際政治Ⅰ(2) 現代国際政治Ⅱ(2) *現代東南アジア論Ⅰ(2) *現代東南アジア論Ⅱ(2) 現代ヨーロッパの国際関係Ⅰ(2) 現代ヨーロッパの国際関係Ⅱ(2) 現代ヨーロッパの国際関係Ⅲ(2) 現代ヨーロッパの国際関係Ⅳ(2) *国際コミュニケーション論Ⅰ(2) *国際コミュニケーション論Ⅱ(2) 国際政治経済論Ⅰ(2) 国際政治経済論Ⅱ(2) 国際政治理論Ⅰ(2) 国際政治理論Ⅱ(2) 国際政治論Ⅰ(2) 国際政治論Ⅲ(2) 国際政治論Ⅳ(2) 西洋外交史Ⅱ(2) *日本外交史Ⅱ(2) *ヨーロッパ政治史Ⅰ(2) *ヨーロッパ政治史Ⅱ(2) 安全保障論特殊研究Ⅰ(2) 安全保障論特殊研究Ⅱ(2) 現代国際政治特殊研究Ⅰ(2) *現代東南アジア論特殊研究Ⅰ(2) 現代東南アジア論特殊研究Ⅱ(2) *現代韓国朝鮮論特殊研究Ⅰ(2) 国際政治経済論特殊研究Ⅰ(2) 国際政治経済論特殊研究Ⅱ(2) 国際政治理論特殊研究Ⅰ(2) 国際政治理論特殊研究Ⅱ(2) 国際政治論特殊研究Ⅰ(2) 西洋外交史特殊研究Ⅰ(2) 西洋外交史特殊研究Ⅱ(2) 東アジアの国際関係特殊研究Ⅰ(2) 東アジアの国際関係特殊研究Ⅱ(2) 東アジアの国際関係特殊研究Ⅲ(2)	
	07-20-06	選択・系列科目 研究会	三田	2014年度以降入学者 研究会(政治学科)Ⅰ(2) 研究会(政治学科)Ⅱ(2) 研究会(政治学科)Ⅲ(2) 研究会(政治学科)Ⅳ(2) 2013年度以前入学者 研究会(2)	
	07-20-07	選択・系列科目 文献講読	三田	文献講読Ⅰ(2) 文献講読Ⅱ(2)	
	07-20-08	選択・系列科目 政治学総合講座	三田	戦後世界と日本(2)	
	07-22-01	選択・系列科目 集中学習科目	日吉	演習Ⅰ(2) 演習Ⅱ(2)	
	体育科目	08-20-01	選択・講義系	日吉	体育学講義(2) 体育学演習(1)
		08-20-02	選択・実技系	日吉 三田	体育実技 A(1) 体育実技 B(1) 体育実技 A(1)
択主 目選	09-20-01	選択		他学科または他学部および教授会の認める大学付設の研究所その他諸機関の授業科目で、 あらかじめ当該授業科目の担当者および学習指導の承認を得た人文・自然・社会科学科目に 相当するもの	
科自 目由	10-30-01	自由		進級および卒業要件とならない科目	
	11-30-01	自由		教職課程センター設置科目	

〔注意〕政治学科目のうち、複数の分野で開講されている科目について、
履修申告後の分野変更は一切認められません。履修申告の際に十分注意してください。

(例) 日本政治思想史Ⅰ(思)

日本政治思想史Ⅰ(日)

時間割に記載されている科目名の後ろの()内の表示が、その科目が属する分野を表しています。

どちらの分野で履修するかを選択のうえ、正しい登録番号で履修申告してください。

2 卒業に必要な単位

2014 年度以降入学者用

以下の表を利用して、各自の責任において卒業に必要な単位計算を行ってください。

学期末に送付される学業成績表（もしくはkeio.jpの学業成績表閲覧）に記載の「分野番号」を基準に表を作成することをお勧めします。

※1 前学期までに取得した単位数は学期末に送付された学業成績表（緑色）で確認のうえ記入してください。

※2 自由科目(分野：10-30-01と11-30-01)は卒業の単位には含まれないのでこの確認表に記載欄はありません。

分野・科目名		分野番号	卒業に必要な単位	前学期までに取得した単位	秋学期追加履修 (判定欄が空欄の学生)	
外国語科目（必修）		01-10-01 }	16		×	
		01-10-63				
外国語科目（選択）		01-20-01 }	/		×	
		01-20-16				
外国語科目（選択インテンシブ）		01-30-01 }	/		×	
		01-30-10				
人文科学科目		02-20-01	8以上		×	
自然科学科目 *数学・統計科目も含まれます		03-20-01 04-20-11 04-20-12	8以上		×	
情報処理科目		04-20-13	/		×	
社会科学科目	必修	社会学	05-10-11	4	×	
		法学・憲法	05-10-12	8	×	
		経済原論Ⅰ・経済原論Ⅱ	05-10-13	8	×	
	選択必修	行政法、国際法、刑法、民法Ⅰ、民法Ⅱのうち1科目	05-11-12	4以上	×	
		経済政策Ⅰ・Ⅱ、財政論Ⅰ・Ⅱ、国際経済論Ⅰ・Ⅱのうち2科目	05-11-13	4以上	○	
	選択	社会学系列	05-20-11	/		△ (分野番号:05-20-12, 05-20-13のみ)
		法学系列	05-20-12			
経済学・商学系列		05-20-13				
政治学科目	基礎必修	政治学基礎	07-10-01	2	基礎科目 および 系列科目合計 07-10-01 } 07-22-01 計()単位 *48単位以上必要	○
		政治思想基礎, 政治理論基礎, 日本政治基礎, 地域研究・比較政治基礎, 国際政治基礎	07-11-01	6以上		○
	系列科目	政治思想論	07-20-01	4以上		○
		政治・社会論	07-20-02	4以上		○
		日本政治論	07-20-03	4以上		○
		地域研究・比較政治論	07-20-04	4以上		○
		国際政治論	07-20-05	4以上		○
		研究会、文献講読、演習等	07-20-06 07-20-07 07-20-08 07-22-01	/		○
体育科目		08-20-01 08-20-02	/		×	
自主選択科目		09-20-01	/		×	
総単位		01-10-01 } 09-20-01	136以上		年間48単位 まで	

【秋学期追加履修についての注意】・・・詳細は必ずP51を参照してください。

- 上記追加履修の一覧は、春学期末成績表の判定欄が空欄の学生が追加・削除できる科目です。判定欄が空欄以外、もしくは留学・休学明けの学生はP51を参照してください。
- 春学期中に履修制限になった科目は秋学期に追加履修ができません。

【履修取消についての注意】・・・詳細は必ずP51を参照してください。

- 履修取消不可科目は以下のとおりです。
法学部設置外国語科目、必修科目、演習科目、研究会Ⅰ～Ⅳ(法律学科・政治学科)、特殊研究(政治学科設置)、文献講読(政治学科設置)
- 履修取消期間の追加履修は一切できませんので注意してください。
- 履修取消によって進級・卒業が出来なくなる場合は科目の取消は認められません。

2 卒業に必要な単位 (学士入学者)

学士入学者用(2014年度以降入学者)

授業科目		単位数	内容等
社会科学科目		28	社会学, 法学 (憲法を含む), 憲法, 経済原論Ⅰ, 経済原論Ⅱの5科目 20単位 行政法, 国際法, 刑法, 民法Ⅰ, 民法Ⅱのうち1科目 4単位 経済政策Ⅰ, 経済政策Ⅱ, 財政論Ⅰ, 財政論Ⅱ, 国際経済論Ⅰ, 国際経済論Ⅱのうち2科目 4単位
政治学科目	基礎科目	48	政治学基礎 政治思想基礎, 政治理論基礎, 日本政治基礎, 地域研究・比較政治基礎, 国際政治基礎
	系列科目		政治思想論系列, 政治・社会論系列, 日本政治論系列, 地域研究・比較政治論系列, 国際政治論系列 それぞれ4単位以上 研究会, 文献講読Ⅰ, 文献講読Ⅱ, 演習Ⅰ, 演習Ⅱ
合計		76	

2 卒業に必要な単位

2013 年度以前入学者用

以下の表を利用して、各自の責任において卒業に必要な単位計算を行ってください。

学期末に送付される学業成績表（もしくはkeio.jpの学業成績表閲覧）に記載の「分野番号」を基準に表を作成することをお勧めします。

※1 前学期までに取得した単位数は学期末に送付された学業成績表（緑色）で確認のうえ記入してください。

※2 自由科目(分野：10-30-01と11-30-01)は卒業の単位には含まれないのでこの確認表に記載欄はありません。

分野・科目名		分野番号	卒業に必要な単位	前学期までに取得した単位	秋学期追加履修 (判定欄が空欄の学生)	
外国語科目（必修）		01-10-01 }	16		×	
		01-10-66				
外国語科目（選択）		01-20-01 }				
		01-20-16	/		×	
外国語科目（選択インテンシブ）		01-30-01 }				
		01-30-10	8以上		×	
人文科学科目		02-20-01				
自然科学科目 *数学・統計科目も含まれます		03-20-01 04-20-11 04-20-12	8以上		×	
情報処理科目		04-20-13				
社会科学科目	必修	社会学	05-10-11	/	×	
		法学・憲法	05-10-12			
		経済原論Ⅰ・経済原論Ⅱ	05-10-13			
	選択必修	行政法、国際法、刑法、 民法Ⅰ、民法Ⅱのうち1科目	05-11-12	4以上		×
		経済政策Ⅰ・Ⅱ、財政論Ⅰ・Ⅱ、国際経済論Ⅰ・Ⅱのうち2科目	05-11-13			
	選択	社会学系列	05-20-11	/		△ (分野番号:05-20-12, 05-20-13のみ)
		法学系列	05-20-12			
経済学・商学系列		05-20-13				
政治学科目	基礎	政治学基礎Ⅰ・政治学基礎Ⅱ 政治思想基礎・日本政治基礎 地域研究・比較政治基礎・国際政治基礎	07-10-01	12		○
		系列科目	政治思想論			
	政治・社会論		07-20-02			
	日本政治論		07-20-03			
	地域研究・比較政治論		07-20-04			
	国際政治論		07-20-05			
	研究会、文献講読、演習等	07-20-06 07-20-07 07-20-08 07-22-01	/			○
体育科目	08-20-01 08-20-02	/			×	
自主選択科目	09-20-01	/			×	
総単位		01-10-01 }	136以上		年間48単位 まで	
		09-20-01				

【秋学期追加履修についての注意】・・・詳細は必ずP51を参照してください。

- 上記追加履修の一覧は、春学期末成績表の判定欄が空欄の学生が追加・削除できる科目です。判定欄が空欄以外、もしくは留学・休学明けの学生はP51を参照してください。
- 春学期中に履修制限になった科目は秋学期に追加履修ができません。

【履修取消についての注意】・・・詳細は必ずP51を参照してください。

- 履修取消不可科目は以下のとおりです。
法学部設置外国語科目、必修科目、演習科目、研究会Ⅰ～Ⅳ(法律学科・政治学科)、特殊研究(政治学科設置)、文献講読(政治学科設置)
- 履修取消期間の追加履修は一切できませんので注意してください。
- 履修取消によって進級・卒業が出来なくなる場合は科目の取消は認められません。

2 卒業に必要な単位（学士入学者）

学士入学者用（2013年度以前入学者）

授業科目		単位数	内容等
社会科学科目		28	社会学、法学（憲法を含む）、憲法、経済原論Ⅰ、経済原論Ⅱの5科目 20単位
			行政法、国際法、刑法、民法Ⅰ、民法Ⅱのうち1科目 4単位
			経済政策Ⅰ、経済政策Ⅱ、財政論Ⅰ、財政論Ⅱ、国際経済論Ⅰ、国際経済論Ⅱのうち2科目 4単位
政治学科目	基礎科目	52	政治学基礎Ⅰ、政治学基礎Ⅱ、政治思想基礎、日本政治基礎、地域研究・比較政治基礎、国際政治基礎の6科目12単位
	系列科目		政治思想論系列、政治・社会論系列、日本政治論系列、地域研究・比較政治論系列、国際政治論系列 それぞれ4単位以上
研究会、文献講読Ⅰ、文献講読Ⅱ、演習Ⅰ、演習Ⅱ			
合計		80	

3 進級に必要な単位

第3学年において履修する授業科目（自由科目を除き自主選択科目を含む）から、30単位以上取得することが必要です。ただし、必修として履修した外国語それぞれの語種（英語を除く）につき、いまだ取得していない単位が4単位を超える場合には、1年間でそれを取得し終わることができませんので、第4学年に進級することはできません。

学士入学者の場合は、第3学年において履修する授業科目（自由科目を除く）から、30単位以上取得することが必要です。この中に、認定された単位のうち、最大16単位を繰り入れることができます。

4 復活制度

原級などの理由により同一学年に3学期以上在学（休学の期間は含まない）した場合は、進級した直後の学期終了後に進級・卒業の対象者となります。これを「復活制度」といいます。進級直後の学期に限り、前学年で取得した単位数のうち30単位を超える分を進級に必要な単位として繰り越されます。ただし、進級直後の学期において原級した場合、繰り越した分の単位は進級単位に含まれなくなります。

(例1)

	春学期 (4/1~9/21)	秋学期 (9/22~3/31)
2017年度	2年生	2年生
2018年度	2年生(進級)	3年生(復活制度により進級)
2019年度	4年生	4年生(卒業)

2017年度1年間2年生に在学し、28単位の単位取得のため原級になりました。
翌2018年度の春学期に10単位を取得しました。2年生を通じて合計38単位取得できたので、秋学期から3年生になりました。秋学期に24単位取得できたので、2年生時に30単位を超えて取得した8単位分を加算して2019年度春学期から4年生になりました。

(例2)

	春学期 (4/1~9/21)	秋学期 (9/22~3/31)
2017年度	2年生	2年生
2018年度	3年生	3年生
2019年度	3年生	4年生(復活制度により卒業)

2018年度1年間3年生に在学し、28単位の単位取得のため原級になりました。
翌2019年度の春学期に10単位を取得しました。3年生を通じて合計38単位取得できたので、秋学期から4年生になりました。秋学期終了時点で卒業に必要な単位を満たしたので、2019年度秋学期終了時に卒業になりました。

5 在学期間延長制度

卒業要件を満たした4年生が、さらに次の学期も在学を希望する場合は「在学期間延長」の申請が必要です。概略は以下のとおりです。9月卒業対象者は6月初旬（締切は2019年7月12日（金）（予定））に、3月卒業対象者は12月初旬（締切は2020年1月9日（木）（予定））に詳細を掲示予定です。

- ①学期ごとの申請になります。
- ②授業料の減免措置はありません。
- ③在学を許可された学期が終了した時点で「卒業」になります。
- ④在学を許可された学期の初めに「政治学科目」を1科目以上履修しなければなりません。
- ⑤在学を許可された学期の「休学」申請はできません。

※法学部の「研究会」に所属していない学生は、事前に学習指導面談を受ける必要があります。面談の申込は面談実施の前週末までとなっているので注意してください。

6 9月卒業

第4学年に1年以上在学し（休学期間は在学年数に含まれません）、春学期終了時点で卒業に必要な単位を満たした場合、9月卒業となります。また、第3学年に3学期以上在学し、第4学年を春学期のみ半期在学した時点で卒業に必要な単位を満たした場合、9月卒業となります。（→「復活制度」による）9月卒業の場合、卒業年度の学費（授業料、その他必要諸経費）は春学期分のみとなり、秋学期分は不要です。

(例1) 2018年度3月卒業（2019年3月卒業）の予定だったが卒業に必要な単位が足りず原級となった場合、2019年度春学期に卒業に必要な単位を満たすと2019年9月卒業となります。

(例2) 2018年9月に3年生に進級し、2019年9月に4年生に進級した場合、2020年度春学期終了時点で卒業に必要な単位を満たすと2020年9月卒業となります。この場合、2019年度秋学期に卒業に必要な単位を満たしても2020年3月に卒業することはできません。

(例1)

	春学期 (4/1~9/21)	秋学期 (9/22~3/31)
2017年度	3年生	3年生
2018年度	4年生	4年生(原級)
2019年度	4年生(卒業)	

(例2)

	春学期 (4/1~9/21)	秋学期 (9/22~3/31)
2018年度	2年生	3年生
2019年度	3年生	4年生
2020年度	4年生(卒業)	

7 クラス担任・学習指導

(1) クラス担任

クラス担任は学問上の研究指導を行うと同時に、学生生活全般にわたって相談に乗り、助言を与えることになっています。政治学科専任教員の研究会に属している場合、研究会担当者がクラス担任になります。それ以外の場合のクラス担任は以下のとおりです。

A-K組 岡山 裕
L-U組 塩原 良和

(2) 学習指導

政治学科の学習指導は次のとおりです。

教授 岡山 裕
教授 塩原 良和

(3) 学習指導面談

【2019年度面談日程】毎週水曜日 午前10:00～（授業期間中のみ）

※前週の金曜日までに三田学生部法学部担当窓口で予約を済ませてください。

面談は授業期間にしか行われません。2019年度の最終面談は春学期は7月17日（水）、秋学期は2020年1月15日（水）です。特に海外渡航の場合は必ず出発日前に面談を終えるよう、余裕を持った日程で面談予約をしてください。申請が遅れたことによる特別な対応は行いませんので十分注意してください。難しい場合はお早めに学生部へ相談してください。

※学習指導・学習指導面談日程等に変更がある場合は掲示にてお知らせします。

8 【履修その1】履修申告の流れ

- ① keio.jp からアクセスし、学事 Web システムで登録してください。
http://keio.jp/
※ 毎日午前 4 時から約 1 時間定期メンテナンスのためシステム停止
- ② 履修申告期間外の変更・取り消しはできません。
- ③ 登録していない科目を受講しても単位は取得できません。
- ④ 履修申告をしない場合は、修学の意味がないものとして退学処分の対象になります。(学則第 188 条)
卒業に必要な単位を取得済みの 4 年生で今年度履修申告をしない場合は、学事 Web システムの「新規履修申告科目なし」を申請してください。
- ⑤ 申告に必要な登録番号 (5 桁) は「時間割表」で確認してください。
A 欄と B 欄のどちらで履修申告すべき科目かを以下の表で確認してください。A 欄は「登録番号のみ」入力、B 欄は「分野番号と登録番号」を入力する必要があります。以下の一覧表を参照してください。

キャンパス	科目設置の学部・学科・研究所名	履修する科目		A 欄 or B 欄	B 欄分野番号	分野
三田	政治学科	すべて		A 欄		履修する科目がどの分野にあたるかは、p. 40~42「2019 年度開講科目一覧」で確認してください。
	法律学科・他学部	専門科目、および総合教育科目以外 詳細は p. 53 記載の「13【履修その 6】自主選択科目で法律学科・他学部科目を履修」を確認してください		B 欄	77	自主選択科目
		総合教育科目			99	自由科目
日吉	政治学科	すべて		A 欄		履修する科目がどの分野にあたるかは、p. 40~42「2019 年度開講科目一覧」で確認してください。
	法律学科・他学部	専門科目	※履修条件:「科目認定願」を日吉学生部に提出	B 欄	77	自主選択科目
		専門科目以外 (注 1)			99	自由科目
湘南藤沢	総合政策・環境情報	先端科目、研究会 A、研究会 B 詳細は p. 53 記載の「13【履修その 6】自主選択科目で法律学科・他学部科目を履修」を確認してください		B 欄	77	自主選択科目
		上記 (先端科目、研究会 A、研究会 B) 以外			99	自由科目
		研究会 I~VI を通じて 4 単位を超えた単位 (自由科目を含まない)			99	自由科目
諸研究所	メディアコミュニケーション研究所	上記記載の科目以外		A 欄		自主選択科目
		英語			外国語科目 (選択)	
	ドイツ語					
	フランス語					
	中国語					
	スペイン語					
	ロシア語					
	朝鮮語					
	ラテン語					
	ギリシア語					
	ポルトガル語					
	アラビア語					
	イタリア語					
	その他		自主選択科目			
	言語文化研究所	朝鮮語			外国語科目 (選択)	
アラビア語						
その他		自主選択科目				

諸研究所	国際センター		A 欄	自主選択科目
	保健管理センター			自主選択科目
	福澤研究センター			自主選択科目
	教養研究センター			自主選択科目
	体育研究所			体育科目
	斯道文庫			自由科目
	教職課程センター	履修上限単位数には含まれません。 教職課程登録者のみ履修可		自由科目
	グローバルリサーチ インスティテュート	リーダーシップ基礎		自主選択科目
	GIC センター	すべて		履修する科目がどの分野にあたるかは、時間割冊子の「GIC センター設置科目一覧（日吉）」で確認してください。

(注1) 2020 年度より、少人数セミナー形式授業科目の取扱いは「専門科目以外」となり、3 年生以上で履修した場合は「自由科目」となります。

春学期

履修申告期間 4 月 10 日（水）13：00～4 月 13 日（土）13：00

履修登録状況公開 4 月 13 日（土）15：00～4 月 25 日（木）9：00（予定）

・この期間はまだ、抽選科目の結果や履修エラーがあるときの修正指示について反映されていません。

履修登録結果公開 4 月 25 日（木）9：00（予定）

- ①「学事 Web システム」における「履修確認」画面に「抽選結果」と「履修エラーがあるときの修正指示」が反映されます。全員が必ず確認をしてください。
- ②抽選の結果履修することができない科目があった場合には、5 月 7 日（火）10：00～5 月 8 日（水）16：45 に限り、履修できなかった単位数分の履修申告を受け付けます。
- ③履修エラーがあるときの修正指示があった場合には、学生証を持参のうえ、至急三田キャンパス学生部法学部窓口に来ること。

履修修正 5 月 7 日（火）10：00～5 月 8 日（水）16：45（予定）

履修申告に不備があり、修正の必要がある者として学生部が呼び出した学生のみ対象です。

履修取消（春） 5 月 15 日（水）10：00～5 月 16 日（木）16：45（予定）

希望者のみ対象。次ページ参照。
対象科目：通年科目（セット科目含む）・春学期科目・春学期前半科目

履修取消（春後半） 6 月 24 日（月）10：00～6 月 25 日（火）16：45（予定）

希望者のみ対象。次ページ参照。
対象科目：春学期後半科目

秋学期

秋学期追加履修申告 9月26日(木) 13:00～10月1日(火) 11:00(予定)

政治学科の3・4年生は、春学期の履修単位数とあわせて48単位(2013年度以前入学者は52単位)の範囲内で秋学期科目の追加・削除が可能です。追加可能な科目や単位数は、個人の学期末判定などによって異なりますので、以下の詳細を確認のうえ、履修登録を行ってください。

①

春学期末成績表の判定欄が「原級」・「進級」、もしくは春学期に留学*・休学した場合



秋学期48単位申請可
(2013年度以前入学者は52単位)

(*春学期に履修申告していない場合に限る)
※詳細は秋学期履修申告前に掲示で案内します。

②

春学期末成績表の判定欄が空欄の場合



「政治学科に設置されている政治学科目」、「三田設置の社会科学科目」のみ、春学期の履修単位数とあわせて履修上限48単位(2013年度以前入学者は52単位)の範囲内で追加・削除が可能

※秋学期に追加・削除できる科目は「政治学科に設置されている政治学科目」(分野番号「07-10-01」～「07-22-01」)、「三田設置の社会科学科目」(分野番号「05-11-13」、「05-20-12」、「05-20-13」)のみです。そのほかの科目の追加・削除や、春学期に不合格となった単位分の追加はできません。
※春学期履修取消期間中に取り消した単位分も秋学期に追加申告することができます。
※春学期のうちに自由科目として登録した政治学科目は秋学期中に追加・削除することはできません。

- 詳細については、春学期末学業成績表に同封するお知らせに記載します。
- 春学期中に履修制限が行われた秋学期科目は秋学期に追加申告できません。
- 春学期中に履修申告した秋学期科目・通年科目に特に変更がない場合、改めて履修申告する必要はありません。
- 政治学科目のうち、「特殊研究(政治学科設置)」、「文献講読(政治学科設置)」、「研究会I～IV」は履修取消期間中の取り消しができません。履修を希望しない場合は秋学期履修申告期間中に削除してください。
- 9月入学者はp.59「秋学期入学者への注意」を読むこと。

履修取消(秋) 10月24日(木) 10:00～10月25日(金) 16:45(予定)

希望者のみ対象。この期間に新たに科目の追加はできません。《履修取消制度》を参照すること。
対象科目：秋学期科目・秋学期前半科目

履修取消(秋後半) 12月12日(木) 10:00～12月13日(金) 16:45(予定)

希望者のみ対象。《履修取消制度》を参照すること。
対象科目：秋学期後半科目

《履修取消制度》

2017年度より、履修登録取消制度が始まりました。履修登録取消制度とは、いったん履修登録した科目を決められた期間に申告手続きをとることで履修を取り消す制度で、履修登録をして授業に出たものの、授業の内容が学びたい内容と違って、授業に対する知識が不足していることに気付いた、履修科目数を減らしたい等といった理由から、希望者が履修を取り消すことができる制度です。keio.jpからアクセスし、学事Webシステムで登録してください(<http://keio.jp/>)。

・履修取消不可科目

法学部に設置されている科目のうち、以下の科目は、履修取消が出来ません。他学部の履修取消不可科目はp.56を参照してください。

外国語科目(分野番号「01-10-01」から「01-30-10」まで)、必修科目、演習科目、研究会I～IV(法律学科)・(政治学科)、特殊研究(政治学科設置)、文献講読(政治学科設置)

・取消上限

履修取消が出来る単位数は各期間8単位が上限です。

・その他

履修登録取消期間には新たな履修登録はできません。一度履修取消の申告をした科目は、当該申告期間経過後は履修を復活することができません。

また、履修取消によって進級・卒業が出来なくなる場合は科目の取消は認められません。

9 【履修その2】履修上限

各学年の履修単位数の上限を「48単位(※2013年度以前入学者は52単位)」とし、それを越えて履修する場合は「自由科目」として履修してください。

10 【履修その3】 外国語を学ぶ（必修外国語の再履修除く）

①三田キャンパス開講の法学部設置外国語科目を履修

三田キャンパスの各語種には以下の表の科目が設置されています。

インテンシブコースは1年を通じて同じ担当者の授業を受講すること、週3ないし4回の授業をセットとして受講することを原則とします。

インテンシブ科目は、「外国語科目（選択）」（卒業・進級の単位数に換算可）と「自由科目」（卒業・進級の単位数に換算不可）のいずれかの履修にりますが、これは履修状況によって決まります。条件は以下の表で確認してください。なお、三田設置の外国語科目を「外国語科目（必修）」に振り替えることはできません。

①英語第V

1, 2年時に身に付けた英語の知識と技能を錆びつかせたくない、さらに磨きをかけたいと考える諸君のために設置されている授業です。レベル分けはされていません。意欲のある学生は誰でも歓迎します。

②ドイツ語インテンシブ・ドイツ語第V・ドイツ語速習

「ドイツ語インテンシブ」

外国語科目選択(A欄)	インテンシブ科目を週4コマ履修
自由科目(B欄99)	インテンシブ科目を週3コマ以下履修

有機的に関連する週4回の授業で、1コース開講します。週4回セットで履修してください。4月2日（火）9時から三田352番教室で選抜テストを行って履修者を決定します。これまでの履修者諸君も、新たに参加を希望する諸君も、この試験を受けたうえ、面接の際に担当者に相談してください。なお、4月13日（土）～14日（日）のオリエンテーションも予定に入れておいてください。

「ドイツ語第V」

日吉開設のドイツ語必修を修了した諸君のための授業です。ぜひとも卒業まで学習を継続してください。

「ドイツ語速習」

初級、中級各1コースが開講されます。ドイツ語未習者を対象として、1年間で文献が読めるまでの力をつけることを目的とします。原則として春と秋を両方履修してください。

③フランス語インテンシブ・フランス語第V

「フランス語インテンシブ」

外国語科目選択(A欄)	インテンシブ科目, フランス語表現技法4 フランス語表現技法5 (外セ設置)から週3～4コマ履修
自由科目(B欄99)	インテンシブ科目, フランス語表現技法4 フランス語表現技法5 (外セ設置)から週2コマ以下履修

「フランス語インテンシブ」と「フランス語表現技法4および5」(外セ設置)から4つないし3つ、春・秋とも同じ担当者の授業を選択して履修してください。第3学年で2つないし1つしか履修しない場合、第4学年であらためて4つないし3つ履修しないと「インテンシブ修了」と認められません。

「フランス語第V」

日吉のレギュラー・コースで学んだ諸君がフランス語の学習を継続するための授業です。積極的に参加してください。

④中国語インテンシブ・文献講読

「中国語インテンシブ」

外国語科目選択(A欄)	インテンシブ科目を週3コマ履修
自由科目(B欄99)	インテンシブ科目を週2コマ以下履修

このコースを修了するためには、日吉における2年間のインテンシブコース履修に加えて、三田での週3コマの授業を履修する必要があります。3年次または4年次に週3コマを1セットで履修する方法と、3年次週2コマ・4年次週1コマ、あるいは3年次週1コマ・4年次週2コマを履修する方法があります。ただし前者の方法ならば選択外国語科目扱いとなりますが、後者の方法の場合は自由科目扱いとなります。

日吉でインテンシブコースを履修しておらず、新たに参加を希望する者は、履修申告前に担当教員（安田淳）に相談してください。

「文献講読（中国語）I・II」

なお、政治学科に設置された週1コマの「文献講読（中国語）I・II」を履修すれば、「インテンシブコース修了証」申請の際に、インテンシブコース修了要件のうちの1コマとして、これを記載することができます。ただしその場合は、この「文献講読（中国語）I・II」は申請書上において、通年で計2単位として扱います（つまり、外国語科目1コマと同等の換算です）。

「文献講読（中国語）I・II」を履修すると、政治学科の学生は「政治学科目」として、法律学科の学生は「展開科目（他学科・他学部）」として半期2単位、通年で計4単位が認定されます。上述の2単位（インテンシブコース修了証申請書用換算）と併せて6単位が認定されるわけではありませんので注意してください。

⑤スペイン語インテンシブ・スペイン語第V

「スペイン語インテンシブ」

外国語科目選択(A欄)	インテンシブ科目を週3コマ以上履修
自由科目(B欄99)	インテンシブ科目を週2コマ以下履修

日吉からの連続コースですが、新たに参加を希望する者は各授業の担当者に相談してください。

「スペイン語第V」

日吉のレギュラーコースで学んだ諸君がスペイン語の学習を継続するための授業です。積極的に参加してください。

⑥ロシア語インテンシブ・ロシア語第V

「ロシア語インテンシブ」

外国語科目選択(A欄)	インテンシブ科目, 文献講読, ロシア語聴解 (外セ設置) から週3～4コマ履修
自由科目(B欄99)	インテンシブ科目, 文献講読, ロシア語聴解 (外セ設置) から週2コマ以下履修

インテンシブ科目は週4回の授業で、ネイティブ講師が2コマ、日本人講師が2コマを担当します。インテンシブコースはこの中から3コマ以上を履修しますが、文献講読、外国語教育研究センターの「ロシア語聴解」を含めて3コマとすることもできます。インテンシブコース修了証は、4年次での3コマ以上のセット履修を条件として、3年修了時に出示します。

上記の授業はレギュラーコースで学んだ諸君も、より実践的なロシア語の運用能力をつけるために1コマから参加することができます。不安を感じる人は熊野谷に相談してください。

「ロシア語第V」

日吉のレギュラーコースで学んだ諸君がロシア語の学習を継続するための授業です。積極的に参加して下さい。

⑦朝鮮語インテンシブ・朝鮮語第V

「朝鮮語インテンシブ」

外国語科目選択(A欄)	インテンシブ科目を週1コマ以上履修
-------------	-------------------

2コマ履修を原則としますが、1コマ履修も可とします。インテンシブコース修了証の申請には、日吉での16単位に加え三田で6単位以上の取得が必要です。日吉からの連続コースですが、新たに参加を希望する者は各授業の担当者に相談してください。

「朝鮮語第V」

日吉のレギュラーコースで学んだ諸君が朝鮮語の学習を継続するための授業です。

②外国語教育研究センター

履修申告前に履修許可を得る必要や試験がある場合があります。詳細はシラバスと外国語教育研究センター事務室で確認してください。

③他学部の外国語を履修

他学部設置の外国語科目で、他学部生の履修を認めている科目を Web サイト（「塾生サイト」→「履修案内・講義要綱・時間割」→「三田キャンパス」→「全学部共通外国語科目履修案内」）で確認できます。初回授業において口頭で許可を得て、B 欄で申告してください。B 欄の分野番号は以下のとおり。

英語	01	スペイン語	05	ギリシア語	12	トルコ語	77
ドイツ語	02	ロシア語	06	ポルトガル語	14	ペルシャ語	77
フランス語	03	朝鮮語	10	アラビア語	15		
中国語	04	ラテン語	11	イタリア語	16		

④外国語科目（必修）で取得していない語種を外国語科目（選択）で履修

必修語学として履修していない語種でも、「選択外国語科目」として履修することができます。B 欄で履修申告してください。B 欄の分野番号は以下のとおりです。

英語	01	スペイン語	05	ギリシア語	12
ドイツ語	02	ロシア語	06	ポルトガル語	14
フランス語	03	朝鮮語	10	イタリア語	16
中国語	04	ラテン語	11		

履修の前に以下の手続きが必須です。語種によって必要な手続きが異なります。「〔法学部外国語科目履修案内・講義要綱〕 p. 7 参照」

希望する言語の学習指導教員から以下の面談で許可を得て、履修許可状が発行されたら、B 欄で履修申告すること。

※Web エントリーが行なわれる科目も、エントリーは行わずに、必ず学習指導教員の許可を得ること。

[英語]

3月29日（金）10：00～12：00, 13：00～15：00（日吉 D101 番教室）もしくは

4月6日（土）9：00～11：00, 12：00～14：00（日吉 D101 番教室）

[ドイツ語・フランス語・スペイン語]

3月29日（金）12：00～14：00（日吉 D203 番教室）

4月5日（金）14：00～16：00（日吉 D203 番教室）

[中国語・ロシア語・朝鮮語]

4月5日（金）14：00～16：00（日吉 D203 番教室）

各語種ともに学習指導相談期間にも面談可能（日程は日吉キャンパス法学部掲示板参照）。

[イタリア語・ギリシア語・ラテン語・ポルトガル語]

履修申告期間中に履修申告を行ってください。

11 【履修その4】必修外国語の再履修

3年生のうちに英語以外の初級必修外国語4単位を取得できないと、たとえ進級に必要な30単位を満たしても、4年生に進級することができません。早めに取得されることをおすすめします。英語以外の語種で秋学期の単位を落とした場合、秋学期科目を再履修し、合格しなければいけません。2019年度より、未取得である学期分のみの再履修を認めますが、秋学期分のみの再履修する場合、春学期から授業を受けている学生との間に習熟度の差が生まれやすいので、通年での履修を推奨します。その場合、取得済みの春学期分はB欄申告で選択外国語（卒業・進級単位に含められる）として履修することが可能です。詳しくは、「法学部外国語科目履修案内・講義要項」を参照すること。

英語	01	スペイン語	05
ドイツ語	02	ロシア語	06
フランス語	03	朝鮮語	10
中国語	04		

・クラスが指定されている科目は、指定されたクラスを履修申告してください。

・Web エントリーが行われる科目を再履修する場合は、指定された期間内に Web エントリーを行い（「法学部外国語科目履修案内・講義要綱」 p. 7 参照）、抽選の結果、履修が許可されたクラスを履修申告してください。

・Web エントリーを忘れていたり、抽選の結果以上に履修が必要な場合は、以下の面談でクラスの指定を受けてください。

[英語]

3月29日（金）10：00～12：00, 13：00～15：00（日吉 D101 番教室）もしくは

4月6日（土）9：00～11：00, 12：00～14：00（日吉 D101 番教室）

[ドイツ語・フランス語・スペイン語]

3月29日（金）12：00～14：00（日吉 D203 番教室）

4月5日（金）14：00～16：00（日吉 D203 番教室）

12 【履修その5】インテンシブ修了証

インテンシブ修了証の条件は語種によって異なります。詳しくは、別冊子「法学部外国語科目履修案内・講義要綱」または塾生サイト〔日吉キャンパス〕履修案内・講義要綱・時間割（<http://www.gakuji.keio.ac.jp/hiyoshi/rishu/rishu.html/>）を確認してください。申請方法は6月下旬と1月初旬に掲示予定です。

13 【履修その6】自主選択科目で法律学科・他学部科目を履修

以下の5つの条件を満たしたときのみ「自主選択科目」として履修可能です。

他学部の履修を制限する科目については p. 55 を参照してください。

条件① 履修したいと思う科目が以下の分野に該当する科目なら → 条件②へ

科目の設置学部・学科	学則	自主選択科目として履修可能な分野・科目	注意事項
法学部法律学科	57	法律学科目	
文学部	11	専門教育科目	

経済学部	13・16	専門教育科目	
商学部	05	専攻科目	
理工学部	96・17	専門教育科目	科目の履修にあたり理工学部への所定用紙提出が必要です。
総合政策・環境情報学部	14	先端科目・研究会 A・研究会 B	秋学期科目の履修を考えている場合は、春学期履修申告期間に学生部法学部担当に申し出てください。
看護医療学部	12・19	専門教育科目	

条件② 履修しようとしている科目が法律学科もしくは他学部の科目と同一科目扱いの科目でないなら ➡ 条件③へ

以下の科目は、法律学科もしくは他学部設置されている科目で政治学科設置の科目と名称は異なるが同一科目として扱われている科目です。履修しようとしている科目が以下の表にあるときには、同一科目として扱われている政治学科設置の科目を優先して履修しなければなりません。このような場合に法律学科・他学部の科目を履修するときには、「自由科目」としての履修に限られます。

政治学科	法律学科	経済学部	商学部
会計学 I	会計学 I	会計学 a	
会計学 II	会計学 II	会計学 b	
金融論 I	金融論 I	金融論 a	金融論 I
金融論 II	金融論 II	金融論 b	金融論 II
経済史 I		欧米経済史 a	
経済史 I		日本経済史 a	
経済史 II		欧米経済史 b	
経済史 II		日本経済史 b	
経済政策 I	経済政策 I	経済政策論 a	経済政策 I
経済政策 II	経済政策 II	経済政策論 b	経済政策 II
経済法 I	経済法 I		法学各論（経済法 I）
経済法 II	経済法 II		法学各論（経済法 II）
計量経済学 I		計量経済学中級 a	
計量経済学 II		計量経済学中級 b	
現代政治理論 I	政治学 I		
現代政治理論 II	政治学 II		
国際経済論 I		世界経済論 a	世界経済論 I
国際経済論 I		国際貿易論 a	
国際経済論 I			国際経済学 I
国際経済論 II		国際貿易論 b	
国際経済論 II		世界経済論 b	世界経済論 II
国際経済論 II			国際経済学 II
財政論 I	財政論 I	財政論 a	財政学 I
財政論 II	財政論 II	財政論 b	財政学 II
社会階層論 I	社会学 I		
社会階層論 II	社会学 II		
商法 I A	会社法 I	商法 I a	法学各論（商法 I A）
商法 II A	有価証券法 I	商法 II a	法学各論（商法 II A）
商法 I B	会社法 II	商法 I b	法学各論（商法 I B）
商法 II B	有価証券法 II	商法 II b	法学各論（商法 II B）
商法 II A	有価証券法 I		
商法 II B	有価証券法 II		
西洋法制史	法制史（西洋）		
中国法制史	法制史（東洋）		
民法 I	民法（総論） I		
民法 I	民法（総論） II	民法 I b	法学各論（民法 I B）
民法 I	民法（総論） I	民法 I a	法学各論（民法 I A）
民法 II	民法（物権法） I	民法 II a	法学各論（民法 II A）
民法 II	民法（物権法） II	民法 II b	法学各論（民法 II B）
民法 III B	民法（債権各論） II		
労働法 I		労働法 a	法学各論（労働法 I）
労働法 II		労働法 b	法学各論（労働法 II）
労働経済論 I		労働経済論 a	労働経済学 I
労働経済論 II		労働経済論 b	労働経済学 II

条件③ 他学部履修制限を受けている科目でないなら ➡ 条件④へ

他学部生の履修を制限している科目があります。次ページの表で制限されている科目もしくは条件が課せられている科目でないか確認をしてください。

条件④ 履修希望科目を開講している学部の履修案内、該当科目のシラバス、掲示板を確認して問題なければ ➡ 条件⑤へ

開講している学部で定めた履修ルールに沿って履修を行う必要があります。開講学部の履修案内をよく読んでから履修申告してください。秋学期から履修申告する場合には特に注意して読んでください。また、授業教員が定めた履修の条件がシラバスに記載されていることがあります。履修希望科目のシラバスもチェックすること。その他、追加・修正の掲示が履修申告期間前、期間中にされるがよくありますので、各自確認のうえ、履修申告してください。

条件⑤ 初回授業に出席し、口頭で教員から履修許可を得たら ➡ 履修可

他学部他研究科学生の履修を制限する科目（学部）

※最新情報を必ず以下の URL で確認してください。

<http://www.gakuji.keio.ac.jp/academic/rishu/tagakubu.html>

【注意事項（全学部・全研究科）】

- 必ず事前に履修案内等を熟読し、他学部他研究科設置科目履修に必要な手続きをしてください。以下の科目以外にも、個々の授業によって履修の制限をする場合があります。必ず講義要綱・シラバスを熟読してください。
- 初回の授業で履修に関するガイダンスや履修の制限を行う場合があります。必ず初回の授業に出席してください。
- 所属学年による制限もあります。学年条件を満たしていない場合は、制限科目でなくても履修できません。
- 秋学期からは履修できない科目もありますので、シラバスや時間割等で確認してください。

地区	学部	履修可能な学年	履修制限科目
三田	文学部	学部2年生以上	<ol style="list-style-type: none"> 1. 不可 <ul style="list-style-type: none"> ◆必修語学科目(文学部履修案内 第9「2・3・4年生設置科目」参照) ◆総合教育科目の系列科目(文学部履修案内 第9「2・3・4年生設置科目」参照) ◆卒業論文・卒業試験(研究会は履修可能) 2. 条件付不可なし 3. 優先される科目 <ul style="list-style-type: none"> ◆必修科目や、履修者数が多い場合は、文学部生優先となる場合があります。 *初回の授業で担当教員の許可(口頭)を得てください(秋学期科目の場合も春学期の履修申告時に許可を得ること。教員にコンタクトする方法がわからない場合は、文学部担当に問い合わせてください。) *セット科目・要件科目は科目の性質上、履修できない場合があります。
		学部3年生以上	<ol style="list-style-type: none"> 1. 不可 <ul style="list-style-type: none"> ◆「社会思想 a/b」「欧米経済学 a」「日本経済学 a/b(中西君)」「経済学Ⅰ a/b」「経済政策論 a」「金融論 a」「現代資本主義論 a」「国際金融論 a/b(櫻川君)」「公共経済学 a/b(小沢君)」「経済政策のミクロ分析 a/b」「金融資産市場論 a/b」「企業金融論 a/b」「開発経済学 a/b」「経営学 a/b」「会計学 a/b」 ◆外国語科目の選択必修科目 *外国語科目の選択必修科目と併設する選択科目は履修可能です(登録番号が異なります)。 ◆東京工業大学設置科目 2. 条件付不可 <ul style="list-style-type: none"> ◆PCP 科目、研究プロジェクト科目 *一部の科目を除き、事前選考に合格した学生のみが履修できます。
	法学部	学部3年生以上	<ol style="list-style-type: none"> 1. 不可 <ul style="list-style-type: none"> ◆「会計学Ⅰ/Ⅱ」「経営学Ⅰ/Ⅱ」「金融論Ⅰ」「国際私法Ⅰ/Ⅱ」「行政組織法Ⅰ/Ⅱ」「経済学Ⅰ/Ⅱ(政治学科の学生のみが履修できます)」「ローマ法」 2. 条件付不可なし 3. 優先される科目なし
		学部3年生以上	<ol style="list-style-type: none"> 1. 不可 <ul style="list-style-type: none"> ◆「グローバル・ラーニング D」 ◆「インターンシップ」「国際ビジネス研究」 ◆「イノベーションの経営・商業」「経済学と法制度」「戦略の経営・会計」「戦略の経済・商業」 ◆「アラビア語 a・b」「朝鮮語(初級) a・b」「朝鮮語(中級) a・b」 2. 条件付不可 <ul style="list-style-type: none"> ◆「専攻演習 S」「専攻演習 D」 *抽選後人数に余裕があり、初回の授業で授業担当者の了承を得られれば履修可能です。必ず事前に空き状況を三田学生部商学部担当に確認してください。(許可願(所定用紙)に授業担当者の了承印が必要です)。 ◆GPP 科目 *一部の科目を除き、事前選考に合格した学生のみが履修できます。 3. 優先される科目 <ul style="list-style-type: none"> ◆「外国語演習 S」「外国語演習 D」「関連課題研究 S」「関連課題研究 D」 *履修希望者が多い場合は担当教員による選抜を行い、商学部生が優先されます。
日吉	文学部	学部1年生	<ol style="list-style-type: none"> 1. 不可 <ul style="list-style-type: none"> (1)必修語学科目(文学部履修案内参照) (2)特論科目すべて <ul style="list-style-type: none"> ・人文科学特論Ⅰ(2単位)・人文科学特論Ⅱ(2単位) ・社会科学特論Ⅰ(2単位)・社会科学特論Ⅱ(2単位) ・自然科学特論Ⅰ(2単位)・自然科学特論Ⅱ(2単位) 2. 条件付不可なし 3. 優先される科目(文学部1年生) <ul style="list-style-type: none"> (3)総合教育セミナー <ul style="list-style-type: none"> ・総合教育セミナーⅠ(2単位) ・総合教育セミナーⅡ(2単位)

地区	学部	履修制限科目
日吉	経済学部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 不可 <ul style="list-style-type: none"> ◆基礎教育科目の必修科目 ◆外国語科目の必修科目、選択必修科目 ◆専門教育科目の必修科目 2. 条件付不可 <ul style="list-style-type: none"> PEARL 設置科目を履修する場合は、科目担当者及びPEARL アカデミック・ディレクターの許可を得る必要があります。 3. 優先される科目 <ul style="list-style-type: none"> 履修者数が多い場合やクラスが指定されている場合は、経済学部生優先となる科目があります。
	法学部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 不可 <ul style="list-style-type: none"> 【法律学科】 ◆外国語科目の必修科目 ◆社会科学科目の必修科目：「法学Ⅰ(憲法を含む)」「法学Ⅱ(憲法を含む)」 ◆法律学科の必修科目：「憲法(総論・人権)Ⅰ」「憲法(総論・人権)Ⅱ」「民法(総論)Ⅰ」「民法(総論)Ⅱ」「刑法(総論)Ⅰ」「刑法(総論)Ⅱ」 【政治学科】 ◆外国語科目の必修科目 ◆社会科学科目の必修科目：「社会学」「法学(憲法を含む)」「経済学Ⅰ」「憲法」「経済学Ⅱ」 ◆政治学科目の必修科目：「政治学基礎」 2. 条件付不可なし 3. 優先される科目 <ul style="list-style-type: none"> 履修者数が多い場合やクラスが指定されている場合は、法学部生優先となる科目もあります。
	商学部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 不可 <ul style="list-style-type: none"> ◆必修外国語科目 ◆基礎科目・専攻科目・総合教育科目「経済学基礎Ⅰ・Ⅱ」「経営学基礎」「商業学基礎」「会計学基礎(基本簿記と財務諸表の見方)」「微積分基礎」「統計学基礎」「経済学Ⅰ・Ⅱ」「情報テラシー基礎」「データとの対話」 2. 条件付不可なし 3. 優先される科目 <ul style="list-style-type: none"> 上記以外の科目でも履修者数が多い場合やクラスが指定されている場合は、商学部生優先となる科目もあります。
日吉	医学部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 不可 <ul style="list-style-type: none"> ・外国語科目 ・医学基礎教育科目 ・基礎科学必修科目のうち実験科目 2. 条件付不可 <ul style="list-style-type: none"> 基礎科学必修科目のうち講義科目 *科目担当者の判断により履修を許可する場合があります。(上限あり。講義要綱・シラバス参照) 3. 優先される科目なし
	理工学部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 不可なし 2. 条件付不可 <ul style="list-style-type: none"> ・必修科目 ・実験科目(必修または選択) ・演習科目(必修または選択) 3. 優先される科目なし <ul style="list-style-type: none"> 科目の履修にあたり理工学部への所定用紙提出が必要となりますので、履修希望者は http://www.gakuji.keio.ac.jp/yagami/rikou/shotei_youshi.html を必ず参照し、所定の手続きをしてください。

地区	学部	履修制限科目
日吉	薬学部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 不可 <ul style="list-style-type: none"> ◆実習科目 2. 条件付不可 <ul style="list-style-type: none"> ◆講義・演習科目(科目担当者の許可が必要です) 3. 優先される科目 ◆すべての科目
	理工学部	<ul style="list-style-type: none"> ◆なし 科目ごとではなく、履修希望学生の学力や、学習環境をもとに、科目担当者と学習指導副主任が判断し、履修許可します。 科目の履修にあたり理工学部への所定用紙提出が必要となりますので、履修希望者は http://www.gakuji.keio.ac.jp/yagami/rikou/shotei_youshi.html を必ず参照し、所定の手続きをしてください。
湘南藤沢(信濃町看護含む)	総合政策学部・環境情報学部	<ul style="list-style-type: none"> ◆卒業プロジェクト 1 ◆卒業プロジェクト 2 ◆心身ウェルネス ◆体育 1 ◆体育 2 ◆体育 3 ◆体育 4 ◆体育 5 ◆SFC 実践英語入門 ◆外国語ベーシック ◆外国語インテンシブ ◆外国語海外研修 *外国語ベーシック・インテンシブ・海外研修に限り、看護医療学部、政策・メディア研究科、健康マネジメント研究科生の履修を認めます。 *マレー・インドネシア語海外研修については科目担当者の判断により履修を許可する場合があります。
	看護医療学部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 不可 <ul style="list-style-type: none"> ・実習科目 ・以下の講義・演習科目 <ul style="list-style-type: none"> 「生活援助技術」「医療支援技術」「看護基本技術」「在宅看護技術演習」「成人看護技術演習」「急性期病態学各論」「急性期看護学演習」「慢性期病態学各論」「慢性期看護学演習」「小児看護学演習」「精神看護学演習」「終末期病態学」「終末期看護学演習」「助産理論」「助産技術」 2. 条件付不可 <ul style="list-style-type: none"> その他の科目は、科目担当者が許可しない場合は履修不可 3. 優先される科目なし
信濃町	医学部	すべて不可
芝共立	薬学部	<ol style="list-style-type: none"> 1. 不可 <ul style="list-style-type: none"> ◆実習科目 2. 条件付不可 <ul style="list-style-type: none"> ◆講義・演習科目(科目担当者の許可が必要です) 3. 優先される科目 ◆すべての科目
		<ol style="list-style-type: none"> 1. 不可 <ul style="list-style-type: none"> (1)必修語学科目(文学部履修案内参照) (2)特論科目すべて <ul style="list-style-type: none"> ・人文科学特論Ⅰ(2単位)・人文科学特論Ⅱ(2単位) ・社会科学特論Ⅰ(2単位)・社会科学特論Ⅱ(2単位) ・自然科学特論Ⅰ(2単位)・自然科学特論Ⅱ(2単位) 2. 条件付不可なし 3. 優先される科目(文学部1年生) <ul style="list-style-type: none"> (3)総合教育セミナー <ul style="list-style-type: none"> ・総合教育セミナーⅠ(2単位) ・総合教育セミナーⅡ(2単位)

他学部・他研究科生による履修登録取消が認められない科目（学部）

※最新情報を必ず以下の Web ページで確認してください。

<http://www.gakuji.keio.ac.jp/academic/rishu/tagakubutorikeshi.html>

【注意事項（全学部・全研究科）】

1. 下記の科目以外にも、個々の授業によって履修登録取消の制限をする場合があります。必ず講義要綱・シラバスを熟読してください。
2. 新規に履修登録取消が制限される場合がありますので、最新情報を掲示等で必ず確認してください。
3. 履修する分野や所属学年による制限もありますので、注意してください。

地区	学部	取消制限科目	地区	学部	取消制限科目	地区	学部	取消制限科目	
三田	文学部	◆博物館学実習	日吉	文学部	なし	矢上	理工学部	機械系のための電気・電子回路 機械工学ものづくりプロジェクト	
	経済学部	なし		経済学部	なし		湘南藤沢（信濃町看護含む）	総合政策学部・環境情報学部	◆言語コミュニケーション科目の海外研修科目 ◆特別研究プロジェクト A/B ◆社会起業インターンシップ ◆非営利組織インターンシップ ◆データドリブンアート ◆日本語インテンシブ 1(春季休校期間集中開講)
	法学部	◆外国語科目 ◆演習，研究会 I～IV(法律学科)，研究会 I～IV(政治学科) ◆(政治学科設置の)特殊研究 ◆(政治学科設置の)文献講読		法学部	◆外国語科目 ◆演習科目			看護医療学部	◆性と生殖における健康と権利
	商学部	◆専攻演習 D/S ◆外国語演習 D/S ◆専門外国書研究 ◆関連課題研究 D/S ※取消には所定の手続きが必要(Web上のみ) の取消は不可)		商学部	なし			信濃町	医学部
			医学部	なし	芝共立	薬学部	科目担当者の判断により履修を許可されたすべての科目		
			理工学部	◆グローバルリーダーシップセミナー ◆理工学基礎実験					
			薬学部	科目担当者の判断により履修を許可されたすべての科目					

諸研究所・センター設置科目の履修登録取消が認められない科目

履修登録取消を制限する科目は以下のとおりです。

※最新情報を必ず以下の Web ページで確認してください。

<http://www.gakuji.keio.ac.jp/academic/rishu/tagakubutorikeshi.html>

研究所・センター	取消制限科目
外国語研究センター	日吉 ◆英語最上級 アドバンスト英語(a), (b) ◆オープン科目のうち、設置学部が法学部の科目
	三田 ◆英語最上級 アドバンスト英語(a), (b)
教職課程センター	教職課程センターの一部科目は取消許可が必要となります。詳細は履修案内を参照してください。
グローバルリサーチインスティテュート	◆リーダーシップ基礎

14 【履修その7】他地区設置授業を履修する場合の注意事項

地区間を移動するにあたり、移動不可能な履修申告はできません。

例①：3限に三田キャンパスの授業を履修し、4限に日吉キャンパスの授業を履修する。

例②：2限に三田キャンパスの授業を履修し、3限に湘南藤沢キャンパスの授業を履修する。

ただし、三田・日吉キャンパスの移動に関しては、昼休みをはさむ2・3時限の履修は可能としますが、授業に遅れてしまう場合も有り得ます。その場合は、学生個人の責任となりますので、十分に注意をして履修申告を行ってください。

15 【履修その8】諸研究所設置科目の履修の注意事項

諸研究所の科目は、原則としてA欄で申告してください。(B欄の選択は自由科目として選択する場合のみ。)履修申告の方法はp. 49を参照してください。以下に例年問い合わせの多い点を記載しています。その他、科目ごとに履修にあたって条件が定められている場合があるため、必ずシラバスで注意事項を確認してください。

①体育研究所

履修申告前に履修許可を得る必要があります。詳細はシラバスに記載あり。

②メディアコミュニケーション研究所

「研究会」は4単位までを「自主選択科目」として履修可能です。4単位を超える単位は「自由科目」として履修してください。

③国際センター

短期海外研修プログラムの履修には以下の点を厳守してください。

夏季プログラム：選考の結果、参加を認められた学生は5月8日までに三田学生部法学部窓口で履修申告してください。

春季プログラム：参加後、次年度春学期履修申告期間に履修申告してください。

16 【履修その9】同一科目名でも履修できる科目

同一名称の科目を両方履修することはできませんが、一部例外があります。以下で確認してください。

①人文科学科目

担当者が異なれば同一科目名でも履修可能です。

ただし、以下の科目は担当者が同一でも、年度が異なれば履修が可能です。

「人文科学特論Ⅰ・Ⅱ」「人文科学研究会Ⅰ～Ⅳ」「人文総合講座Ⅰ・Ⅱ」

②自然科学研究会Ⅲ・Ⅳ

「自然科学研究会Ⅲ」と「自然科学研究会Ⅳ」を副専攻として同一担当者を履修する場合は履修可能です。

③体育実技科目・法学部設置外国語科目・少人数セミナー形式授業科目（日吉開講）・不合格となった授業科目

条件なく履修可能

17 【履修その10】副専攻認定証

「副専攻認定証」は自動的に授与されるわけではありません。申請をする必要があります。申請方法については各研究会の指導教員に申し出てください。

18 【履修その11】セット履修科目

春学期開講科目と秋学期開講科目を両方の履修や同一学期に2時限分の履修が義務付けられている科目が「セット履修科目」です。シラバスに「セット履修」と書かれています。

19 【履修その12】一部の科目の注意事項

研究会	<p>①研究会、いわゆるゼミは、第3・4学年に開講され、政治学科の専任教員が担当する系列科目です。研究会は必修ではありませんが、その履修を途中で放棄することは、様々な意味で望ましくありません。2年間という長丁場での大学生活の中心となる授業科目です。研究会の履修は一人1科目に限られます。また科目の性格から履修者数は限定されます。研究会は2単位として、学期毎に成績を取得することができます。系列科目として申請できる研究会の単位は、8単位が上限となります。(原則として各学年4単位が上限です。)2単位科目となりますが、同一担当者の研究会を、第3・4学年を通じて2年履修するという原則は変わりません。なお、研究会の入会のタイミングは原則第3学年の春学期からとなります。</p> <p>②秋学期に第3学年に進級する学生で、研究会の入会を希望する場合は秋学期履修前に所属希望の研究会から入会の許可を得てください。</p> <p>③研究会の履修においては、4月の履修申告時に当該学年の春学期・秋学期分を履修してください。</p> <p>④以下のように、入学年度によって研究会履修のルールが異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2014年度以降入学者 3年生は研究会Ⅰ・Ⅱ、4年生は研究会Ⅲ・Ⅳを履修してください。ただし、留学や休学、原級をした場合には、指定学年と異なっても上記科目を履修できます。研究会Ⅰ～Ⅳの各科目は重複して履修することは出来ません。また、研究会ⅠとⅣ、ⅡとⅣの同時履修はできません。 ・2013年度以前入学者 原則として各学年4単位までが上限です。3年生は「研究会(3年)」, 4年生は「研究会(4年)」を履修してください。
他学部・他学科の研究会	政治学科以外の研究会は、自主選択科目として位置付けられます。
経済政策Ⅰ・Ⅱ 財政論Ⅰ・Ⅱ 国際経済論Ⅰ・Ⅱ	<p>社会科学科目の中で、経済政策Ⅰ、経済政策Ⅱ、財政論Ⅰ、財政論Ⅱ、国際経済論Ⅰ、国際経済論Ⅱのうちの2科目4単位が必修です。</p> <p>3年生のうちに2科目以上を履修し終わることが望ましいでしょう。2科目の組み合わせは自由ですが、なるべくⅠ・Ⅱを通して履修することが望まれます。</p>

文献講読	<p>文献講読は、大学院への進学や外国語の政治学文献の読解力を高めたい意欲ある学生のための科目です。</p> <p>文献講読の履修にあたっては、担当者が適当と認める方法で受講者を制限する場合がありますので、講義要綱を十分に参照すると同時に授業開始頃の掲示にも注意し、初回の授業に必ず出席してください。</p> <p>文献講読の授業への出席が全体の3分の2に満たない場合は、不合格とします。具体的な出欠の認定は担当者が最も適当と考える方法によって行います。</p>
数学・統計・情報処理科目	<p>数学・統計・情報処理科目のうち、「数学系列」(分野番号 04-20-11) および「統計系列」(分野番号 04-20-12) については、卒業に必要な単位を計算するうえで自然科学科目の単位として算入できます。なお、「情報処理系列」(分野番号 04-20-13) は自然科学科目の単位に算入することはできません。</p>
系列科目 ・政治思想論系列 ・政治・社会論系列 ・日本政治論系列 ・地域研究・比較政治論系列 ・国際政治論系列	<p>卒業までに「政治思想論系列」、「政治・社会論系列」、「日本政治論系列」、「地域研究・比較政治論系列」、「国際政治論系列」の5系列の中から、各系列とも4単位以上、また文献講読Ⅰ、文献講読Ⅱ、研究会、演習Ⅰ、演習Ⅱ(※)および基礎科目も含めて合計48単位以上(※2013年度以前入学者は、系列科目合計40単位以上)の履修が必要です。これにはもちろん、日吉で開講されている行政学Ⅰ、行政学Ⅱなどの系列科目の単位も含まれます。</p> <p>系列科目の一部の授業科目は二つの系列に属しています。たとえば「マス・コミュニケーション論Ⅰ」は、「政治・社会論系列」と「日本政治論系列」にそれぞれ属しています。履修申告の際、どちらの系列科目として履修するのかを決定し、いずれか一方の登録番号で登録してください。登録番号はそれぞれの系列ごとにあります。履修申告後に指定した分野を変更することはできません。</p>
人文科学研究会 自然科学研究会	<p>「人文科学研究会」「自然科学研究会」を履修するには、それぞれ人文科学科目もしくは自然科学科目を8単位以上取得済みであることが原則です。</p>

秋学期入学者への注意

進級・卒業条件の大枠については、28ページ（法律学科）、44、46ページ（政治学科）を参照してください。ただし、秋学期入学者は以下の点に注意し、不明の点は、必ず学生部に確認することが肝要です。

〔2017年度秋学期入学者の場合〕

1. 第1学年前半時（2017年秋）は、秋学期入学者用に配布される時間割に掲載されている法学部設置の科目が履修できる。1年生の必修科目を優先的に履修することを強く勧める。申告できる履修科目の上限は、法律学科48単位、政治学科48単位。（※2013年度以前入学者は52単位）
2. 第1学年後半時（2018年春）は、2年の専門必修・選択必修科目を除けば、春学期入学者（4月）同様、1年分（＝春学期＋秋学期）の履修ができるが、その際に、学則にある履修上限（法律48単位、政治48単位（※2013年度以前入学者は52単位））の関係から、前年度の秋に取得した単位数と当年度春に履修申告する春学期科目の合計単位数が、法律学科48単位、政治学科48単位（※2013年度以前入学者は52単位）を超えないように注意すること。また、秋に2年に進級した場合は、新たに専門必修・選択必修科目を履修申告することになり、春に一度履修申告した科目の取り消しは認められないので、春の時点で、秋から取るはずの必修・選択必修科目の曜日・時限をよく確認し、春に履修申告する科目がそれらの時間と重なったり、多くなり過ぎないように注意すること。
3. 第2学年前半時（2018年秋）に2年に進級した場合は、2年の専門必修・選択必修科目を中心に追加履修を認める。ただし、第2学年時に履修申告する科目の合計単位数、すなわち、2018年春に履修申告した科目の秋学期分の単位数と、秋学期に新たに履修申告する科目の単位数と、翌春（2019年春）第2学年後半時に履修申告する科目の春学期分の単位数の合計が、法律学科・政治学科ともに48単位（※政治学科の2013年度以前入学者は52単位）を超えることができないので、2018年秋学期だけで単位を取りすぎないように、注意すること。
なお、第3学年に進級後も、履修上限について同様の取り扱いとなるので注意すること。（ただし同一学年に休学・留学・原級等の理由で3学期以上在籍することになった場合には取扱いが異なるため、学生部に相談すること。）
4. 三田設置の研究会は、法律学科の場合、第2学年後半時（2019年春）から履修を認めるものと、第3学年後半（2020年春）から履修を認めるものがある。第2学年前半時（2018年秋）に研究会説明会が行われるので、掲示に注意し、その点について確認しておくこと。
一方、政治学科の研究会は第2学年後半時から履修する。また副専攻認定制度*と関係のある、人文科学研究会や自然科学研究会は、原則として、政治学科の研究会と同じく第2学年後半時から履修する。政治学科研究会、人文科学研究会、自然科学研究会も、秋に研究会説明会が行われるので、注意しておくこと。
5. 三田設置の研究会を第2学年後半時（2019年春）から履修した場合、三田と日吉の両方に通うことになり、いささか負担が増える。また、第3学年前半時（2019年秋）も、外国語の取得単位が卒業要件に達しない等の理由により、三田と日吉の両方に通う可能性が高く、負担が増える場合が多いので、それぞれ心積もりをしておくこと。
6. 上の記述は、留年せずに無事進級することを、前提としている。進級できなかった場合は、履修案内の「復活制度」の項を読んだうえで、学生部に相談すること。

